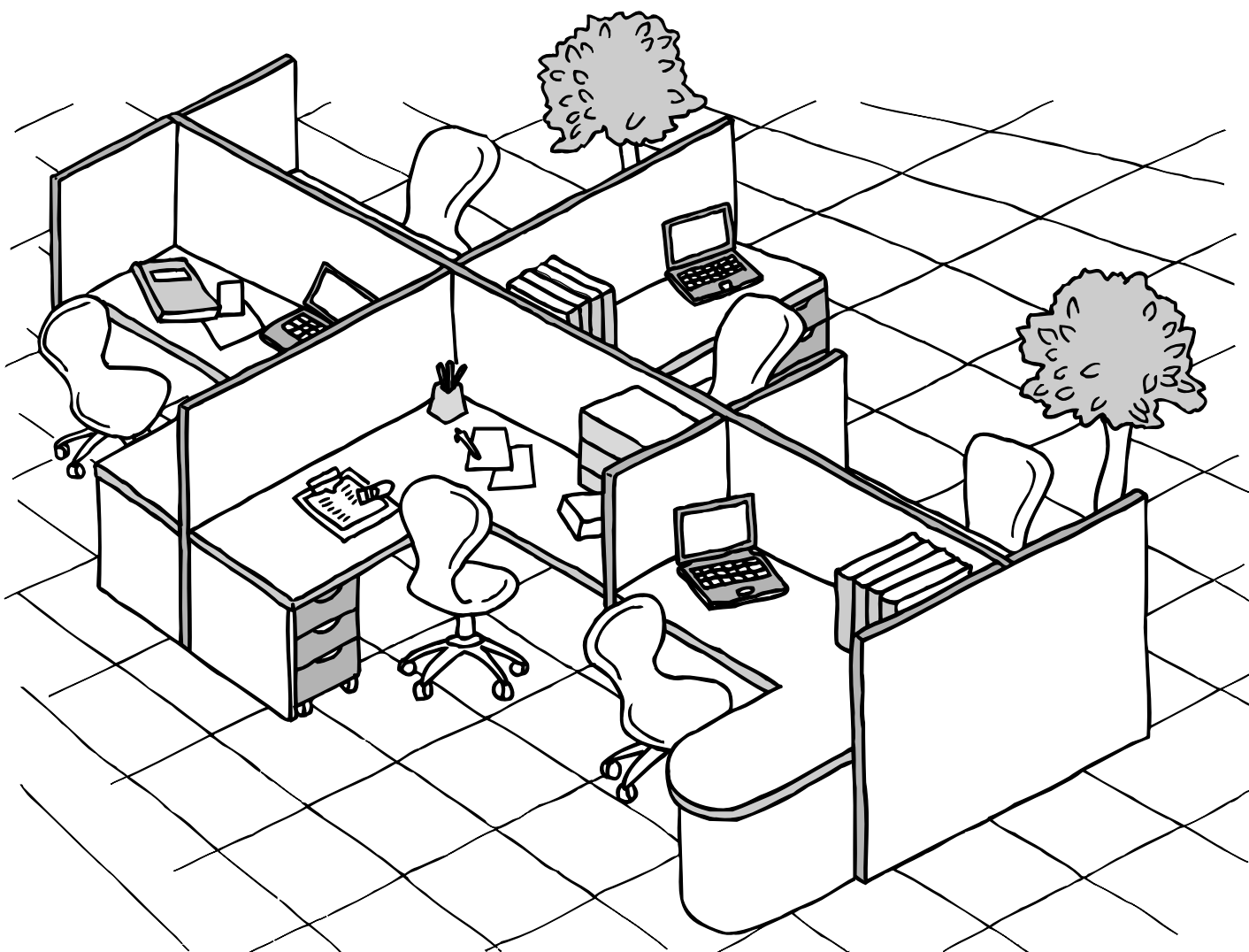
Panasonic®

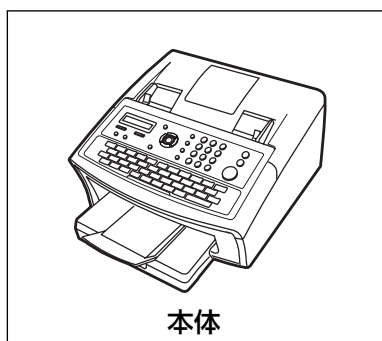
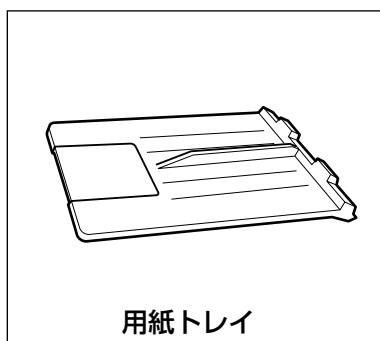
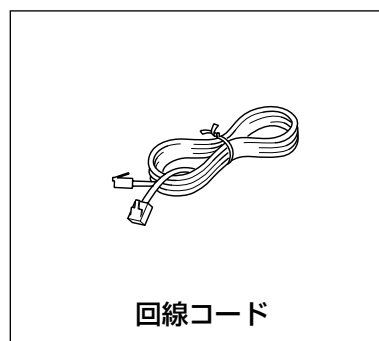
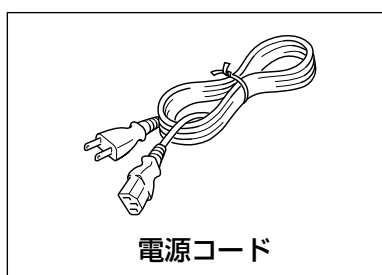
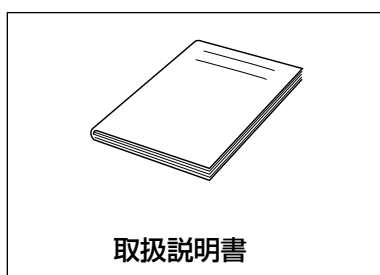
取扱説明書（ファクス編）

ファクシミリ

品番 UF-6020

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■ **ご使用前に「安全上のご注意」（8 ～ 11 ページ）を、必ずお読みください。**
■ この取扱説明書は大切に保管してください。

梱包品一覧

梱包をほどきましたら、以下のものが一式そろっていることをご確認ください。

本体

用紙トレイ

回線コード

電源コード

取扱説明書

その他
・用紙 1 包み（A4 サイズ）
・保証書 1 枚

各部の名称

目次

お使いになる前に

基本編

応用編

登録編

リスト・レポート

必要なときにお読みください

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

● ぬれた手をよくふいて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

■済スタンプヘッドは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機（オプションを含む）を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

● 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■煙が出ている、変なにおいや音がするときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

禁止

ガソリンなどが発火し火災の原因になります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■必ず、アース線接続を行う

アース線接続

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

●アース線接続ができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。

■アース線接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行う。
また、アース線接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行う

感電の原因になります。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災の原因になります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ(金属でない部分)を持ってください。

■同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

■接点部に触れない

高圧注意

感電の原因になります。

■雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠注意

■床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

●紙づまりは確実に取り除いてください。

⚠ 注意

■電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。

● 紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

● 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機の通風孔をふさがない

禁止

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■取扱説明書で指示がない部分は操作しない

禁止

高温部分や突起のある部品にさわると、やけどやけがをする原因になることがあります。

● 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■プロセスカートリッジは火中に投げ入れない

禁止

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

■エラー（E#-##）表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

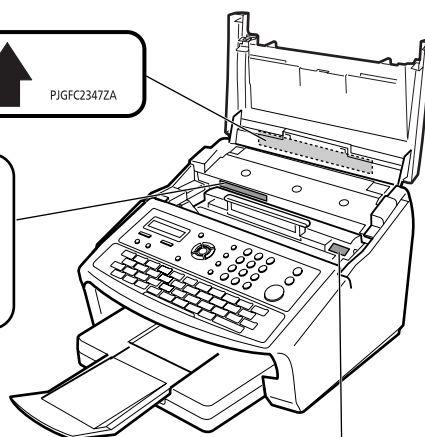
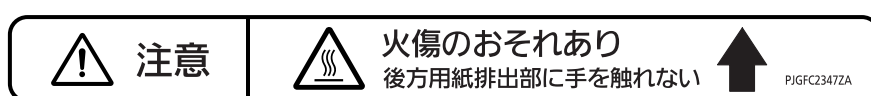
電源プラグを抜く

火災・感電の原因になることがあります。

● （E#-##）は数字を確認（メモ）して、サービス実施会社へご連絡ください。

取扱上のお願い

■ 注意ラベルについて

本機には安全にお使いいただくために次のような注意ラベルが貼ってあります。内容をよく読み、安全にお使いください。

設置上のお願い

■ **次の様な場所への設置は避けてください。**

- 高・低温、低・多湿な場所
- 温度変化の激しい場所
- 冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
- 加湿機の近く
- テレビ、ラジオなど電子機器の近く
- 直射日光のあたる場所
- ほこり、アンモニアガスが発生する場所
- シンナー、ガソリンなどの近く
- 換気の悪い場所
- 床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

■ **本機の背面は壁から 10cm 以上離してください。**

換気についてのお願い

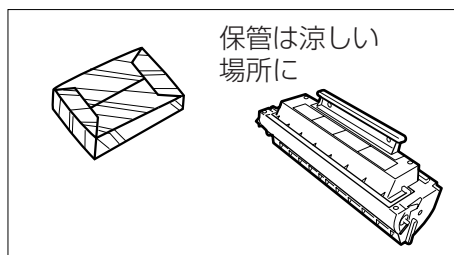
本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

操作時のお願い

■ **動作中に電源プラグを抜いたり、本体カバー等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください。（紙づまりの原因となります）**

■ **誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。**

- 相手先のファクス番号、ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
- 大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
  1. まず受話器を上げて（または受話器がない場合は、モニターボタンを押して）、発信音（ツー音）を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
  2. 相手先からファクス応答信号（ピーヒョロロ音）が聞こえたらスタートボタンを押してください。

用紙・プロセスカートリッジに関するお願い

■ 用紙、プロセスカートリッジなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

- 用紙は 60 ～ 90g/m^2 の上質紙･再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
- プロセスカートリッジは当社指定品をご使用ください。

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの

1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
2. 未使用の郵便切手、官製はがき
3. 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類

●注意を要するもの

1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■ プロセスカートリッジに関するお願い

●プロセスカートリッジは直接日光を避ける
コピー画像に異常が出ることがあります。

●プロセスカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
プロセスカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。

●使用済みのプロセスカートリッジは捨てない
回収にご協力ください。

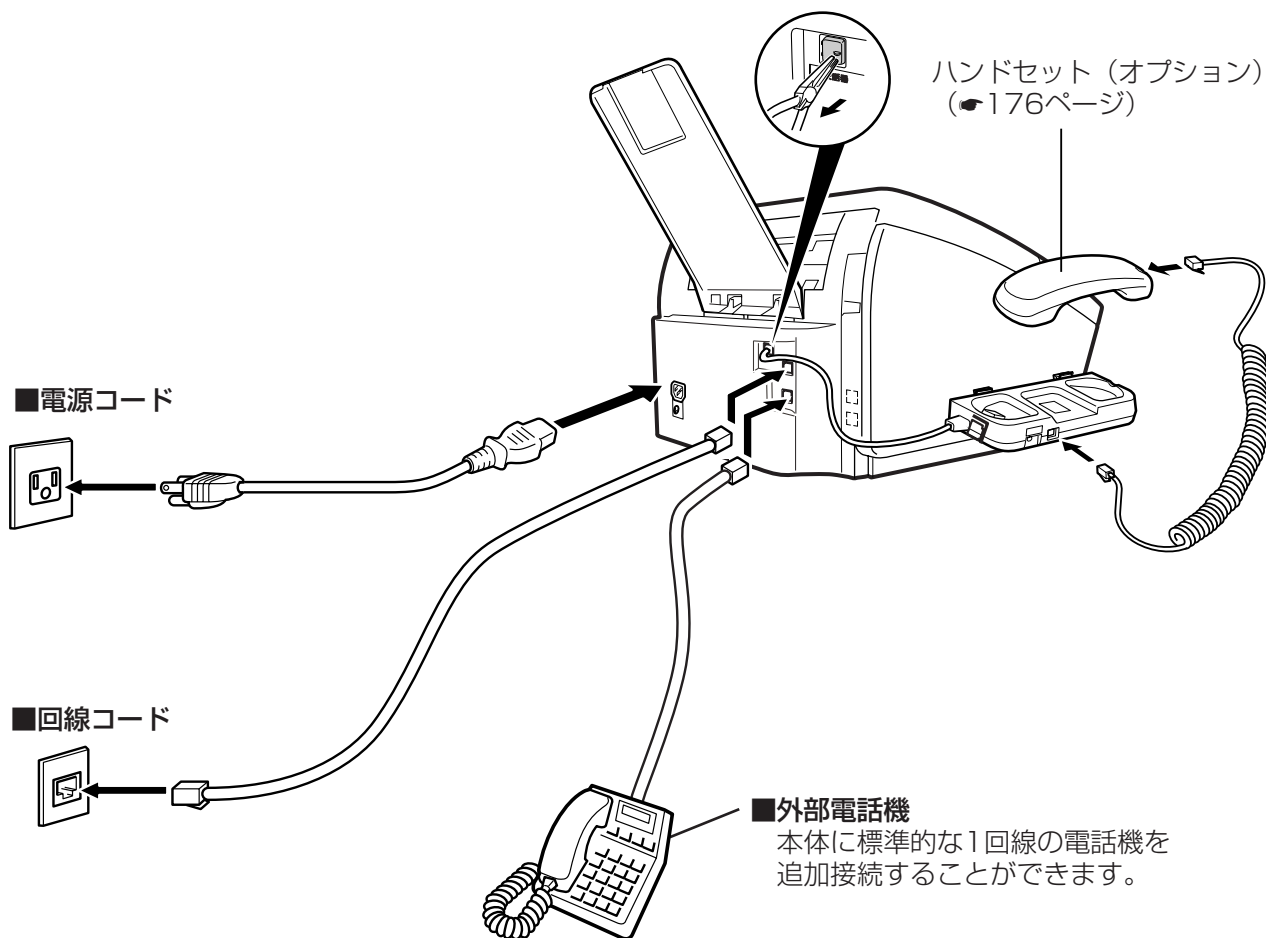
●プロセスカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
コピー画像に異常が出ることがあります。

その他

■製品リサイクルについて

- 使用済や不要となった製品は、回収して、環境保護、資源有効活用のためリサイクルしています。
本機を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。
- 使用済や不要となったトナーボトル、廃トナーボックスなどの消耗品は、環境保護、資源有効活用のため、適切な処理が必要です。消耗品を廃却する場合は、必ず消耗品の梱包箱に記載されている回収連絡先、弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

回線コード、電源コードの接続

コードの接続例

使用上のお願い

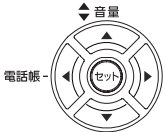
■キャッチホンサービスをご契約になっている場合

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話やファクスがかかってくると、ファクス受信画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- 上記の場合は、キャッチホンや機器の異常ではありませんのでご了承ください。
- なお、キャッチホンサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定して頂くと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

■各サービスについて

- 発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。

■電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

お知らせ

1. 本機の電力消費はわずかですので、常に電源を ON（コードを差し込んだ状態）にしておくことをお勧めします。電源 OFF の状態が長引けば時計部のデータが失われる可能性があります。

コントロールパネルの説明

No.	アイコン	機　能	No.	アイコン	機　能
①	節電	- 本機を低電力モードに切り替えます。（☛138ページ）	②	濃度	- 文書の濃度を、ふつう･濃く･薄くの3段階に調節します。（☛29ページ）
③	済みスタンプ	- 済スタンプ（オン、オフ）を選択します。「オン」の場合、点灯します。	④	文字サイズ	- 文書の文字サイズふつう、小さい、細密の3段階に切り替えます。 また、ハーフトーン（小さい、細密）への切り替えも行います。（☛29ページ）
⑤	クリアー	- すでに設定されている内容をリセットします。 また、入力した文字や数字を訂正するときにも使用します。	⑥	ファンクション	- 各種機能を選択・開始します。
⑦	音量 電話帳 セット	矢印ボタンは以下の用途があります。 - 各種の設定を行う。 - 宛先の名前の検索。（☛40ページ） - 画面や呼出音量の調節。（☛24ページ） - 文字や番号などの入力の際にカーソルを移動させる。 - 電話帳検索ダイヤル用に登録済みの宛先を検索する。 - 複数宛先送信用に入力された各宛先を確認する。 - 回線に接続されている本機の現在の通信モード （ページ番号、ID、宛先の電話番号、ファイル番号）を確認する。			

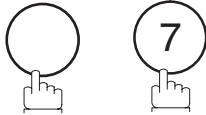
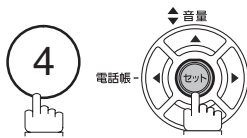
コントロールパネルの説明

No.	アイコン	機　能	No.	アイコン	機　能
⑧	モニター	- オンフックダイヤルをするときに使用します。（☛46 ページ）	⑨	フック/Fコード	- 通話中に一瞬回線を切断したい時に押します。構内交換機に接続されている場合、転送や保留をする時にお使いください。また、Ｆコード（サブアドレス）を入力する時に押します。
⑩	短縮	- 短縮ダイヤルによる通信を開始します。（☛39、128 ページ）	⑪	再ダイヤル/ポーズ	- 直前の宛先に再ダイヤルします。もしくは、電話番号を登録中またはダイヤル中にポーズを入れます。
⑫	1 2 3 4 5 6 7 8 9 トーン ＊ 0 ＃	**テンキーボタン** - 手動での番号入力に使用します。入力された電話番号およびその他の数値情報は記録されます。 **トーンボタン** - ダイヤル方式がパルスモードに設定されている場合に、一時的にプッシュホン信号へと切り替えます。			
⑬	スタート	- コピーや送受信を開始するときに押します。	⑭	コピー	- コピー機能を利用するときに押します。（☛69ページ）
⑮	ストップ	- 送信やコピー、登録などを途中で止めるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。	⑯		**通信中ランプ（緑）** - **点滅**：本機が動作中のとき - **点灯**：受信データがメモリーにあるとき。
⑰		**アラームランプ（赤）** 本機の異常状態を点灯／点滅で表示します。 - **点灯**：トナーなし、紙づまりやマシンエラー（E##）などで動作停止のとき、用紙カセットに用紙が入っていないとき。 - **点滅**：本機が警告状態になったとき（動作は停止しません）トナーの残量が少ない、オプションの250枚増設給紙ユニットをお使いになっていて片方の用紙カセットに用紙がないとき。			
⑱		**ワンタッチボタン（01～32）** - ワンタッチダイヤルに使用します（☛38、126ページ）。 **プログラムボタン（P1－P8）** - 一連のダイヤル操作やグループダイヤルボタン操作を登録します。（☛77ページ） **文字ボタン** - ワンタッチボタンおよびプログラムボタンは文字や記号を入力するためのボタンとして使います。 自局発信元名称や数字ID、局名を記録できます。 記号 - 自局のLOGOや数字ID、局名、メールアドレスを入力するときに使います。▼ または ▲ を使って文字を選択できます。 スペース - 発信元名称や数字ID、局名、メールアドレスを入力する際に、スペースの入力に使用します。 文字切替 - 文字入力時に、文字入力モードを切り替えるときに押します。			

回線種別を設定する

電話回線の設定

電話回線には、ダイヤル（DP）回線（ダイヤルスピード 10PPS と 20PPS 2 種類）と、プッシュ（PB）回線とがあります。電話回線の種類を確認し、それに合わせて本機の回線種別を設定してください。

IP 電話サービスを利用するときは、プッシュ（PB）回線に設定してください。

回転ダイヤル式回線（10 pps）をお使いのとき

または

2

06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
2:20PPS

回転ダイヤル式回線（20 pps）をお使いのとき

または

3

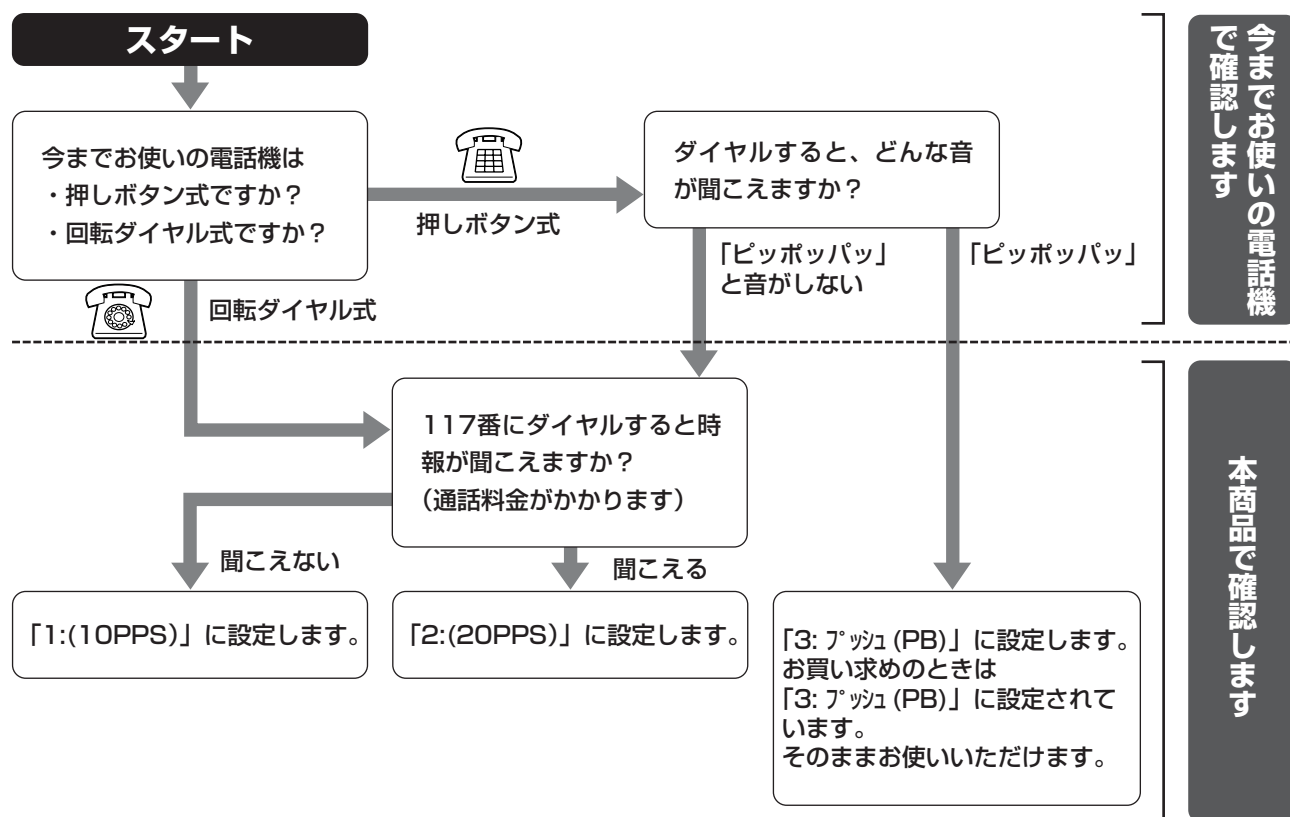
06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
3: ﾌﾟｯｼｭ(PB)

プッシュホン式回線をお使いのとき

5

音量 電話帳 セット

ストップ

回線種別を見分ける

お知らせ

- 117 番に電話をかけると、通話料金がかかります。
- 回線種別をﾌﾟｯｼｭ (PB) に設定しているときや、10PPS または 20PPS に設定していて ⊛ を押したあと、プッシュ信号として * や # がご利用になれます。

お願い

- 回線種別の確認・設定は、必ず行ってください。正しく設定しないとお使いになれない場合があります。
- 回線の種別がわからないときは、局番なしの 116 番（無料）へお問い合わせください。
- TA（ターミナルアダプタ）に本機を接続して利用する場合は、本機の外部電話用モジュラージャックに電話機を接続しないでください。接続すると本機や電話機の機能が正常に動作しなくなることがあります。
- PBX（構内交換機）に接続するときは、サービス実施会社へお問い合わせください。

自局登録

自局登録について

本機は文書通信の記録のために、基本的な設定を登録することができます（自局登録）。発進元 ID ナンバーを登録すれば、文書送受信者の身元確認に役立ちます。

日付と時刻の登録

待機時には画面に日付と時刻が表示されます。

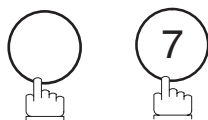
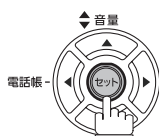
1

ファンクション

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ　　(1–4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

1: ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

3

ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
▮002–01–01 00:00

4

新しい日付と時刻を入力する

ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
2008–09–15 15:00

例：

②⓪⓪⑧	年　：	2008 年
⓪⑨	月　：	9 月
①⑤	日　：	15 日
①⑤⓪⓪	時刻：	午後 3 時

入力を間違えたときには ◀ ▶ を使ってカーソルを移動させ、正しい数字で上書きしてください。

5

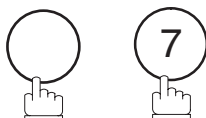
ストップ

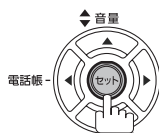
発信元の登録

発信元を登録しておくと、宛先に届いた原稿の先端に発信元を印刷することができます。

1 ファンクション

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ (1–4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

1: ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

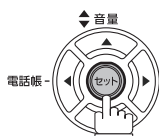
3

発信元の画面になるまで繰り返し押す

4 文字ボタンを使って、発信元を入力する
（最大 25 文字まで）（☛133 ページ）

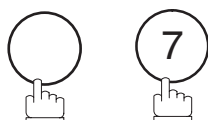
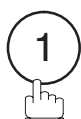
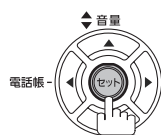
例：「パナソニック」を入力する。

入力を間違えたときには ◀ ▶ を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、クリアー を押してから正しい文字を入力し直してください。
20 文字以上入力された場合、左端の文字から順にスクロールして画面から消えます。

ﾊｯｼﾝﾓﾄ < ｶﾅ
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ▮

5

ストップ

文字 ID の登録

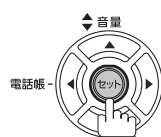
通信をしたときに、相手のディスプレイにこちらの会社名などを表示させることができます。

文字 ID の画面になるまで繰り返し押す

4 文字ボタンを使って、お客様の文字 ID を入力する（最大 16 文字まで）（☛133 ページ）

ﾓｼﾞ ID <ｶﾅ
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ

例：「パナソニック」を入力する。

入力を間違えたときには ◀ ▶ を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、クリアー を押してから正しい文字を入力し直してください。

5

お知らせ

1. 特殊文字は文字 ID として使用できません。

数字 ID（ファクス番号）の登録

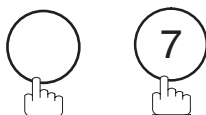
相手先のディスプレイに電話番号などを表示させることができます。

お客様のファクス番号を本機の数字 ID として登録することをお勧めします（最大 20 字まで）。

1

ファンクション

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1: ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3

数字 ID の画面になるまで繰り返し押す

```
ｽｳｼﾞ ID
█
```

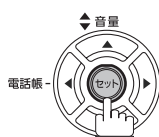
4

テンキーボタンと空白文字を入れるための スペース を使って、お客様の数字 ID を入力する（最大 20 字まで）

例：「201 555 1212」を入力する。

入力を間違えたときには ◀ ▶ を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、クリアー を押してから正しい文字を入力し直してください。

```
ｽｳｼﾞ ID
201 555 1212█
```

5

ストップ

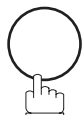
お知らせ

1. 国別コードの入力で "+" を入力するには ⊛ を使ってください。

例： +1 XXX XXX XXXX　　+1 はアメリカ合衆国の国別コード。
+81 X XXX XXXX　　+81 は日本の国別コード。

音量設定のしかた

モニター音量の設定

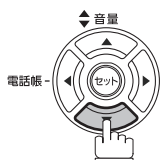
1

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ *
▮
```

スピーカーから、モニター音が聞こえます。

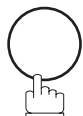
2

モニター音量を大きくするとき

```
      ﾓﾆﾀｰ ｵﾝﾘｮｳ
ｼｮｳ   [█████████]  ﾀﾞｲ
```

または

モニター音量を小さくするとき

```
      ﾓﾆﾀｰ ｵﾝﾘｮｳ
ｼｮｳ   [         ]  ﾀﾞｲ
```

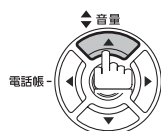
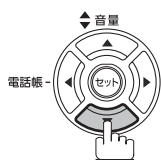
3

呼出音量の設定

1 待機状態を確認する

```
yyyy-mm-dd 15:00
             00%
```

2 呼出音が鳴ります。テスト用の呼出音を確認しながら、お好みの大きさに調整します。

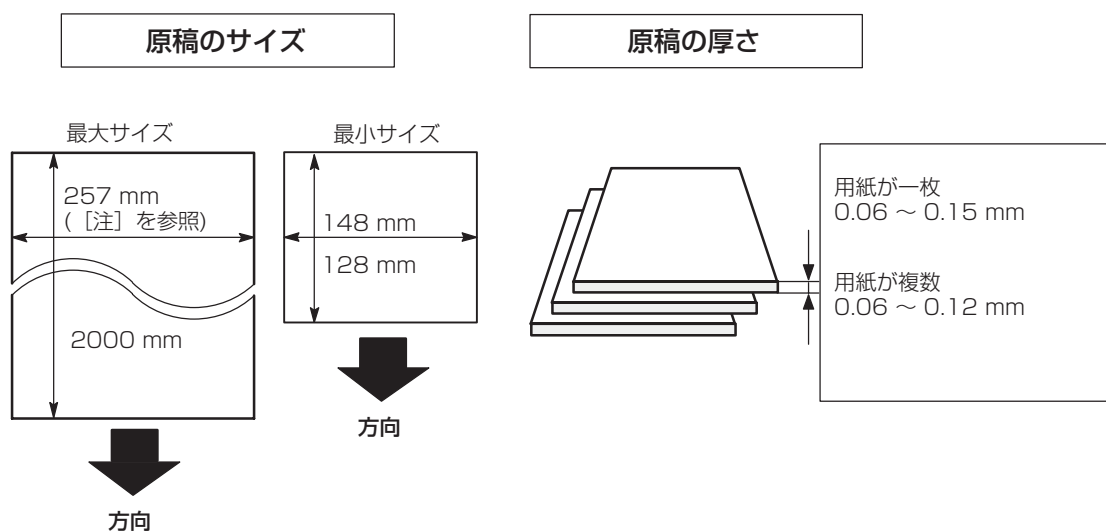
呼出音を大きくするとき

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ
(((( ☎ ))))
```

または

呼出音を小さくするとき

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ
☎
```

3 ストップ

原稿について

セット可能な原稿

注： 本機のセット可能な最大原稿幅は、257mm です。ただし有効読取幅は、252mm です。
また、最小サイズは 148mm（幅）x 128mm（長さ）です。

お知らせ

1. 複数枚の原稿をセットする際には、以下のような範囲に限られます。

原稿のサイズ	原稿の厚さ	原稿枚数
A4 (210 mm × 297 mm)	0.06 mm ～ 0.10 mm	*30 枚以下
	0.10 mm ～ 0.12 mm	20 枚以下
B4 (257 mm × 364 mm)	0.06 mm ～ 0.12 mm	20 枚以下

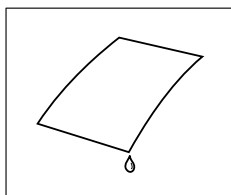
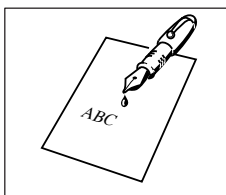
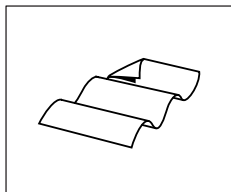
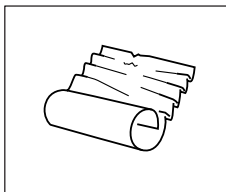
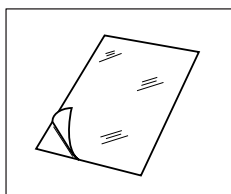
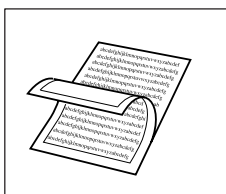
·同一サイズ、同質の原稿
·原稿の紙質は上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）

*原稿の大きさと厚みが上記仕様を満たしていても、用紙の種類によっては、30 枚セットできない場合がありますので、ご注意ください。

2. 364 mm を超える原稿をセットする場合は、手で支えながら送信してください。

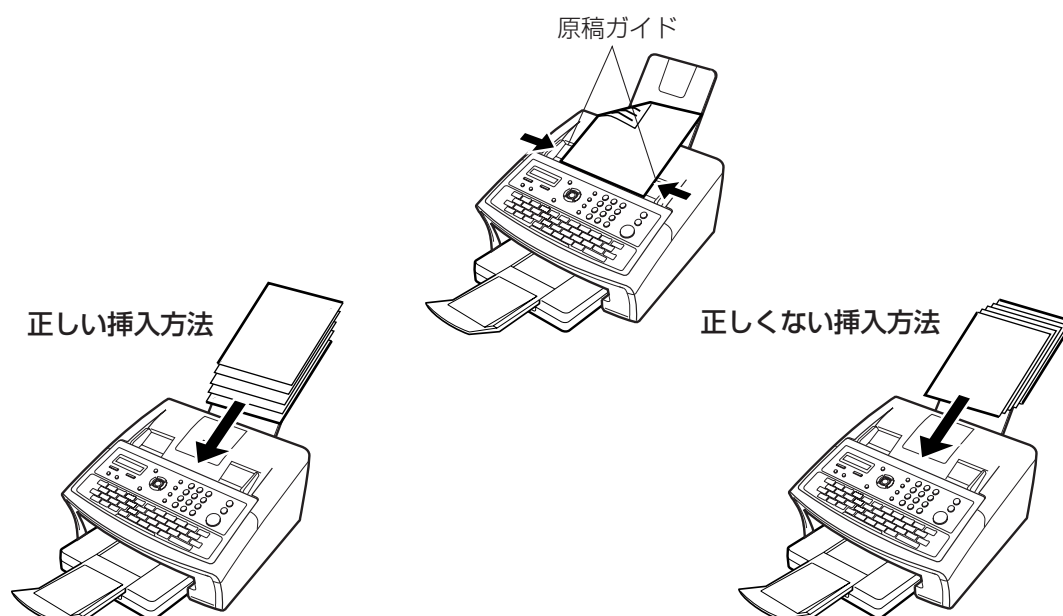
3. A4 サイズより長い原稿をセットする場合は、補助原稿台を下図のように延ばしてください。

セットできない原稿

次の原稿はセットしないでください。

湿気を帯びているもの

インクが乾いていないまたはインクの塊が残っているもの

薄すぎるもの
（0.05mm 未満の原稿）

しわになったり、曲がったりまたは折れたりしたもの

表または裏がコーティングされているもの

化学処理されたもの
（例：感圧紙、カーボンコート用紙等）または布製ないしは金属製

これらの原稿は、あらかじめ別の用紙にコピーしておいたものを送信してください。

原稿のセットのしかた

1. 原稿がホッチキスやクリップ留めされていないこと、また破れていたり、油がついていたり、コーティングされていたりしないことを確認してください。
2. 読み取る面を下向きにし、ADF（自動原稿送り装置）の奥に突き当たるまで差し込んでください。
   複数枚の原稿をセットする場合は、下記に示すように原稿を少しずつずらして ADF に挿入してください。
3. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。

ADF に原稿をセットすると、ディスプレイのメッセージが日付（待機画面）から次のメッセージに変わります。基本送信設定を変更するか、ダイヤル操作をしてください。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

基本的な機能の設定

概要

送信前、原稿をセットするとき送信設定を一時的に変更することができます。

設定は次のとおりです。

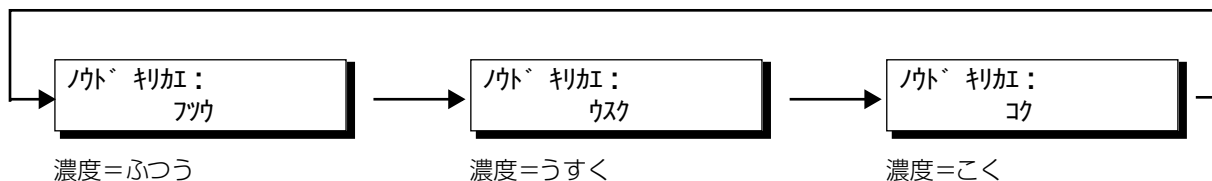
- 濃度
- 文字サイズ
- 済スタンプ
- 通信結果レポート

原稿を送信後、自動的にもとの設定に戻ります。

濃度

文字が薄い原稿を送るときは「コク」に変更してください。文字がこい原稿を送るときは「ウスク」に変更してください。

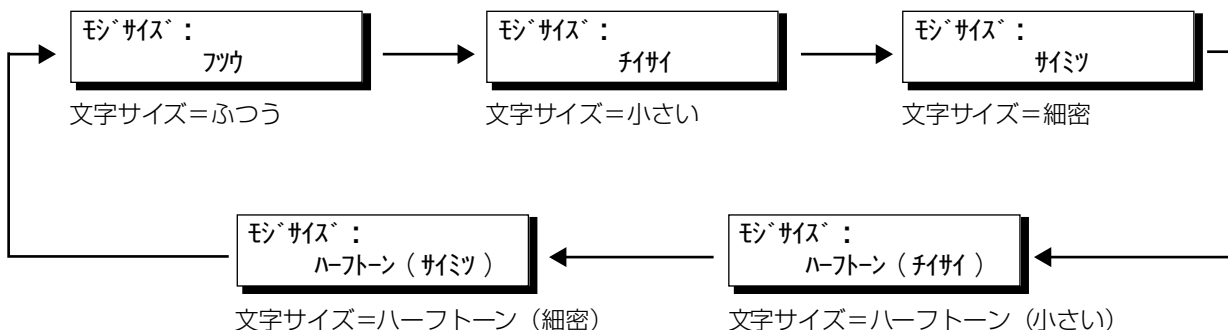
［濃度］を押すごとに切り替わります。

濃度＝ふつう　濃度＝うすく　濃度＝こく

文字サイズ

細かい文字の原稿を送る時は「チイサイ」もしくは「サイミツ」、写真やカラー原稿を送るときは「ハーフトーン」に変更してください。

［文字サイズ］を押すごとに切り替わります。

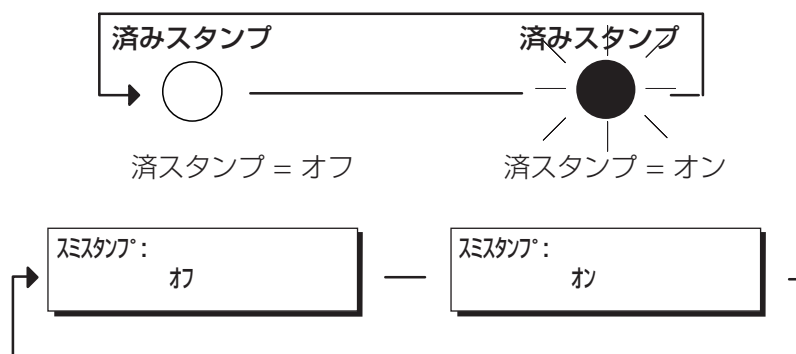
文字サイズ＝ふつう　文字サイズ＝小さい　文字サイズ＝細密

文字サイズ＝ハーフトーン（細密）　文字サイズ＝ハーフトーン（小さい）

お知らせ

1. 良くお使いになる濃度や文字サイズの設定を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定をする手間がはぶけます。（☛137 ページ）

済スタンプ

済スタンプを使えば、送信済の各ページに小さな㊮マークが付くので、正常に送信されたことが確認できます。

済みスタンプ を押すごとに切り替わります。

敬称付加機能

システム登録の「134 宛先名敬称付加」で、発信元印字の宛先（TO）に、「サマ」を印字するかどうかを設定できます。お買い上げ時は、「サマ」を印字するように設定されています。（☛140 ページ）

【発信元印字例】

お知らせ

1. 「004 済スタンプ」のお買い上げ時の設定は「オフ」（☛137 ページ）、「028 メモリー済スタンプ」のお買い上げ時の設定は「アリ」（☛138 ページ）になっています。
   ダイレクト送信、メモリー送信または、ポーリング送信をするときに、済スタンプの設定を変更したい場合は、済スタンプ、およびメモリー済スタンプの設定を「オン」または「ナシ」にしてください。

通信結果レポート

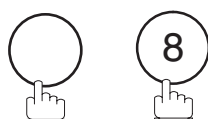
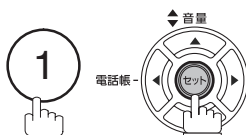
通信ごとの結果を確認できます。

通信結果レポート = **オフ**に設定した場合　: 通信結果レポートはプリントしません。
通信結果レポート = **オン**に設定した場合　: 通信毎に自動的に通信結果レポートをプリントします。
通信結果レポート = **ミツウシン**に設定した場合 : 通信が未通信のときのみ通信結果レポートをプリントします。

1

ファンクション

```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ        (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ﾐﾂｳｼﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

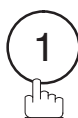
3

" オフ " の場合 （プリントしない）

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ｵﾌ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

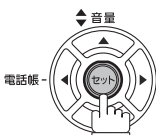
または

" オン " の場合（常にプリント）

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

または

" ミツウシン " の場合
（通信が失敗したときのみプリント）

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ = ﾐﾂｳｼﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾐﾂｳｼﾝ
```

4

お知らせ

1. 通信結果レポートの設定を変更するにはシステム登録の「012 通信結果レポート」（☛137 ページ）を変更します。

誤送信防止

概要

誤った宛先への送信を防止するため、本機には、複数宛先指定の禁止、宛先確認、直接ダイヤル制限、直接ダイヤル再入力の 4 つの機能があります。

複数宛先指定の禁止

複数宛先の指定、およびグループダイヤルを禁止するように設定できます。
この機能が設定されている場合、2ヵ所目の宛先を指定しようとすると、次のメッセージが表示されます。

```
ﾌｸｽｳｱﾃｻｷﾉ ｾﾝﾀｸﾊ
ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

- 複数宛先指定を禁止する場合は、システム登録の「117 複数宛先指定」を「ナシ」に設定しておきます。
  お買い上げ時は、「アリ」に設定されています。（☛140 ページ）

「ナシ」に設定した場合も、プログラムダイヤルを利用した複数宛先への送信はできます。

宛先確認

常に宛先確認をしてから、送信を開始するように設定できます。
宛先確認が設定されている場合、宛先を確認しないで スタート を押すと、宛先確認の操作を促すメッセージが表示されます。

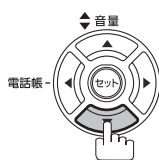
- 宛先確認をする場合は、システム登録の「125 宛先確認」を「アリ」に設定しておきます。
  お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。（☛140 ページ）

送信指示を行ったあと（☛37 ページ～ 46 ページ）宛先確認を促すメッセージが表示された場合は、次の手順にしたがって操作してください。

または

を押して宛先を確認する

```
∨ ∧ ﾃﾞ ｱﾃｻｷｦ ｶｸﾆﾝｼﾃ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

2

スタート

直接ダイヤル制限

直接入力による電話番号の指定を、すべて禁止するように設定できます。

- 直接ダイヤル入力を禁止する場合は、システム登録の「136　直接ダイヤル制限」を「アリ」に設定しておきます。お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。（☛140 ページ）
- この機能を設定すると、再ダイヤルは使用できません。ただし、再ダイヤル待ちが表示されている場合は 再ダイヤル 押すと、再ダイヤルが開始されます。

テンキー、再ダイヤルを押すと、次のメッセージが表示されます。

```
ﾁｮｸｾﾂﾀﾞｲﾔﾙ ｾｲｹﾞﾝ
ﾁｭｳﾆ ｺﾉｿｳｻﾊ ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

直接ダイヤル再入力

直接入力で電話番号を入力するときに、電話番号の再入力画面が表示され、1 回目と 2 回目が一致した場合にだけ送信が開始されるように設定できます。

- 直接ダイヤル再入力を有効にする場合は、システム登録の「137　直ダ再入力」を「アリ」に設定しておきます。お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。（☛141 ページ）
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が「アリ」に設定されている場合は、「137 直ダ再入力」で「アリ」を設定しても、再入力画面は表示されません。（☛140 ページ）
- 1 回目と 2 回目の宛先が一致しない場合は、「アテサキガ　イッチシテイマセン」と表示されます。

直接入力で 1 回目の電話番号を入力し、セット または スタート を押す（☛37 ページ）と、自動的に再入力画面が表示されます。次の手順に従って操作してください。

1 電話番号をもう一度入力します。

```
TEL. NO. ( ｻｲﾆｭｳﾘｮｸ )
_
```

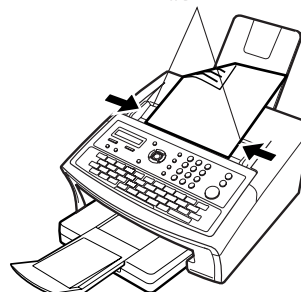
2 スタート

3 1 回目と 2 回目が一致すると、送信が開始されます。

1 回目と 2 回目が一致しない場合は、「アテサキガ　イッチシテイマセン」と表示されます。この場合は、1 回目の電話番号の入力から、操作し直します。

基本送信手順

1 図のように原稿をセットする

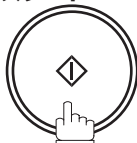
- 原稿のセットのしかた（☛28 ページ）

2 文字サイズ、濃度を選ぶ

- 濃度（☛29 ページ）
- 文字サイズ（☛29 ページ）

3 必要に応じて各種機能を設定する

4 ダイヤルをする

- 直接ダイヤル（電話番号）で送る（☛37 ページ）
- ワンタッチボタンで送る（☛38 ページ）
- 短縮ダイヤルで送る（☛39 ページ）
- 電話帳機能で送る（☛40 ページ）

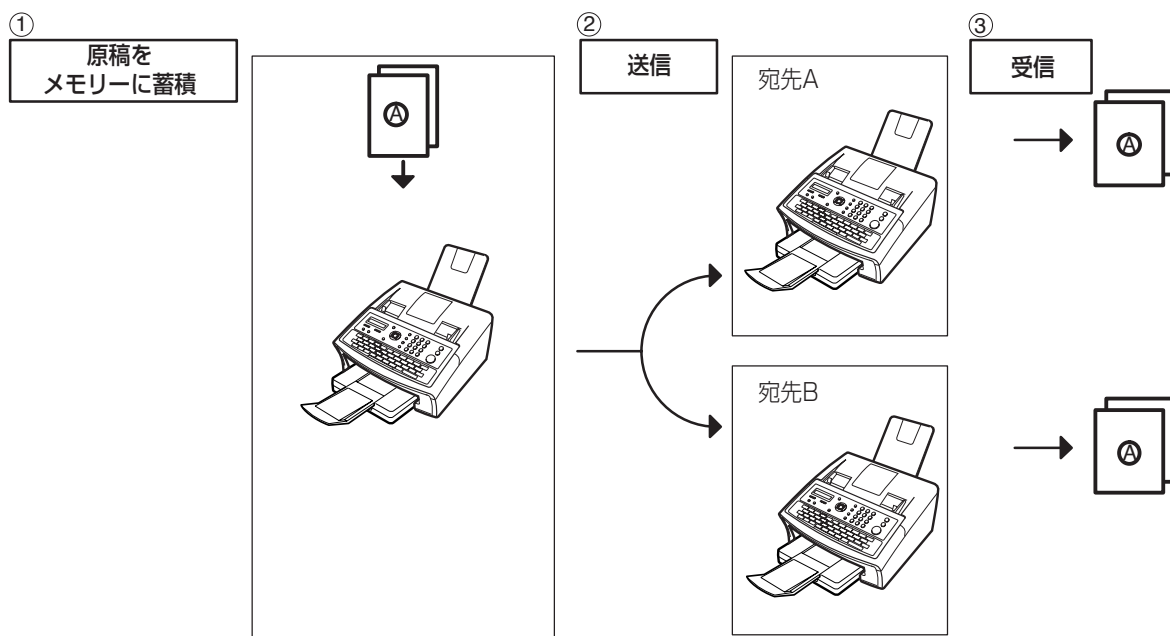
5

を押す

- 原稿読取が開始されます。
- 宛先へ送信を開始します。

電話回線で送信する

メモリー送信

原稿をメモリーに蓄積し、次にダイヤルを開始します。

送信途中で通信が中断されたときは、残りのページを再送します。

お知らせ

1. メモリーに蓄積された原稿のファイル番号はディスプレイの右端上部に表示されます。通信結果レポートなどにもプリントされます。使用されるメモリーの割合は、各ページ保存後ディスプレイの右端下部に表示されます。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.003
        ﾏｲｽｳ=002   10%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
  ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005  25%
```

2. 複数宛先を指定しているとき、原稿保存中にメモリー容量が一杯になった場合、ADF の残りの原稿は排出されます。ファクスが蓄積された原稿を送信するか、または送信をキャンセルするかを聞いてきます。①を押して、キャンセルするか、②を押して送信します。

```
ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞｰ
   ｺｰﾄﾞ=0870
```

10 秒以内に操作をしない場合、ＡＤＦ 上の原稿は排出されます。すでにメモリーへ読込まれた原稿について送信します。

```
15 ﾍﾟｰｼﾞ ｶﾝﾘｮｳ
ﾄﾘｹｼ ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

<次ページへつづく>

3. 何らかの原因で正常に送信できない場合、エラーコードが表示されます。
   未通信となった場合、読込まれた原稿は自動的にメモリーから消去され、エラーコードは通信結果レポートにプリントされます。
   未通信となった場合でも、原稿をメモリーに残しておきたい場合は、システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。(☛138 ページ) 未通信ファイルを再送する場合については、94 ページを参照してください。

```
ｻｲﾂｳｼﾝｶﾞ ﾋﾂﾖｳﾃﾞｽ
     ｺｰﾄﾞ =XXXX
```

4. 送信を停止する場合は、ストップ を押します。
   ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ
```

   ① を押して、送信を停止します。保存した原稿は、自動的に消去されます。原稿を消さない場合は、前もってシステム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。(☛138 ページ)
   次のような表示が現れ、ファイルを保存するか、削除するかを選択します。

```
ﾌｧｲﾙ ｾｰﾌﾞ ｼﾏｽｶ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ
```

5. 送信停止後に通信結果レポートをプリントする場合は次の表示で ① を押します。

```
ﾂｳｼﾝｹｯｶﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ
```

6. ファイルメモリー容量が 70 ファイルになり、別のファイルを保存しようとする場合、次の表示が現れ追加ファイルの保存ができなくなります。空きができてから送信ください。

```
ｾｯﾄ ﾃﾞｷﾏｾﾝ
```

直接ダイヤルで送る

電話番号を手動でダイヤルするには、以下の手順に従ってください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

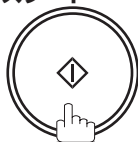
2

電話番号をテンキーボタンから入力する
（36 桁まで）

例：「5551234」を入力します。

```
TEL. NO.
5551234▮
```

3

スタート

```
＊ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ＊  NO.002
        ﾏｲｽｳ=001   05%
```

```
＊ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ＊ NO.002
5551234
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
次に、最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。（☛ お知らせ 3）
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ［ポーズ］ を押して宛先の番号を全部入力してください。

   例：9 ［ポーズ］ 5551234

2. パルスダイヤル回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、㊉（トーン）を押してください。
“／”の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。

   例：9 ［ポーズ］ ㊉ 5551234

3. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。（☛139 ページ）
4. 電話番号のあとに［フック／ F コード］を押すと”s”が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。

ワンタッチボタンで送る

ワンタッチボタンを使って、簡単な操作でダイヤルできます。ワンタッチボタンの設定については、126ページを参照ください。

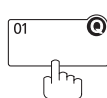
1

送る面を裏向きにセットする

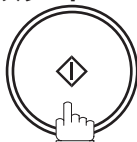
```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ       00%
```

2

ワンタッチボタンを押す

例： 01

```
<01> ( 宛先名 )
5551234
```

3

スタート

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.002
       ﾏｲｽｳ=001    05%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ *  NO.002
( 宛先名 )
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  次に、最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。(☛ お知らせ 1)
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。(☛139ページ)

短縮ダイヤルで送る

短縮ダイヤルを使って、短縮番号を押すことで、ダイヤルできます。短縮ダイヤル番号の設定に関しては、128 ページを参照ください。

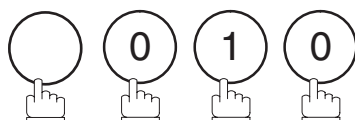
1

送る面を裏向きにセットする

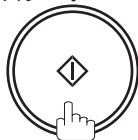
```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ     00%
```

2

短縮 を押して、次に 3 桁の短縮番号を入力する

例： 短縮

```
[010] ( 宛先名 )
5553456
```

3

スタート

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.002
        ﾏｲｽｳ =001   05%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ * NO.002
( 宛先名 )
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  次に最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。(☛ お知らせ 1)
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

お知らせ

1. この機能は “**クイックメモリー送信**” と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。(☛139 ページ)

電話帳機能で送る

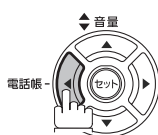
ワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録（☛126、128 ページ）してある宛先を電話帳機能で検索してダイヤルできます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

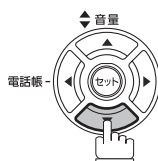
```
ｱﾃｻｷﾒｲ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ < ｶﾅ
▮
```

3

文字ボタンを使って宛先名の全部または一部を入力する（☛133 ページ）

例：「PANASONIC」を検索するには「PANA」と入力してください。

```
ｱﾃｻｷﾒｲ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ <A>
PANA▮
```

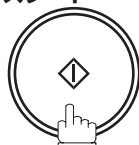
4

または

ディスプレイに送信する宛先名が表示されるまで繰り返します。

```
<01>PANASONIC
5553456
```

5

スタート

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.002
        ﾏｲｽｳ =001   05%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ *  NO.002
PANASONIC
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  次に最初のページを読取り後、すぐにダイヤルを開始します。（☛ お知らせ 1）
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。（☛139 ページ）

一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信）

同じ原稿を複数の宛先に送信する場合、メモリー送信を使うことで一度の操作でたくさんの相手に送ることができます。

1

送る面を裏向きにセットする

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ　　00%

2

次の方法を組み合わせてダイヤルする

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  各宛先選択後 セット を押します。
- 直接ダイヤル
  各宛先入力後 セット を押します。（最大 70 件）

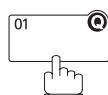
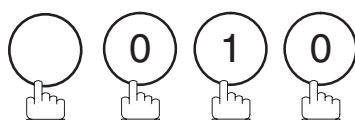
（☛37 ～ 40 ページ）

例：

短縮

<01>（ 宛先名 ）
5551234

[010]（ 宛先名 ）
5553456

1 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ

- 入力した宛先数を確認する場合、セット を押します。

＜次ページへつづく＞

3 スタート

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.001
        ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
  ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ =005 25%
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ * NO.001
( 宛先名 )
```

お知らせ

1. ▼ または ▲ を押して、手順 2 で入力した宛先を見直すことができます。必要に応じて LCD 上に表示される宛先を クリアー を押すことで削除できます。
2. **クイックメモリー送信**は複数宛先を設定している場合は使用できません。

ダイレクト送信（メモリーを使わずに送る）

原稿の枚数が多いなどで、メモリーに入りきらないときにお使いください。

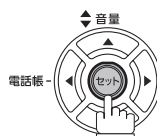
ダイレクト送信をするには、以下の手順に従ってメモリー送信の設定を「オフ」にして送信してください。

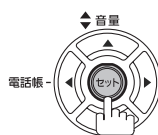
1

送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレテクダ゛サイ
スタートヲ オシテクダ゛サイ　　00%

2

ファンクション

メモリーユウセン ＝オン
1：オフ 2：オン

3

アテサキ ヲ イレテクダ゛サイ
00%

4

宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （宛先選択後 [スタート] を押します）
- 直接ダイヤル
  （宛先入力後 [スタート] を押します）

スタート デ゛ ダ゛イヤル カイシ
5551234▮

例：「5551234」を入力します。

<次ページへつづく>

5 スタート

```
＊ダイヤル シテイマス＊
5551234
```

• 宛先へ送信を開始します。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押して宛先の番号を全部入力してください。

   例：9 ポーズ 5551234

2. 回転ダイヤル式回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、＊(トーン)を押してください。"／" の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。

   例：9 ポーズ ＊5551234

3. 送信を停止するには、ストップ を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

```
ソウシン テイシ ?
1: ハイ 2: イイエ
```

①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定 (F8-1) が「オン」になっていてもプリントアウトはしません。

手動送信

本機にオプションのハンドセットユニットまたは外部電話機を接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの送信ができます。

オフフックダイヤル

オフフックダイヤルについては、以下の手順に従ってください。

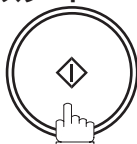
1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ     00%
```

2

ファクスまたは外部電話機の受話器を持ち上げ、テンキーボタンから電話番号をダイヤルする

例：「5551234」を入力します。

```
ｼﾞｭﾜｷ ｶﾞ ｱｶﾞｯﾃｲﾏｽ
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ*
5551234■
```

3

相手と話をし、受信側の準備をするように伝える

次に、ピーッという音が聞こえたら、

受話器を置きます。

```
* ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
```

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押して宛先の番号を全部入力してください。
   例：9 ポーズ 5551234
2. 回転ダイヤル式回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、(＊)(トーン)を押してください。"／" の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
   例：9 ポーズ (＊)5551234
3. 送信を停止するには、ストップ を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ
```

①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定 (F8-1) が「オン」になっていてもプリントアウトはしません。

オンフックダイヤル

オンフックダイヤルは、以下の手順に従ってください。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押して宛先の番号を全部入力してください。

   例：9 ポーズ 5551234

2. 回転ダイヤル式回線を使用しているとき、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、㊍（トーン）を押してください。"／"の前まで発信後、パルス発信からトーン発信へ変更されます。

   例：9 ポーズ ＊5551234

3. 送信を停止するには、ストップ を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

   ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
   1：ﾊｲ 2：ｲｲｴ

   ①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定（F8-1）が「オン」になっていてもプリントアウトはしません。

メモリー送信予約（マルチタスク）

メモリーから原稿を送信または原稿を受信しながら、次の操作ができます。

- 次の送信をメモリーに蓄積する（最大 70 件）
- 優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）

ファクスからメモリーを使って送信、受信またはプリントを行なっている場合、次の手順で原稿をメモリー送信予約ができます。

1 ファクスが通信中の場合、または受信原稿をプリント中のときは、次のような表示となります。

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:（ 宛先名 ）
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:（ 相手先 ID）
```

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

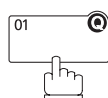
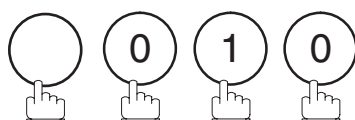
3 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
- 直接ダイヤル

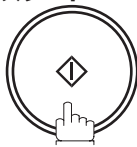
例：

短縮

```
<01>（ 宛先名 ）
5551234
```

```
[010]（ 宛先名 ）
5553456
```

- 入力した宛先数を確認する場合は、セット を押します。

＜次ページへつづく＞

4 スタート

原稿をメモリーに蓄積します。

```
* チクセキ シテイマス *   NO.001
          マイスウ =001   01%
```

```
* チクセキ カンリョウ *
 ゲンコウ マイスウ =005   25%
```

お知らせ

1. メモリー送信予約の消去については、91 ページを参照ください。

優先ファイル送信予約（ダイレクト送信）

緊急を要する原稿を送信する際に、メモリーに多数のファイルがある場合、優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）を使って、緊急原稿を送信します。緊急原稿は現行通信が終了後すぐに送信されます。

複数相手先への原稿送信はできません。

1 ファクスが通信中の場合、または受信原稿をプリントするときは、次のような表示となります。

```
＊ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ＊
ID:（宛先名）
```

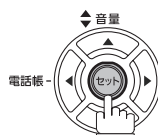
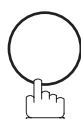
```
＊ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ＊
ID:（相手先 ID）
```

```
＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾒﾓﾘｰﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2

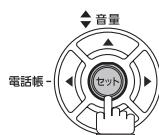
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

3 ファンクション

```
ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ＝ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

4


```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                  00%
```

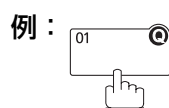
＜次ページへつづく＞

5 宛先を指定する（1 宛先のみ指定できます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

（宛先選択後 スタート を押します）

- 直接ダイヤル

（宛先入力後 スタート を押します）

例：

<01>（ 宛先名 ）
5551234

緊急原稿の送信を 1 宛先のみ予約できます。

“ユウセンヨヤク サレテイマス” メッセージがディスプレイに表示されます。

優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）を取り消す

1 原稿が ADF にあることを確認する

ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ｻﾚﾃｲﾏｽ

2 ストップ

ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ﾄﾘｹｼ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ

3

次に、ADF から原稿を取り除く

再ダイヤル

自動再ダイヤル

相手が話し中などでつながらなかった場合、約３分間隔で２回まで自動的に再ダイヤルします。

メモリー送信ファイルの場合、ファイル番号がディスプレイの右端上部に表示されます。

```
ﾀﾞｲﾔﾙﾏﾁ           NO.001
<01>（ 宛先名 ）
```

手動再ダイヤル

再ダイヤル を押すことで、最後にダイヤルした番号に再ダイヤルすることもできます。

最後にダイヤルした番号にメモリーから再ダイヤルする

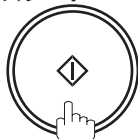
1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

```
TEL.NO.
5551234▮
```

3

```
＊ ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ＊  NO.002
         ﾏｲｽｳ=001   01%
```

```
＊ ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ＊ NO.002
5551234
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 次に最後にダイヤルした番号にダイヤルします。

基本編

電話回線で送信する

ダイレクト送信で再ダイヤルで送る

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

ファンクション　8　9　電話帳・セット・音量

```
ﾒﾓﾘｰﾕｳｾﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ
```

3

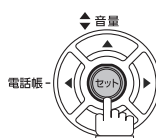
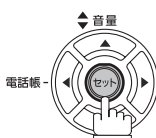
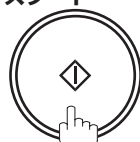
1　電話帳・セット・音量

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                00%
```

4

再ダイヤル/ポーズ　スタート

```
ｽﾀｰﾄ ﾃﾞ ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｼ
5551234■
```

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ *
5551234
```

最後にダイヤルした番号にダイヤルを開始します。

お知らせ

1. “ダイヤルマチ”表示のとき、再ダイヤル を押すことで再送信できます。
2. ダイレクト送信を取り消すにはストップ を押します。

電話回線で受信する

受信モード

以下の４つのモードから１つを選択できます。

ご利用の目安	受信モード	設定
電話での受信のみ	**電話モード（手動受信）** 電話がかかってくると、呼出音が鳴ります。ファクス通信を受けたときは、スタート を押して、手動で受信します。	システム登録の No.17 を「シュドウ」にする。 yyyy-mm-dd 15:00 <ｼｭﾄﾞｳ> 00%
ファクスでの受信のみ	**FAX 専用モード** 電話がかかってくると、自動的にファクス受信します。	システム登録の No.17 を「FAX センヨウ」にする。 yyyy-mm-dd 15:00 00%
電話とファクスの両方を受信する	**ファクス / 電話自動切替モード** 電話がかかってくると、ファクスが一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切り替えます。	システム登録の No.17 を「FAX/TEL キリカエ」にする。 yyyy-mm-dd 15:00 <F/T ｷﾘｶｴ> 00%
電話とファクスの両方を受信し、留守番電話（留守番電話機）を接続する	**留守録接続モード** 接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。	システム登録の No.17 を「ルスロクセツゾク」にする。 yyyy-mm-dd 15:00 <ﾙｽﾛｸ ｾﾂｿﾞｸ> 00%

お知らせ

1. 接続する留守番電話機によっては、「留守録接続」時に正常に動作しない機器があります。

手動受信する

本機にオプションのハンドセットユニットまたは外部電話機を接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの受信ができます。

電話モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「シュドウ」に変更する（☛137 ページ）

電話モードの操作

1 電話が鳴ったら、受話器を持ち上げる

電話からポーッ、ポーッという音が聞こえたら、ファクス着信です。
または発信者が応答し、ファクス送信する旨を伝えられる。

2 ADF に原稿がないことを確認する

3a **受話器（ハンドセット）を使っている場合（☛ おしらせ 1）**

3b **外部電話機を使っている場合**

または

- 外部電話機にプッシュホン式電話をお使いの場合：
  「*」「*」（2 秒以内に押す）
- 外部電話機にダイヤル式電話機をお使いの場合：
  「9」「9」（5 秒以内にダイヤルする）

お知らせ

1. オプションのハンドセットをお使いになるときは、システム登録の「075 オプションハンドセット」の設定を「アリ」にしてください。（☛ 139 ページ）

4 受話器を戻す

- 外部電話機から電話をかけた時は、リモート受信できません。

ファクス専用のときファクスを受ける

相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。

ファクス専用モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「FAX センヨウ」に変更する（☛137 ページ）

ファクス専用モードの操作

自動的に受信を開始します。

ファクス／電話自動切替のときファクスを受ける

一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切り替えます。

ファクス / 電話自動切替モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「FAX/TEL 切替」に変更する（☛137 ページ）

ファクス / 電話自動切替モードの操作

ファクス着信である場合

1 ファクスが最初に応答し、電話かファクス着信かを区別する

2 自動的に原稿の受信を開始する

電話の場合

1 ファクスが最初に通話に応答し、電話かファクス着信かを区別する

2 呼び出し音を鳴らし、着信を通知する（☛ お知らせ 1）

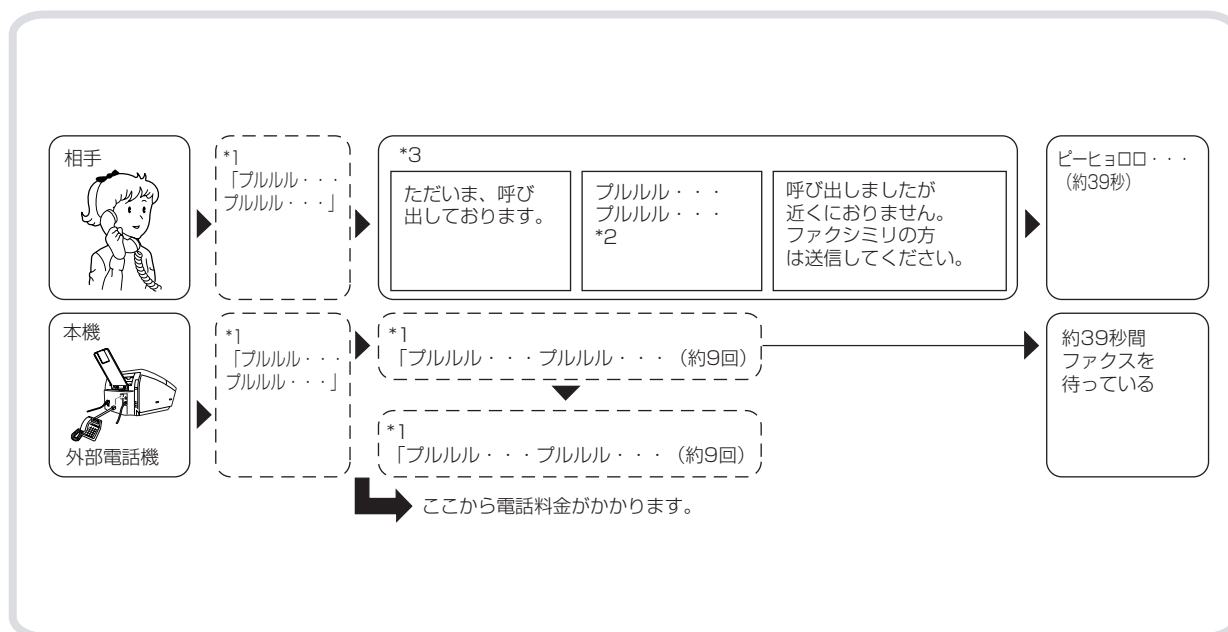
3 受話器を持ち上げる

- 「ジュシン シテイマス」と表示されているときは、受話器を持ち上げたあと[ストップ] を押します。

4 会話をはじめる

お知らせ

1. ファクスの呼出音を鳴らす回数は、システム登録の「018 F/T ベル回数」で変更できます。（☛138 ページ）
2. 呼出音量の調整については、25 ページを参照ください。

ファクス / 電話自動切替にセットしているとき、電話がかかってくると

*1「021 着信ベル回数（☛138 ページ「システム登録」）

「ただいま呼び出しております」が聞こえる前に呼出音を鳴らすことができます。

呼出回数を設定すると、相手が自動送信のファクスでも呼出音が鳴ります。

*2「018 F/T ベル回数」（☛138 ページ「システム登録」）

ファクスの呼出音を鳴らす回数です。設定により呼び出し回数を変更することができます。変更すると、相手に流す「プルルル・・・」音の回数も変わります。

*3「072 音声応答」（☛139 ページ「システム登録」）

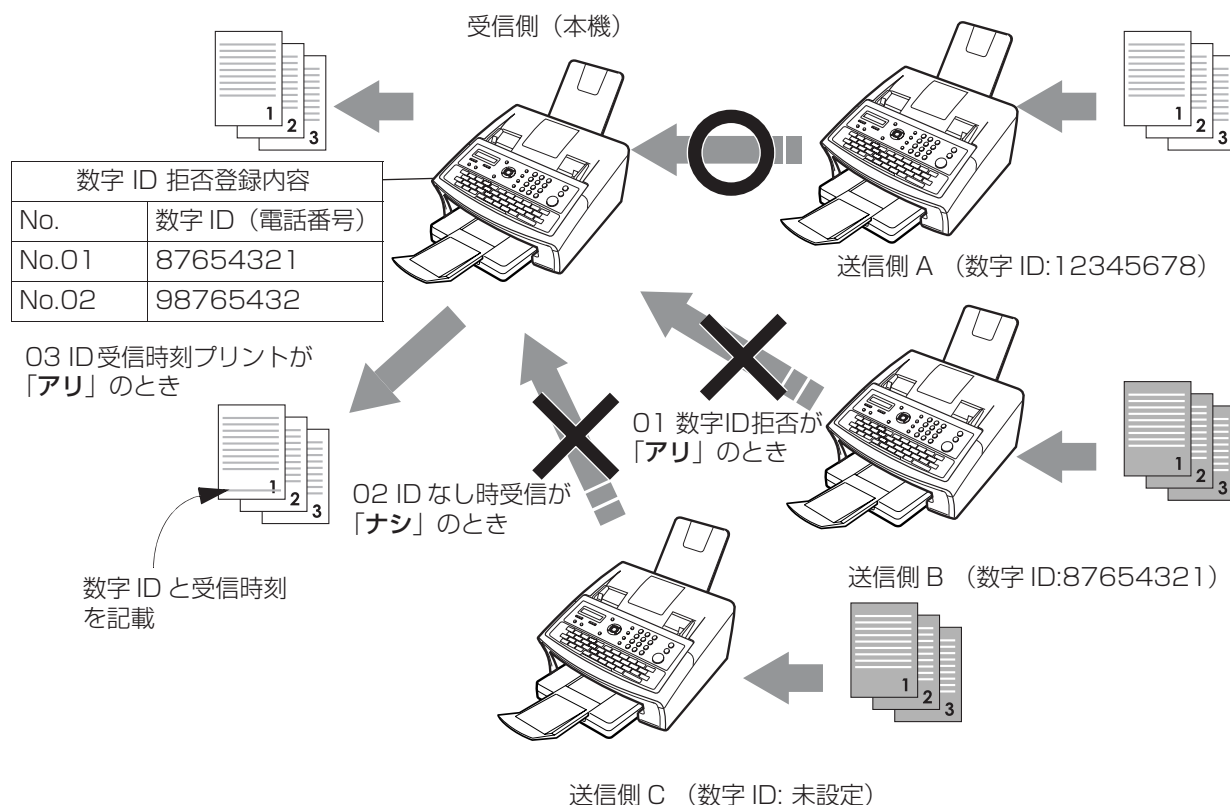
設定により、相手に音声応答を流さないで、呼出音だけを流すことができます。

● 呼び出し音の音量は、▼ ▲ ボタンで音量を調節してください。ディスプレイ上に音量レベルが表示されます。

迷惑ファクス防止

概要

受信したくない相手から着信した場合に、受信を拒否する機能です。ダイレクトメールなどのファクスや、迷惑ファクスなどを受信したくない場合に設定しておくと便利です。

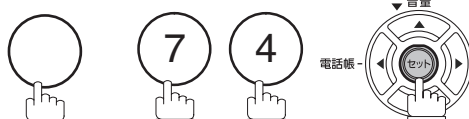
数字 ID 拒否登録内容	
No.	数字 ID（電話番号）
No.01	87654321
No.02	98765432

迷惑ファクス防止には、数字 ID 拒否、ID なし時受信、ID 受信時刻プリントの 3 つの機能があります。ID なし時受信、ID 受信時刻プリントは、数字 ID 拒否が「アリ」のとき有効になります。

- 数字 ID とは、ファクスの電話番号のことです。通常は、自局情報の一部としてファクスに登録しておきます。
- 受信を拒否した場合は、通信管理レポートなどの結果欄に「キョヒ」と記載されます。

数字 ID 拒否

受信したくない相手の数字 ID を登録しておき、その数字 ID の相手から着信した場合は、受信を拒否するように設定できます。

- この機能を有効にする場合は、システムの登録の「135 迷惑ファクス防止」の「01 数字 ID 拒否」を「アリ」に設定し、「04 ID 番号登録」に受信を拒否する相手の数字 ID を登録しておきます。
  お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。（☛140 ページ）
- 「04 ID 番号登録」には、受信を拒否する数字 ID を 30 件まで登録できます。

1

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
      NO.=█
```

2

```
135 ﾒｲﾜｸ ﾌｧｸｽ ﾎﾞｳｼ
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3

```
ｽｳｼﾞ ID ｷｮﾋ ｷﾉｳ(1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

4

```
01 ｽｳｼﾞ ID ｷｮﾋ
 1:ﾅｼ
```

5

“ナシ”にするには①

または

“アリ”にするには②

6

ID なし時受信

数字 ID を送出しない相手から着信した場合に、受信するかどうかを設定できます。

「02 ID なし時受信」が「アリ」の場合：相手機から数字 ID が送出されない場合も受信します。
「02 ID なし時受信」が「ナシ」の場合：相手機から数字 ID が送出されない場合は、受信を拒否します。

- お買い上げ時は、「アリ」に設定されています。（☛140 ページ）

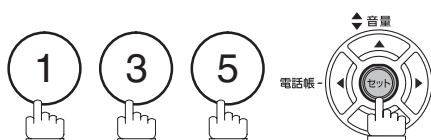
ID 受信時刻プリント

相手機の数字 ID を、受信時刻と共に受信文書に記載するように設定できます。

- 数字 ID が送出されなかった場合は、受信時刻だけが記載されます。
- この機能を使用する場合は、システムの登録の「135 迷惑ファクス防止」の「03 ID 受信時刻プリント」を「アリ」に設定しておきます。
  お買い上げ時は、「アリ」に設定されています。（☛140 ページ）

1

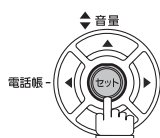
ファンクション

ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ (1-181)
NO.=▮

2

135 ﾒｲﾜｸ ﾌｧｸｽ ﾎﾞｳｼ
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

3

ｽｳｼﾞ ID ｷｮﾋ ｷﾉｳ (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

4

03 IDｼﾞｭｼﾝｼﾞｺｸ ﾌﾟﾘﾝﾄ
2:ｱﾘ

5

“ナシ”にするには①

または

“アリ”にするには②

6

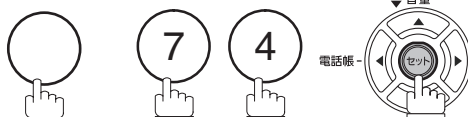
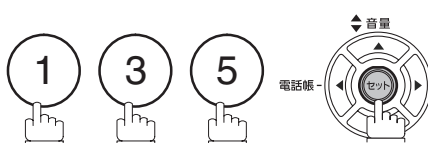
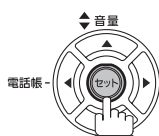
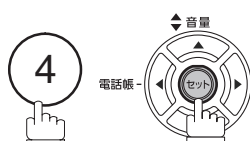
ストップ

基本編

迷惑ファクス防止

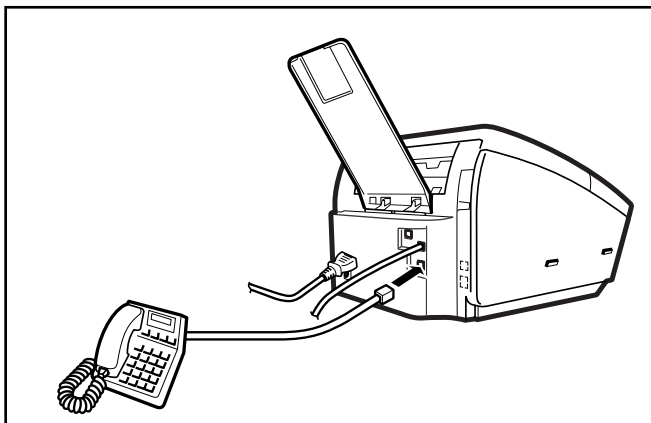
ID 番号登録

「01 数字 ID 拒否」で拒否したい数字 ID を登録します。
30 件まで登録できます。

- 1 件につき 20 桁まで入力できます。

便利な機能

留守録接続モード

接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。市販の留守番電話機はほとんどの機種で対応可能ですが、まれにご利用できないものもあります。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

留守番電話機の接続

1

1. 留守番電話機を、図の通り本体後部の電話機ジャックに差し込む

留守録接続モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「留守録接続」に変更する。(☛137 ページ)

留守録接続モードの操作

ファクスの場合

1 留守番電話機が最初に応答し､留守番電話機に録音した応答メッセージを相手側に流します｡留守番電話機の応答中は、ファクスが音声通話か、ファクスかを監視します。

2 自動的に受信を開始します。

電話機の場合

1 留守番電話機が最初に応答し､次に留守番電話機に録音した応答メッセージを相手側に流します｡留守番電話機の応答中は､ファクスが音声通話か､ファクス着信かを監視します。

2 留守番電話機は、応答メッセージ後、続けて相手側のメッセージを録音します。

応答メッセージの例

はい。松下です。お電話に出られません。ピーという発信音の後にメッセージをお願いします。また、ファクスの方は送信してください。お電話ありがとうございました。

無音検出モード

ファクス信号「ポー…、ポー…、ポー…」を送信しないファクスから受信するとき、本機をファクスモードに切り替えることができます。留守番電話機が無言の着信メッセージを記録するのを防ぎます。

この機能の使用方法

1. システム登録の「020 無音検知」を「アリ」に変更します。(☛138ページ)
2. 留守番電話に記録した応答メッセージの長さをシステム登録の「019 応答メッセージ時間」で応答するメッセージの時間に合わせて変更します。(☛138 ページ)
   [「019 応答メッセージ時間」の長さは実際の長さより 5 ～ 6 秒長く設定することを推奨します。]

縮小受信

本機は、市販の定型サイズの A4、レター、リーガルサイズの用紙を使用することができます。相手側から定型外の原稿を送られた場合は、1 ページにプリントできないことがあります。このような場合には次のページに分割されてプリントされます。

本機は縮小受信機能があり、1 ページにプリントすることができます。以下の選択肢からもっとも適切な設定を選択します。

1. **自動縮小**
   受信した各ページは、まずメモリーに蓄積されます。原稿の長さを基に、本機が自動的に適切な縮小率を計算し（70 ～ 100%）原稿全体を一枚のページにプリントします。受信した原稿が極端に長い（記録用紙より 39%以上）場合、原稿は別々のページ 2 枚に分かれ、縮小せずにプリントされます。

2. **固定縮小**
   縮小率をあらかじめ 70 ～ 100 % の範囲で 1%単位で設定できます。受信する原稿は、サイズに関係なく、設定された縮小率で縮小されます。

縮小受信モードの選択

システム登録を下記のとおりに設定します。(☛138 ページ)

1. 自動縮小率を設定します。
   1) No. 24 縮小受信を“ジドウ”に設定します。

2. 固定縮小モードを設定します。
   1) No. 24 縮小受信を“コテイ”に設定します。
   2) No. 25 固定縮小率を 70%～ 100%の間で設定します。(☛ お知らせ 1)

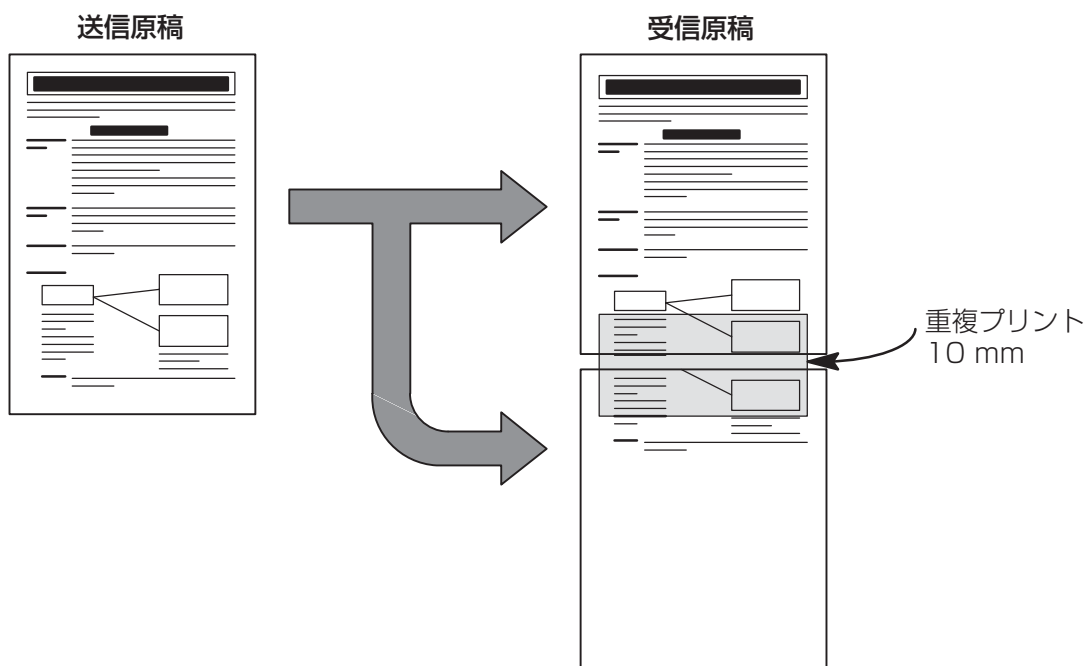
   例： A4 → A4 - 96%
   A4 → レター - 90%
   レター→レター - 96%
   リーガル→レター - 75%

お知らせ

1. 送信側が発信元印字を画面外設定してある場合は、縮小率を調整してください。

基本編

規定サイズ以外の原稿を受信したとき

受信原稿が極端に長い（記録用紙より 39%以上）場合、原稿は別々の用紙に分かれます。別々のページにプリントするとき、1 枚目の下から 10 mm までの部分と、2 枚目の最初の部分が重なるようにプリントします。

お知らせ

1. 縮小方法を自動縮小モードに設定している場合に、原稿が別々のページにプリントされたときは、縮小せずにプリントアウトされます。縮小方法を固定縮小モードに設定している場合、原稿はシステム登録の No.25 で設定した縮小率でプリントアウトされます。(☛138 ページ)

メモリー代行受信

受信中に用紙が無くなったり、つまったりした場合、またはトナーが無くなったりした場合は、本機は自動的に原稿をメモリーに蓄積しはじめます。蓄積された原稿は、用紙を補給するか、プロセスカートリッジを取り替えれば、自動的にプリントされます。(☛ お知らせ 1 および 2)

1 メモリー受信を終了し、用紙またはトナーが不足している場合、エラーコードがディスプレイに表示する

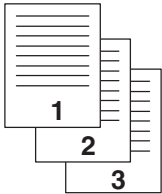
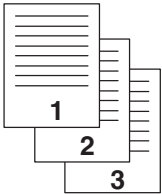
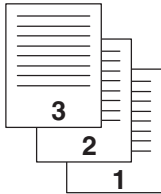
```
ﾖｳｼ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
        ｺｰﾄﾞ =0010
```

```
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ
        ｺｰﾄﾞ =0045
```

2 用紙を補充する(☛155 ページ)か、プロセスカートリッジを取り替える(☛153 ページ)

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

自動的にメモリーに蓄積された原稿のプリントを開始します。

お知らせ

1. メモリーがいっぱいになると、受信を中止し、通信が終了します。そのときまでメモリーに蓄積された原稿はプリントされます。
2. メモリー代行受信を行いたくない場合は、システム登録の「022 代行受信」を「ナシ」にします。(☛138 ページ)

正順プリント

本機は正順プリント機能が搭載されており、受信した原稿を正順にプリントできます。正順プリント機能が設定されているときは、受信した原稿はすべて最初メモリーに蓄積され、次に送信された最後のページからプリントアウトされます。

正順プリントをするには、システム登録の「065 正順プリント」を「アリ」に設定すること（☛139 ページ）、およびメモリーの空きが十分であることが必要です。

上記の条件が満たされない場合は、非正順プリントでプリントします。

送信原稿順序	受信原稿のプリント順序	
	正順で重ねる (正順プリントモード)	逆順で重ねる (非正順モード)
1 2 3	1 2 3	3 2 1

コピーをする

コピー機能を利用して、1 枚または複数枚の原稿を 1 部または複数部コピーを取ることができます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ      00%
```

2

```
ｺﾋﾟｰ ｽﾞｰﾑ (v ∧) =100%
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =1
```

3 コピー部数を入力する（最大 99 部）

例：「10」を入力します。

```
ｺﾋﾟｰ ｽﾞｰﾑ (v ∧) =100%
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =10
```

4

原稿をメモリーに蓄積し、コピーを開始します。

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *   NO.005
          ﾏｲｽｳ =001   01%
```

```
* ｺﾋﾟｰ ｼﾃｲﾏｽ *
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =01/10
```

お知らせ

1. 原稿の長さによって自動的に縮小コピーをします。手動で縮小率を変更するときは、システム登録の「032 縮小コピー」を「シュドウ」に変更します。（☛138 ページ）
   コピー縮小を手動に設定している場合、[▼]と[▲]を押して、縮小率を 100% から 70% の範囲で 1% 刻みで設定できます。
2. 文字サイズを細密でコピーする場合、縮小率を 100%で設定していても 1 ページにプリントするために少し縮小されます。
3. 手順 2 で [コピー] を押したとき、文字サイズが「フツウ」に設定されている場合でも自動的に「チイサイ」に設定されます。（「フツウ」は設定できません。）
4. 複数部コピーのときは、原稿の読み取り中にメモリーがいっぱいになるとコピーできません。読取り前の原稿を排紙し、「メモリーオーバー」の表示をし、蓄積した原稿は消去されます。この場合には、2 回以上に分けてコピーしてください。

お願い

1. 次の様なコピーを所有するだけでも、法律により罰せられますのでお気を付けください。
   ·紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券類、地方債証券類
   ·外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
   ·未使用郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規制の証券類
   ·著作権の目的となっている書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

タイマー通信

概要

24 時間以内であれば 1 宛先または複数宛先に対して時刻を指定して原稿を送信することができます。タイマー送信とタイマーポーリング通信を合わせて 70 タイマーまで指定できます。

タイマー送信

1

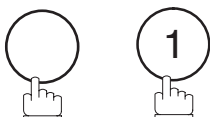
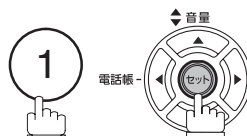
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ     00%
```

2

ファンクション

```
ﾀｲﾏｰ ﾂｳｼﾝ          (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3

```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ          ▮ :
```

4

テンキーボタンを使って送信時刻を入力し［セット］を押す
（時刻を 24 時間制の 4 桁で入力してください。）

例： 午後 11 時 30 分の場合、「2330」を押して［セット］を押します。

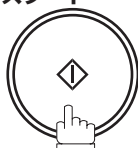
```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ          23:30
```

5

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （宛先選択後 ［セット］を押します）
- 直接ダイヤル
  （宛先入力後 ［セット］を押します）

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｼﾃｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

例： ［01］を押します。

```
&lt;01&gt;（ 宛先名 ）
5551234
```

6 スタート

- 原稿読取が開始されます。
- 原稿をメモリーに蓄積し、タイマー送信がセットされます。

お知らせ

1.「手順 4」で誤った時刻を入力した場合、クリアー を押した後、入力し直してください。

2. タイマー送信の設定を変更あるいは解除する手順は、89 と 91 ページを参照ください。

3. システム登録の「005 メモリー優先（送信 / コピー）」の設定を「オフ」にして、原稿をメモリー保存せずにタイマー送信の予約を行った場合、スタート を押した後、以下のメッセージがディスプレイに表示されます。

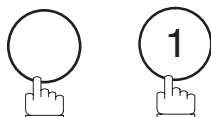
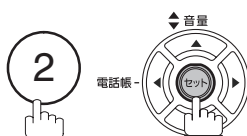
タイマーポーリング受信

あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信します。ポーリング通信に関しては 73 ページを参照ください。

1

ファンクション

```
ﾀｲﾏｰ ﾂｳｼﾝ          (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ          ▮ :
```

3

テンキーボタンを使ってポーリング受信する時刻を入力し、[セット] を押す
（時刻を 24 時間制の 4 桁で入力してください。）

```
ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ        03:30
```

例： 午前 3 時 30 分の場合、⓪③③⓪を押して
[セット] を押します。

4

4 桁のパスワードを入力し、[セット] を押す

```
ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
      ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =9876
```

例：「9876」を入力して [セット] を押します。

5

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

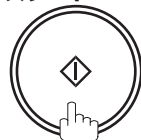
```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （宛先選択後 [セット] を押します）
- 直接ダイヤル
  （宛先入力後 [セット] を押します）

例： [01] を押します。

```
<01>（ 宛先名 ）
5551234
```

6

スタート

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *  NO.001
```

- タイマーポーリング受信がセットされます。

お知らせ

1.「手順 3」で誤った時刻を入力した場合、[クリアー] を押した後、入力し直してください。
2. タイマーポーリング受信の設定を変更あるいは解除する手順は、89 と 91 ページを参照ください。
3. タイマーポーリング受信は、電話回線を使って利用できます。

ポーリング通信

概要

ポーリングパスワードが一致すると、ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で送信させることができます。このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

- ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

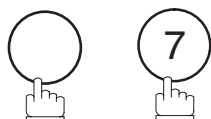
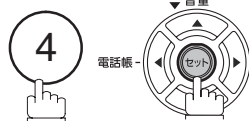
ポーリングパスワードをセットする

パスワードが相手先と一致しなかった場合、ポーリング通信できません。

次の手順にしたがって、ポーリングパスワードを設定してください。

ファンクション

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ (1-181)
NO.=▮

3

26 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
▮▮▮▮

4 4 桁のパスワードを入力する

例： ①②③④

26 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
1234

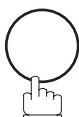
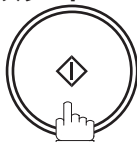
5

ストップ

お知らせ

1. ポーリング通信が利用できない機種もありますのでご注意ください。重要な文書をポーリングする際は、事前にポーリング通信機能が実行できるかどうかテストすることをお勧めします。
2. 相手先パスワードが設定されていない場合、受信元にパスワードが設定されてあってもポーリング通信機能が実行できることがあります。
3. ポーリング受信は、電話回線を使って利用できます。

ポーリング送信

相手先に原稿をポーリングさせる場合には、あらかじめ原稿をメモリー蓄積させておく必要があります。原稿をメモリー蓄積させる前にポーリングパスワードが設定されていることを確認してください。ポーリング通信後、メモリーに蓄積されていた原稿は自動的に消去されます。原稿を繰り返しポーリングするためにメモリーに保存させる場合は、システム登録の「027 ポーリングファイル保存」を「アリ」に変更します。（☛138 ページ）

原稿がメモリーに蓄積され、ポーリング送信がセットされます。

お知らせ

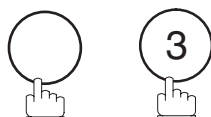
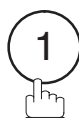
1. ポーリング送信が設定されている場合でも、原稿の送受信はできます。
2. ポーリング送信をセットできるのは 1 通信に限られます。ファイルに原稿を追加したい場合は、93 ページを参照してください。
3. システム登録の「026 ポーリングパスワード」（☛138 ページ）を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。
4. ポーリング送信を解除する手順は、91 ページを参照ください。

ポーリング受信

１つあるいは複数の相手先から原稿をポーリング受信するためには次の手順で操作してください。ポーリング通信を実行する前にパスワードの設定をご確認ください。（☛73 ページ）

1 ファンクション

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ         NO.=▮
1:ｼﾞｭｼﾝ 2:ｿｳｼﾝ
```

2

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
      ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =1234
```

3 ４桁のパスワードを入力する（☛ お知らせ 2）

例：「1111」を入力します。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
      ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =1111
```

4

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5 以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （宛先選択後[セット]を押します）
- 直接ダイヤル
  （宛先入力後[セット]を押します）

例：

```
<01>（ 宛先名 ）
5551234
```

＜次ページへつづく＞

6

＊ チクセキ シテイマス＊ NO.001

受信が開始されます。

お知らせ

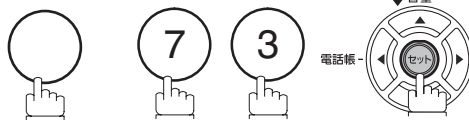
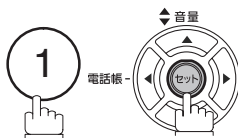
1. ▼ ▲ ボタンを利用すれば、「手順 5」で入力した宛先を確認することができます。また、表示された宛先や宛先グループを消去したい場合は必要に応じて クリアー を押してください。
2. システム登録の「026 ポーリングパスワード」(☛138 ページ) を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。

プログラム機能

概要

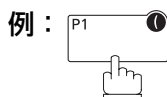
プログラムボタンに宛先とポーリング受信などの各種通信操作を登録しておくと、複雑な機能もボタンを１回押すだけで指定できます。また、プログラムボタンに複数の短縮ダイヤルやワンタッチボタンを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。

グループダイヤルの設定

1 ファンクション

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　　　　　　(1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ

3 例：P1

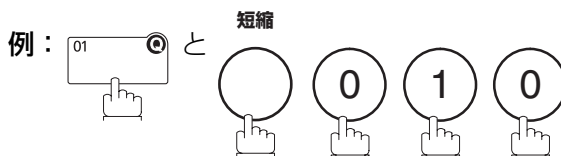
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]　ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ

4 文字ボタンを使って宛先の名前を入力し セット を押す（最大 15 文字）（☛133 ページ）

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し セット を押します。

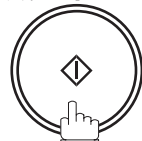
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

5 ワンタッチボタンまたは 短縮 と ３ 桁の短縮番号を使って宛先番号を入力する

例：

と

[010]（宛先名）
5553456

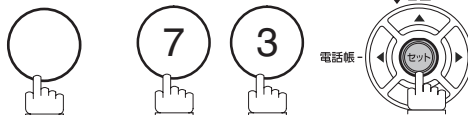
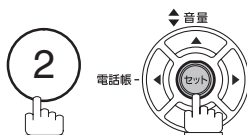
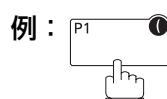
次の手順に進む前に、入力済みの宛先を確認するには、▼ ▲ ボタンを利用します。誤字などの誤りがあった場合には、クリアー を押して表示された宛先を消去します。

6 スタート

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

タイマー送信の登録

プログラム機能を使ってタイマー送信をセットします。

1 ファンクション

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

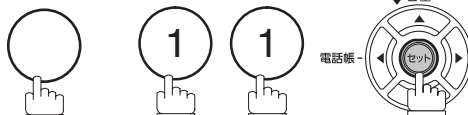
3 例：

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4 文字ボタンを使って宛先の名前を入力し セット を押す
(最大 15 文字)(☛133 ページ)

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、セット を押します。

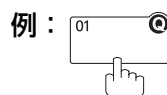
```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ
```

5 ファンクション

```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ        ▮ :
```

6 24 時間制で 4 桁の送信時刻を入力し セット を押す

例：午後 11 時 30 分の場合、②③③⓪を押して
セット を押します。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

7 以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル

例：

```
<01> ( 宛先名 )
5551234
```

8

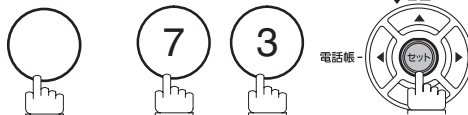
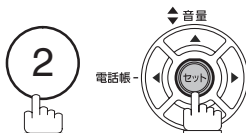
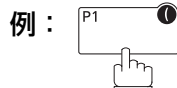
```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P  ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

タイマーポーリング受信の登録

プログラム機能を使ってタイマーポーリング受信をセットします。

1

ファンクション

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　　　　(1–5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ

3

例：

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]　ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ

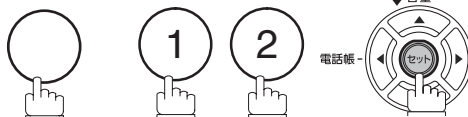
4

文字ボタンを使って宛先の名前を入力し［セット］を押す
（最大 15 文字）（☛133 ページ）

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、［セット］を押します。

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ

5

ファンクション

ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ　　▮：

6

24 時間制で 4 桁の受信時刻を入力し［セット］を押す

例： 午後 10 時 00 分の場合、②②⓪⓪を押して
［セット］を押します。

ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ　　22:00

7

4 桁のパスワードを入力し［セット］を押す

登録済みのパスワードがある場合は表示されます。一時的に変更する場合は上書きします。

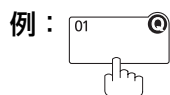
例：「1111」を入力して［セット］を押します。

ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =1234

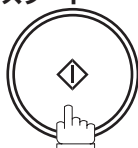
8

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル

例： 01

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

<01>（宛先名）
5551234

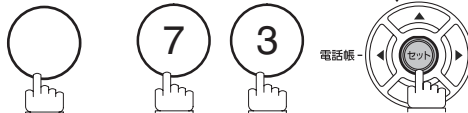
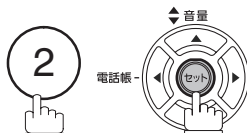
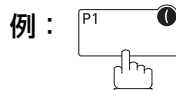
9 スタート

プﾟロク゛ラム [P]
プﾟロク゛ラムボ゛タン ヲ オス

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

ポーリング受信の登録

プログラム機能を使ってポーリング受信をセットします。

1

ファンクション

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (1–5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ

3

例：

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1] ﾅﾏｴ < ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ

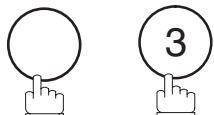
4

文字ボタンを使って宛先の名前を入力し セット を押す
（最大 15文字）
（☛133 ページ）

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、セット を押します。

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ

5

ファンクション

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =1234

6

4 桁のパスワードを入力し セット を押す

登録済みのパスワードがある場合は表示されます。一時的に変更する場合は上書きします。

例：「1111」を入力して セット を押します。

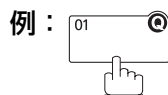
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =1111

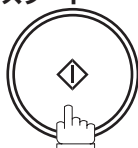
7

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル

例：

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

<01>（宛先名 ）
5551234

8 スタート

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

ワンタッチボタンの登録

プログラム機能を使ってワンタッチボタンをセットします。

1

ファンクション

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

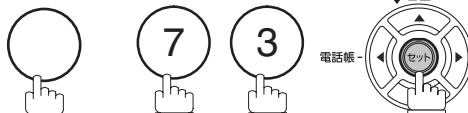
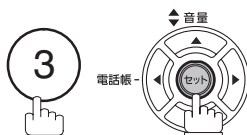
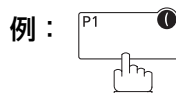
2

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

例：

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

文字ボタンを使って宛先の名前を入力する（最大 15 文字）（☛133 ページ）

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A」と入力します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A▮
```

5

（＊インターネットファクスユニット装着時）

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

6

メールアドレスを文字ボタンを使って入力する（最大 60 桁）

例：「abc@panasonic.com」を入力します。

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A
abc@panasonic.com▮
```

または

電話番号を入力する（ポーズやスペースを含み、最大 36 桁）

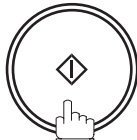
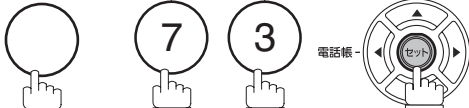
例：「9-555 1234」を入力します。

または

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A
9-555 1234▮
```

7

スタート

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

プログラムボタンの変更および消去

プログラムボタンの設定を変更する際は、77 ページから 84 ページの設定手順にしたがい、変更内容を登録し直してください。

- タイマー送信における送信時刻または宛先
- ポーリング受信における宛先
- タイマーポーリング受信における受信時刻または宛先
- グループダイヤルにおける宛先
- ワンタッチボタンにおける電話番号と宛先

プログラムボタンの設定内容を消去するとき

1

ファンクション

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

消去したいプログラムボタンを押す

例：

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾄﾘｹｼ ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

4

```
*ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ*
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
```

5

続けてプログラムボタンの消去ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

応用編

通信予約の確認と消去

概要

タイマー送信などの通信予約を確認・消去できます。

通信予約レポートをプリントする

通信予約の内容をリストにしてプリントすることができます。

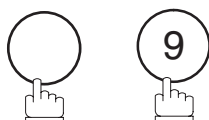
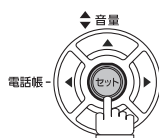
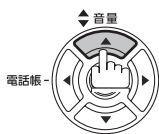
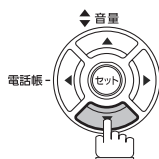
```
*************** – ﾖﾔｸ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ – ************************************* yyyy-mm-dd ***** ****** 15:00 *********

(1)       (2)                 (3)                (4)          (5)              (6)
ﾌｧｲﾙ      ﾂｳｼﾝ ﾀｲﾌﾟ          ｻｸｾｲ ｼﾞｺｸ          ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ     ﾏｲｽｳ             ｱﾃｻｷ
 No.

001       ﾒﾓﾘｰﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ       03-15 12:30        20:30                         [001]
002       ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ        03-15 12:30        22:30        003              [011] [012] [013] [016] [017]


                                                                                 -PANASONIC              -

****************************************************** – ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ –        – ***** –      201 555 1212- *********
```

内容の説明

(1) ファイルナンバー : 実行中のファイルには、ファイルナンバーの左に“*”が表示されます。
(2) 通信タイプ
(3) 作成時刻 : ファイルの作成時刻
(4) 予約時刻 : ファイルがタイマー通信用の場合は、この欄に予約時刻が印刷されます。
(5) 枚数 : 蓄積枚数
(6) 宛先 : 短縮ダイヤル No.／ワンタッチ No.／直接ダイヤル No.

通信予約の確認と消去

通信予約の内容を見る

プリントせずにディスプレイ上で通信予約の内容を見ることができます。

5 確認したいファイルがディスプレイ表示されるまで

6 ストップ

通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

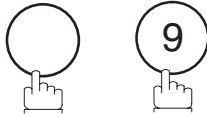
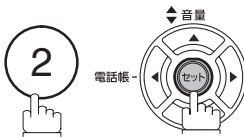
1

ファンクション

ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

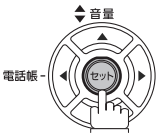
2

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=███

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、変更したいファイルを選択する

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=001

例：「001」を入力します。

4

（☛90 ページ　お知らせ 2）

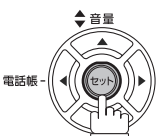
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ 22:30

5

変更する予約時刻を 24 時間制で 4 桁で入力する

例：午前 6 時の場合、「0600」を押す（時刻変更の必要がない場合は手順 6 へ進みます）。

ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ 06:00

6

<01>（宛先名）
5551234

7

宛先を消去したい場合は、▼ ▲キーを使って消去したい宛先を表示し**クリアー**を押す

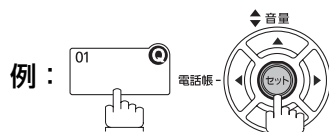
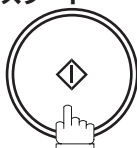
または宛先を追加します。

例：

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ

応用編

<次ページへつづく>

8 スタート

＊チクセキ シテイマス＊　NO.005

通信予約内容が変更され、待機状態に戻ります。

お知らせ

1. 送信中または再ダイヤル待機中は、ファイル内の送信時刻と宛先は変更できません。
2. タイマー通信ファイルでない場合、ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

   タイマー ツウシン セット？
   1：ハイ 2：イイエ

   タイマー通信にファイルの形式を変更する場合は① を押してください。

3. 未通信ファイルとして保存したファイルを編集する場合、手順８で スタート を押した後に、ディスプレイに次のメッセージを表示します。

   ソウシン エラー リトライ？
   1：ハイ 2：イイエ

   再送信を行なう場合は①を押してください。

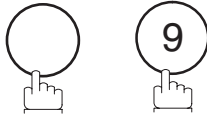
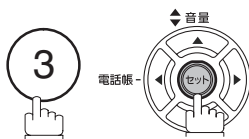
通信予約の消去

予約した通信を消去できます。

1 ファンクション

```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

3 ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、消去したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。（☛ お知らせ 2）

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

4

```
ﾌｧｲﾙ ｼｮｳｷｮ NO.=001 ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

5

```
*ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ*
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

続けて通信予約の消去ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

お知らせ

1. 送信中のファイルを消去することはできません。
2. 全ファイルを消去する場合は、ファイルナンバーとして⊛⊛⊛を入力し、[セット]を押してください（実行中のファイルがあるときは、この操作はできません）。以下のメッセージがディスプレイ表示されます。

```
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾌｧｲﾙ ｼｮｳｷｮ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

全ファイルを消去したい場合は①を押してください。

応用編

通信予約ファイルのプリント

ファイルナンバーを指定して通信予約ファイルをプリントできます。ファイルには通信を指定した原稿が付加されます。

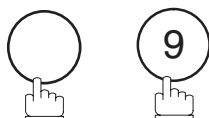
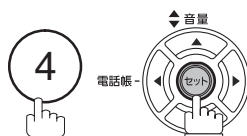
1

ファンクション

```
ヨヤク カクニン・ショウキョ (1-6)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
ファイル NO. マタハ ∨ ∧
    ファイル NO.=■■■
```

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ ボタンを使って、印刷したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。

```
ファイル NO. マタハ ∨ ∧
    ファイル NO.=001
```

4

スタート

```
* プリント シテイマス *
          ページ=001/003
```

ファイルの印刷が開始されます。ファイル印刷後でも原稿はメモリー内に保存されています。

お知らせ

1. 送信中のファイルを印刷することはできません。

ファイルに原稿を追加する

通信予約をしているファイル内に原稿を追加するには、以下の手順にしたがってください。

1

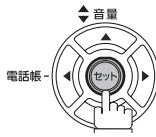
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

ファンクション

```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

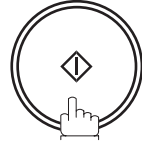
3

ファイルナンバーを入力、または ▼ ▲ ボタンを使って、追加したいファイルを選択します。

例：「001」を入力します。

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

4

スタート

ファイル内へ読み取りを開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.001
      ﾏｲｽｳ=004  10%
```

お知らせ

1. 送信中あるいは再ダイヤル待機中のファイルに原稿を追加することはできません。

未達宛先再通信の指定

話し中や、相手先の応答がなかったために、未通信となった場合、蓄積された原稿は最後に再ダイヤルした後にメモリーから消去されます。

通信が実行できなかった場合でも原稿を保存する必要があるときは、システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更してください。(☛138 ページ)

送信できなかったファイルを再通信する際は、ファイルナンバーを確認するため、まず通信予約レポートを印刷した後（☛86 ページ)、以下の手順にしたがってください。

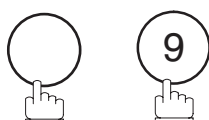
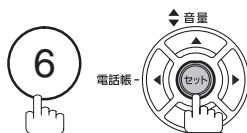
1

ファンクション

ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=▮▮▮

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ ボタンを使って、再送信したいファイルを選択する

例：「001」を入力します

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ﾌｧｲﾙ NO.=001

4

スタート

ダイヤルし、ファイルの再送信を開始します。

＊ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ＊ NO.001
<01>（宛先名）

＊ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ＊ NO.001
（宛先名）

お知らせ

1. ファイルに入力された電話番号を確認あるいは変更する際は、86 ページから 90 ページを参照してください。
2. システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に設定した場合、送信されなかった全ファイルはメモリーに保存されます。メモリーオーバーを避けるために、メモリーの内容をこまめにチェックしてください。

アクセスコード

概要

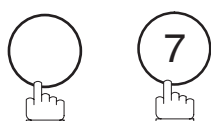
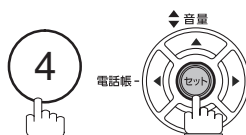
アクセスコードを登録することにより、第 3 者の操作を防止することができます。

機能設定や送信などを行なう際は、アクセスコード（4 桁）の入力が必要となりますが、自動受信などはできます。

アクセスコードの登録

1

トウロク モート゛　　　(1–4)
ハ゛ンコ゛ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

システム トウロク　　(1–181)
NO.=▮

3

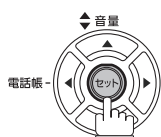
38 アクセス コート゛
▮▮▮▮

4

4 桁のアクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。

38 アクセス コート゛
1234

5

38 アクセス コート゛
1: スヘ゛テ　　　1234

6

機能制限を選択する

全機能を選択する場合は、①を、パラメータの設定を制限する場合は②を押します。

例：「2」を選択します。

38 アクセス コート゛
2: ハ゜ラメータ　　1234

7

お知らせ

1. アクセスコードを消去する場合は、アクセスコードを入力して セット を押し、手順 3 までの操作を行った後、クリアー セット ストップ を押してください。

応用編

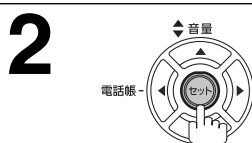
アクセスコードを使って操作する（全ての機能の使用制限を設定しているとき）

1 アクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。

```
yyyy-mm-dd 15:00
       ｺｰﾄﾞ =▮
```

```
yyyy-mm-dd 15:00
       ｺｰﾄﾞ =****
```

2

```
yyyy-mm-dd 15:00
             00%
```

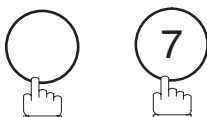
通常通りの操作をすることが可能となります。

アクセスコードを使って操作する（パラメータの使用制限を設定しているとき）

パラメータ（システム登録、自局登録およびシステム登録リストプリント）にアクセスコードが設定されている場合です。

1 **ファンクション**

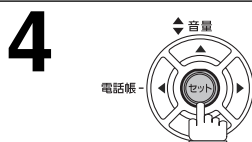
```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ       (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                ████
```

3 4 桁のアクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。

```
ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                ****
```

4

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ     (1-181)
        NO.=▮
```

通常通りの操作をすることが可能となります。

メモリー受信

概要

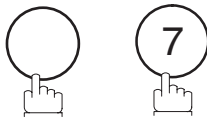
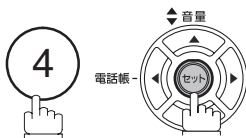
この機能は、受信したすべての原稿をメモリーに蓄積して保存するもので、メモリー受信した原稿を印刷するには正しいパスワードの入力が必要です。休日や夜間に受信した原稿を、あとでまとめてプリントすることができます。

メモリー受信のパスワードを設定する

1

ファンクション

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ　　　(1–4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ　　(1–181)
NO.=▮

3

37 ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ
▮▮▮▮

4

４桁のメモリー受信パスワードを入力する

例：「1234」を入力。

37 ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ
1234

5

ストップ

お知らせ

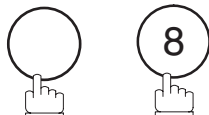
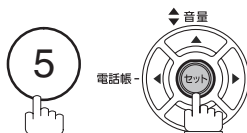
1. パスワードを設定するときは、メモリー受信の設定（F8-5）を「オフ」にしておいてください。「オン」に設定してあると、手順３の画面が表示されません。（☛98 ページ）

メモリー受信の設定

1

ファンクション

```
セレクト モード          (1-9)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
メモリー ジュシン = オフ
1:オフ 2:オン 3:プリント
```

3

```
メモリー ジュシン = オン
1:オフ 2:オン 3:プリント
```

4

```
yyyy-mm-dd 15:00
  < メモリー ジュシン >
```

お知らせ

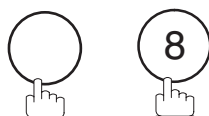
1. メモリーがいっぱいになると、受信を中止し、通信が終了します。それ以前にメモリーに蓄積された原稿は、プリントできます。メモリーがいっぱいの場合は受信できません。

メモリー受信内容を印刷する

メモリー受信をしたときは、次のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ ｻﾚﾃｲﾏｽ
 < ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ >
```

メモリー受信した原稿をプリントします。

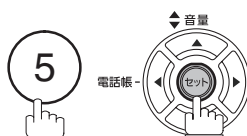
1 ファンクション

```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ        (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

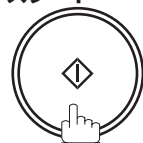
```
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ=ﾌﾟﾘﾝﾄ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

4

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
               ■■■■■
```

5 パスワードを入力する（☛ お知らせ 1）

例：「1234」を入力します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
                1234
```

6 スタート

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

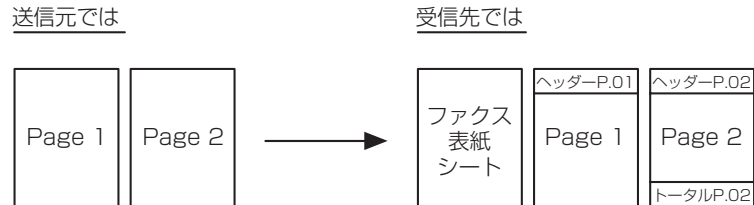
原稿が印刷されます。

お知らせ

1. パスワードが設定されていない場合は、パスワードを入力する必要はありません。
2. メモリー受信機能が設定されているときは、パスワードを変更することはできません。パスワードを変更したい場合は、まずメモリー受信の設定（F8-5）を「オフ」にしてから、システム登録の「037 メモリー受信」でパスワードを変更してください。

カバーシート

概要

宛先の名前、送信元の名前、ページ数が記載されたカバーシートが送信原稿に自動的に添付されます。

カバーシートを使用する

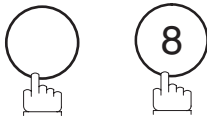
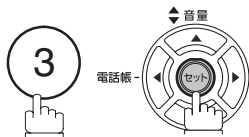
カバーシートを原稿に添付するには、以下の手順にしたがってください。

1 送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ 00%

2 ファンクション 8

セレクト モード (1-9)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

3 3 電話帳 セット 音量

カバー シート＝オフ
1: オフ 2: オン

4 "オフ"の場合は 1 を押す
（この場合カバーシートは添付されません）

カバー シート＝オフ
1: オフ 2: オン

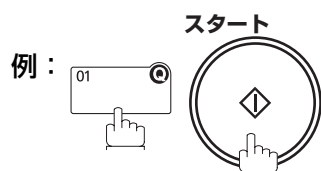
または

"オン"の場合は 2 を押す
（この場合カバーシートは添付されます）

カバー シート＝オン
1: オフ 2: オン

5 電話帳 セット 音量

アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ 00%

6 原稿を送信したい宛先の番号をダイヤルする

例：
お知らせ

1. カバーシートのデフォルト設定を変更する場合はシステム登録の「056 カバーシート」の設定を変更してください（☛139 ページ）。
2. この機能はメモリー通信またはダイレクト通信モードのときに利用できます。
3. カバーシートは通信記録のページ数にはカウントされません。

カバーシート

カバーシートの例

内容の説明

(1) 送信開始時刻

(2) ワンタッチボタン／短縮ダイヤル登録名または電話番号

(3) 送信元のロゴ（最大 25 字）と ID ナンバー（最大 20 桁）

(4) 表紙以下のページ数。なお、この情報はダイレクト通信モードのときは、表示されません。

メモリー転送

メモリー転送の設定

一般電話回線のファクスからの受信原稿と、LAN 経由で受信したメールが転送できます。

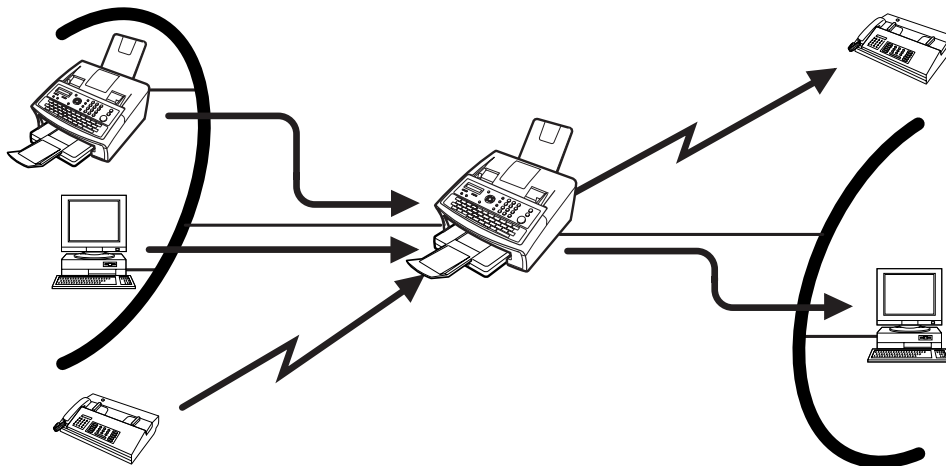
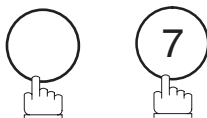
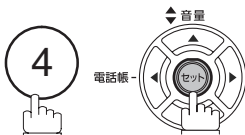
また宛先としては、メールアドレス（☛104 ページのお知らせ 5）か電話番号のどちらかを登録できます。

本機能は、夜間や休日に別の場所（自宅等）でファクスを受信したい場合に便利です。

1

7

```
トウロク モート゛        (1-4)
ハ゛ンコ゛ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
システム トウロク    (1-181)
         NO.=▮
```

3

```
54 メモリー テンソウ
 1：ナシ
```

4

```
54 メモリー テンソウ
 2：アリ
```

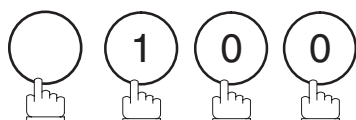
5

```
54 メモリー テンソウ
アテサキ ヲ イレテクタ゛サイ
```

＜次ページへつづく＞

6 ワンタッチまたは短縮ダイヤルで転送先を入力する

例：01 を押します。

短縮

```
&lt;01&gt;（ 宛先名 ）
5551234
```

または

```
[100]（ 宛先名 ）
xyz@panasonic.com
```

7

ストップ

お知らせ

1. メモリー転送機能が設定されると、転送先として設定したワンタッチまたは短縮ダイヤルは変更できません。番号を変更したい場合は、手順４で「ナシ」に切り替えてください。
2. 受信した原稿のメモリー転送が話し中などで正常に終了しないとき、システム登録の「031 未通信ファイル保存」が「アリ」に設定されていても、受信原稿はプリントアウトされ、メモリから削除されます。
   メモリー転送が正常に行なわれないとき、受信原稿をメモリーに蓄積したい場合は、本機を「メモリー受信」に設定してください。(☛98 ページ)
3. メモリー使用量が約 95%以上のときは、受信できません。
4. インターネットファクス機を転送先にする場合は、インターネットファクスオプションの装着が必要です。
5. インターネットファクスやメール等の LAN 機能を使用するためには、インターネットファクスオプションの装着が必要です。

セレクト受信機能

概要

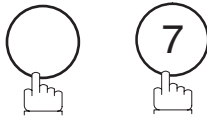
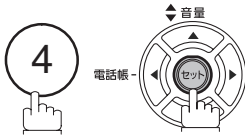
本機はセレクト受信機能を備えており、不必要なファクスの受信を防ぐことができます。
（例：不要なファクス、ダイレクトメール等）

データ受信前に、相手側から受信される ID 番号の下 4 桁が、各ワンタッチまたは短縮ダイヤルに登録されている電話番号の下 4 桁と照合されます。両者が一致すると、本機はファクスの受信を開始します。一致しなければ、本機は受信を拒否し、エラーコード 0406 がレポートに記録されます。

セレクト受信の設定

1

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
           NO.=▮
```

3

```
46 ｾﾚｸﾄ ｼﾞｭｼﾝ
 1:ﾅｼ
```

4

```
46 ｾﾚｸﾄ ｼﾞｭｼﾝ
 2:ｱﾘ
```

5

お知らせ

1. セレクト受信機能が設定される場合、本機のワンタッチボタン、短縮ボタンに登録されている宛先からのみ受信可能です。
2. 本機が送信したときに相手機がセレクト受信にしている場合がありますので、本機の ID 番号を登録しておいてください。ID 番号の登録は 23 ページを参照してください。
3. セレクト受信は、電話回線を使って利用できます。

パスワード通信

パスワード通信について

通信するときに、送信側と受信側に登録されているパスワードを照合します。パスワードを照合し、一致する相手とだけ通信するので、機密性の高い通信が確保できます。また、送信と受信を個別に制限できるので、相手に合わせた設定ができます。

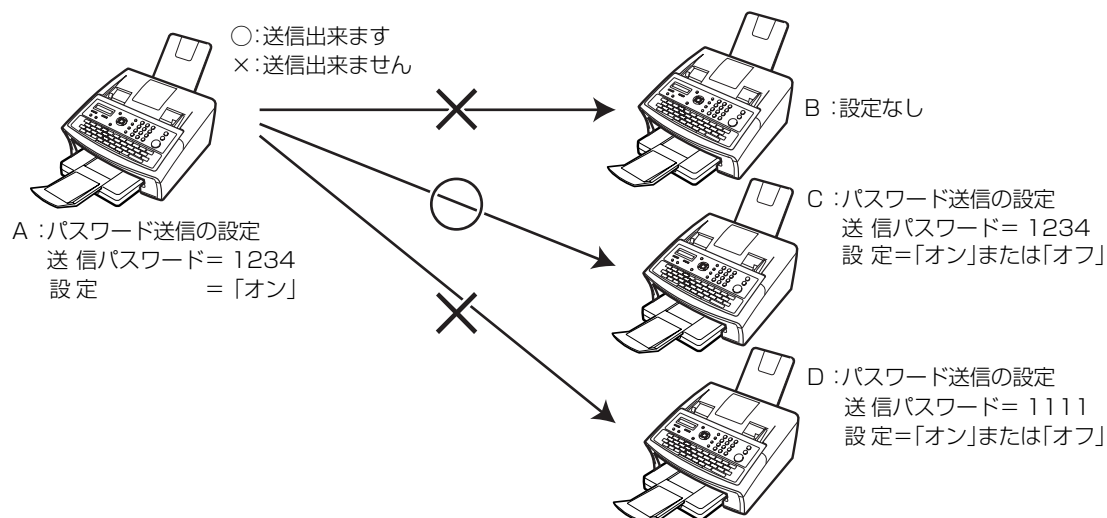
- あらかじめ「パスワード送信」の設定（☛108 ページ）と「パスワード受信」の設定（☛109 ページ）が必要です。

システム登録について

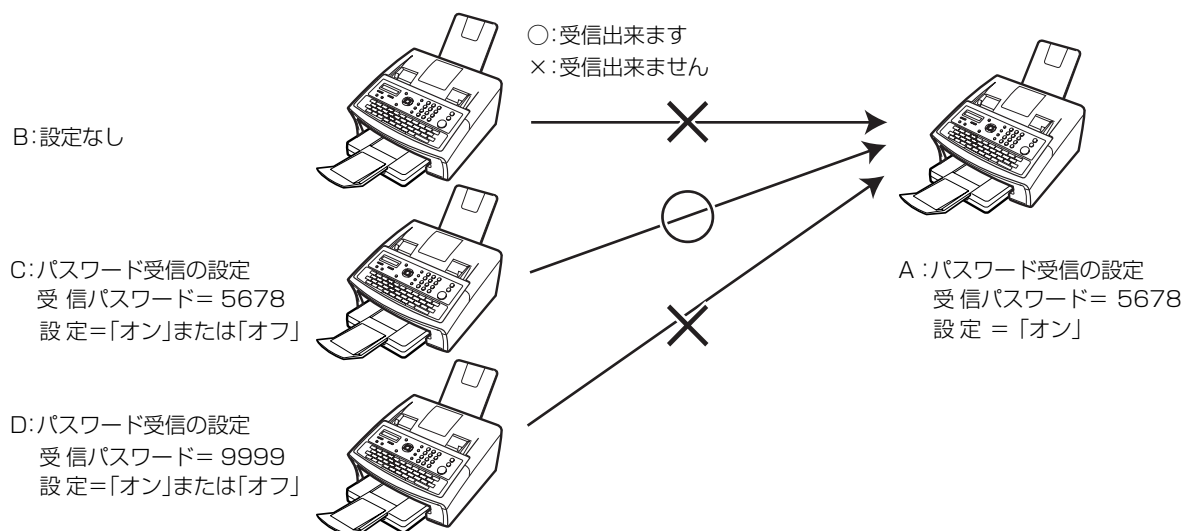
	設定状況	
パスワード送信	パスワードの登録なし	• パスワード通信しません。
	送信用パスワードを登録し設定を「オフ」にする	• 通常のダイヤル操作ではパスワード送信しません。 • パスワード操作するときは、送信前の操作が必要です。（☛108 ページ） • 相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
	送信用パスワードを登録し設定を「オン」にする	• 通常のダイヤル操作でパスワード送信が指定できます。 • パスワード送信をしないときは、送信前の操作が必要です。（☛108 ページ） • 相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
パスワード受信	受信パスワードの登録なし	• パスワード通信しません。
	受信用パスワードを登録し設定を「オフ」にする	• 相手がパスワード受信を設定しているときは、受信側と送信側に登録されている受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。 • そのほかは、通常の通信と同じです。
	受信用パスワードを登録し設定を「オン」にする	• 常にパスワード受信の状態になっています。 • パスワード受信を設定している相手と受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。

お知らせ

1. パスワード通信は、電話回線を使って利用できます。

パスワード送信

パスワード送信は、送信側の設定が「オン」の場合、受信側に設定されている「送信パスワード」を送信側でチェックし、一致した場合に送信します。

- 送信側のパスワード送信の設定が「オフ」の場合は、通常の送信と変わりありません。
- パスワード送信の設定「オン」または「オフ」は、送信時のみに機能します。

パスワード受信

パスワード受信は、受信側の設定が「オン」の場合、送信側に設定されている「受信パスワード」を受信側でチェックし、一致した場合に受信します。

- 受信側のパスワード受信の設定が「オフ」の場合は、通常の受信と変わりありません。
- パスワード受信の設定「オン」または「オフ」は、受信時のみに機能します。

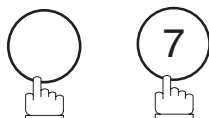
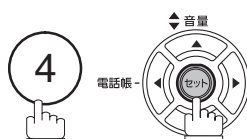
パスワード送信の設定

送信パスワードとパラメーターの設定

1

ファンクション

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ       (1-181)
         NO.=▮
```

3

```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
                ▮▮▮▮
```

4

4 桁の送信パスワードを入力し セット する

例：「1234」を入力し セット を押します。

```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
 1:ｵﾌ             1234
```

5

「オフ」にするには （パスワードはチェックされない）

```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
 1:ｵﾌ             1234
```

または

または

「オン」にするには （パスワードはチェックされる）

2

```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
 2:ｵﾝ             1234
```

6

ストップ

お知らせ

1. 送信ごとにファンクション 8-4（パスワード送信）を使うと、設定を一時的に変更できます。詳細については、110 ページを参照願います。
2. 送信パスワード変更には、手順４で クリアー を押して、新しいパスワードを入力してください。

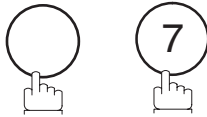
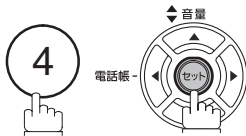
パスワード受信の設定

受信パスワードとパラメーターの設定

1

ファンクション

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ         (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
        NO.=▮
```

3

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
                ▮▮▮▮
```

4

4 桁の受信パスワードを入力し セット する

例：「1234」を入力し セット を押します。

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
 1:ｵﾌ           1234
```

5

「オフ」にするには　(パスワードはチェックされない)

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
 1:ｵﾌ           1234
```

または

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
 1:ｵﾝ           1234
```

または

「オン」にするには　(パスワードはチェックされる)

6

ストップ

お知らせ

1. 一度パラメーターを設定すると、受信ごとに「オフ」または「オン」のパラメーターを選択できません。切り替えるには、設定を変更してください。

2. 受信パスワードを変更するには、手順 4 で クリアー を押し、新しいパスワードを入力してください。

応用編

パスワード送信設定の一時変更

パスワード送信の一時解除・一時設定を行いたい場合、次の手順で１回の通信に限り、設定を変更できます。

1

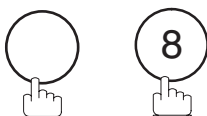
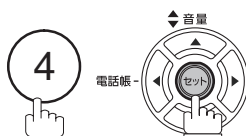
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ   00%
```

2

ファンクション

```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ        (1–9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾝ 2: ｵﾌ
```

4

「オフ」にするには　（パスワードはチェックされない）

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ = ｵﾌ
1: ｵﾝ 2: ｵﾌ
```

または

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾝ 2: ｵﾌ
```

または

「オン」にするには　（パスワードはチェックされる）

5

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ   00%
```

6

以下の方法を任意に組み合わせて、宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  （各宛先選択後 セット を押します）
- 直接ダイヤル
  （各宛先入力後 セット を押します）

例：

```
<01>( 宛先名 )
5551234
```

7 スタート

1回の通信に限りパスワード送信の設定を「ナシ」または「アリ」にして通信を開始します。

パスワード受信の使用

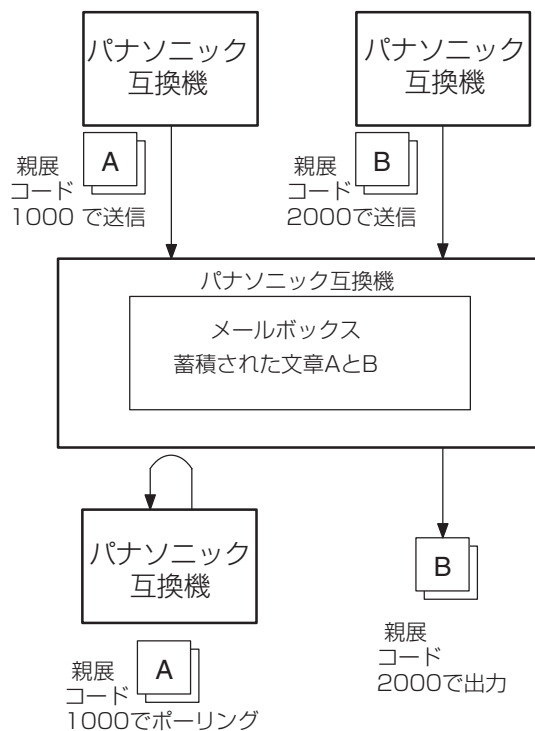
109ページの手順にしたがって一度設定すると、追加操作の必要はありません。「**オフ**」または「**オン**」のパラメーターは、受信ごとに選択できません。切り替えるには、設定を変更してください。

親展送信

概要

ある特定の相手に原稿を送信したいとき、中継局のメモリーへパスワードを付けて原稿を送信することができます。受信側はパスワードを入力しない限り原稿を取出すことができないので、情報が第 3 者へ漏れる心配がありません。

親展通信（メールボックス）

親展メールボックス機能は、4 桁の親展コードを使って他の互換モデルと通信するメールボックスとして使用できます。中継局には親展コードが付加された親展文書をメモリーに蓄積できます。親展文書は指定された親展コードを入力しないと取出せません。

お知らせ

1. 本機が同じ親展コードを持つ 2 つの親展文書を受信する場合、両方の親展文書は同じメールボックスに保存されます。
2. メールボックスファイルは 10 個まで保存可能です。10 個の異なる親展コードを使用し親展文書を受信できます。
3. メモリー容量が足りない場合親展通信できません。

親展送信

中継局のメールボックスに親展文書を送ります。

1

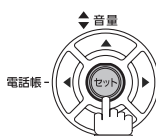
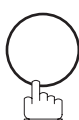
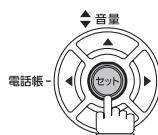
送る面を裏向きにセットする

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ　00%

2

ファンクション

ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ　(1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

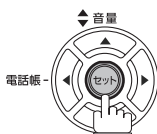
3

ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =■■■■

4

4 桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =2233

5

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

6

以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 直接ダイヤル

（各宛先入力後 セット を押します）

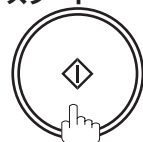
- 電話帳機能

（各宛先選択後 セット を押します）

例：

<01>（ 宛先名 ）
5551234

7

スタート

中継局へダイヤルし、親展送信を開始します。

必要に応じて、送信相手に親展コードを知らせてください。

親展ポーリング受信

中継局のメールボックスに親展文書を受信した知らせが入ったら、

以下の手順で親展文書を取出すことができます。

1

ファンクション

ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ　　　(1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

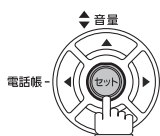
2

ｼﾝﾃﾝ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=■■■■

3

４桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

ｼﾝﾃﾝ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233

4

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

5

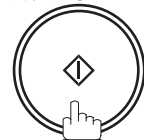
以下のいずれかの方法で宛先を指定する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 直接ダイヤル
  （各宛先入力後 セット を押します）
- 電話帳機能
  （各宛先選択後 セット を押します）

<01>（ 宛先名 ）
5551234

例：

6

スタート

中継局へダイヤルし、親展通信を開始します。

お知らせ

1. 親展文書を受信された後、文書はメールボックスから自動的に消去されます。

本機のメールボックスで親展文書を受信する

特別な設定をすることなく、通常のファクス通信と同じように親展文書を受信することができます。親展文書を受信したときは、ディスプレイに次のように表示され、親展文書受付レポートがプリントされます。

ｼﾝﾃﾝ ﾌｧｲﾙ ｶﾞ ｱﾘﾏｽ

親展文書受付レポートサンプル

******************** – ｼﾝﾃﾝ ｳｹﾂｹ ﾚﾎﾟｰﾄ – ************************** yyyy-mm-dd ********** 15:00 ***********

** ｼﾝﾃﾝ ｼﾞｭｼﾝ ｦ ｳｹﾂｹﾏｼﾀ **

(1) ﾌｧｲﾙ NO.	(2) ｱｲﾃｻｷ ID	(3) ﾏｲｽｳ	(4) ｳｹﾂｹ ｼﾞｺｸ
040	PANAFAX	001	03-15 15:00

-PANASONIC -

************************************** -HEAD OFFICE - ************* - 201 555 1212- ************

レポート内容説明

(1) ファイル番号 : 001 ～ 999
(2) 中継局の ID : 文字 ID または数字 ID
(3) 受信したページ数
(4) 受信した日付と時間

お知らせ

1. 同じ親展コードをもつ 2 つの親展文書を同時に受信した場合、2 つの親展文書は同じメールボックス内に保存されます。
2. メモリーには最大 10 個まで保存可能です。10 個の異なる親展コードを使用し親展文書を受信できます。
3. メモリーがいっぱいになると、親展通信できません。

本機のメールボックスで親展文書を保存する

親展文書は受信された後、メールボックスから自動的に消去されます。受信した後もファイルを保存しておきたい場合は、以下の手順でメールボックスに文書を保存することができます。

文書はメモリー内に保存されます。

宛先に親展受信のための親展コードをお知らせください。

親展プリント

本機のメールボックスに親展文書が送信されたときは、以下の手順で親展文書をプリントします。

1

ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ　　　(1–5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ｼﾝﾃﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =████

3 プリントしたい文書の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

ｼﾝﾃﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =2233

4

* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾍﾟｰｼﾞ =001/001

親展文書をプリントします。

お知らせ

1. 親展文書はプリントされた後、メールボックスから自動的に消去されます。システム登録の「042 親展ファイル保存」を「アリ」に設定されている場合も同様です。

親展文書の消去

メモリーがいっぱいになったとき、または親展文書を消去したいときは、以下の手順で 1 つまたは複数の親展文書を消去することができます。

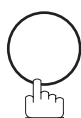
消去方法は、親展コードによって 1 つずつファイルを消去する方法と、メモリー内のファイルを全て一括消去する方法の 2 通りです。

パスワードを使って消去する場合

1

ファンクション

シンテン ツウシン (1-5)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

シンテン ショウキョ
シンテン バンゴウ=■■■■

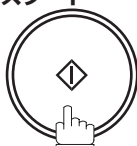
3

4 桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

シンテン ショウキョ
シンテン バンゴウ=2233

4

スタート

＊ ショウキョ シテイマス ＊
シンテン バンゴウ=2233

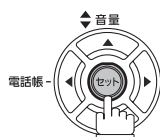
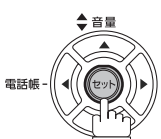
メモリー内のファイルを一括消去する場合

1 ファンクション

ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ　　　(1–5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

ｼﾝﾃﾝ ｼｮｳｷｮ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ =■■■■

3

ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ ｦ ｼｮｳｷｮ
ｼﾏｽｶ ? 1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ

4

* ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ *
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ

応用編

IP 電話サービスを使って送信する

ご利用上の留意点

●プロバイダが提供する IP 電話サービスのご契約が必要です。

ご利用になるプロバイダが、「IP 電話対応機器」に対応した IP 電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。

●IP 電話サービスのサービス内容は各プロバイダごとに異なります。

- IP 電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なりますので、各プロバイダにご確認ください。
- IP 電話サービスから発信できる番号も各プロバイダにより異なります。
- 「IP 電話対応機器」をご利用のお客さまどうしでも、ご契約された IP 電話サービスが異なる場合は、IP 電話サービスとして通話することができない場合がありますのでご注意ください。

●一般加入電話回線を接続しない場合は、110 番などについてはつながりません。

- 110 番や 118 番、119 番の電話番号へは、自動的に加入電話回線から発信されるため、加入電話回線が正しく接続されていないとつながりませんのでご注意ください。
- ご契約されたIP電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合は、加入電話回線から発信してください。

●IP 電話サービスから発信する際は、以下の表をよくご確認ください。

発信先の電話番号		発信に利用するサービス
一般の電話番号	例：03-1234-5678 06-1234-5678	IP 電話サービスから発信できます。
050 番号（IP 電話）	例：050-XXXX-XXXX *	IP 電話サービスから発信できます。
0X0（050 以外）	例：携帯電話（090）、PHS（070）、国際電話（010）など	ご契約された IP 電話サービスのサービス内容によります。詳しくは各社の IP 電話サービスのサービス内容をご確認ください。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象の場合】 IP 電話サービスから発信します。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象外の場合】 一般加入電話回線から発信してください。
00XY	例：0036 などで始まるダイヤル	
0XY0 （市外局番以外）	例：0120、0570 などで始まるダイヤル	
その他のダイヤル（110、118、119 以外）	–	
110、118、119	110、118、119 の緊急通話	自動的に一般加入電話回線から発信します。

*：「184 ＋電話番号」および「186 ＋電話番号」を含みます。

お知らせ

1. IP電話サービスについては、お使いの IP電話対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

● IP 電話サービスから発信できない／発信したくないときは

- 一般加入電話回線から発信してください。
- ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP 電話サービスがご利用いただけない場合は、一般加入電話回線から発信してください。

● 発信者番号通知についてご確認ください。

- IP 電話サービスどうしの通話の場合は、IP 電話サービスの電話番号が通知されます。（「184 ＋電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。）
- 加入電話など、IP 電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

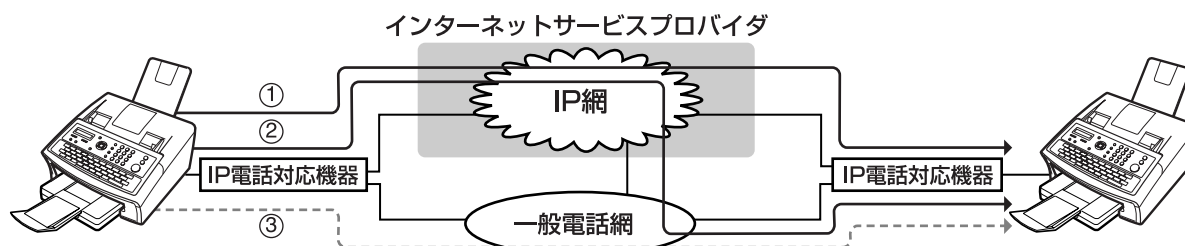
お知らせ

1. 下記のような場合には、IP 電話の通話品質が劣化したり、ファクス通信が困難な場合があります。
   - ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
   - インターネットで十分な帯域が確保できない場合
   - IP 電話対応機器に接続されているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

IP 電話サービスを利用して送信する

インターネット網の不調などで IP 電話回線が通信不能になった場合は、リルート機能とプレフィクス機能により自動的に一般加入電話回線に切替えて通信できるように設定することができます。

■ IP 電話サービスを利用して送信する

「IP 電話対応機器」を設置しているときは、特別な操作をしなくてもファクスを送ったり、電話をかけたりすることができます。

① (IP 電話→ IP 電話)...................................... 相手が IP 電話番号を持っている場合
② (IP 電話→ 一般電話)................................... 相手が IP 電話番号を持っていない場合
③ (一般電話→ 一般電話)................................ 一般加入電話回線を指定する場合

<送信の流れ>

1. IP 電話から IP 電話への送信の送信方法①でファクスを送ります。(ワンタッチ／短縮ダイヤルに固定電話番号のみ登録されている場合は、ご利用できません)
2. 通信エラーにより送信方法①で送ることができなかった場合は、自動的に送信方法②でファクスを送り直します。
3. 通信エラーにより送信方法②でも送ることができなかった場合は、自動的に送信方法③でファクスを送り直します。(ワンタッチ／短縮ダイヤルに ＩＰ 電話番号のみ登録されている場合は、ご利用できません)

[リルート機能]

システム登録の「123 リルート機能」が「アリ」に設定されてるとき、①～③のいずれかの送信方法で自動的に通信回線を切替えてダイヤルをし直し、ファクスを送信します。ファクス送信は①の方法で送信を開始し、送信できなかったときは、②、③と順次送信方法を切替えてファクスを送信します。

[プレフィクス機能]

システム登録の「124 プレフィクス機能」で、プレフィクス番号を入力し、設定を「アリ」にしているときご利用になれます。0～9、#、＊、ポーズ記号を組み合わせて、最大 20 桁まで登録できます。(「アリ」のときは、信号の流れは③となります)

(付与できる番号例)
0000 ：「IP 電話対応機器」を使用しているとき、続けてダイヤルすると相手先電話番号へ一般加入電話回線から発信します。

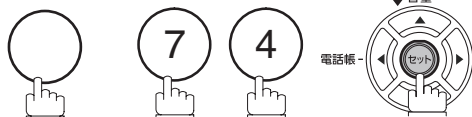
(「0000」は例です。一般加入電話回線への切替番号は、各ご契約電話会社へご確認ください)

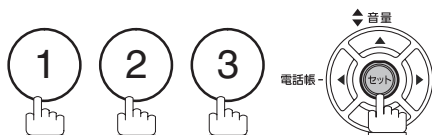
お知らせ

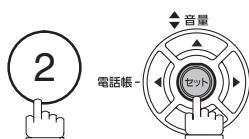
1. ファクスがどの回線を使って送信されたかを通信管理レポート (☛142 ページ) で確認できます。

リルート機能の設定／プレフィクス番号の登録

1

ファンクション

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ     (1-181)
         NO.=▮
```

2

```
123 ﾘﾙｰﾄ ｷﾉｳ
 1:ﾅｼ
```

3

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
▮
```

- リルート機能が設定されます。

4

プレフィクス番号を入力（最大 20 桁）し セット する

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
 1:ﾅｼ
```

例：「0000」を入力し セット を押します。

入力を間違えたときは、クリアー を押して訂正します。

5

（プレフィクス機能を使わない）

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
 1:ﾅｼ
```

または

（プレフィクス機能を使う）

または

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
 2:ｱﾘ
```

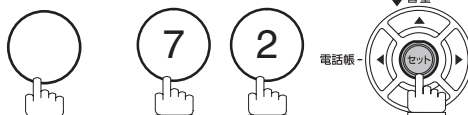
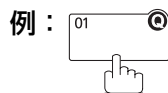
6

1.「124 プレフィクス機能」を「アリ」にすると、「123 リルート機能」の設定にかかわらず、常にプレフィクス番号をつけて発呼します。

IP 電話サービスを使って送信する

電話番号／ IP 電話番号の登録

システム登録の「123 リルート機能」を「アリ」に設定すると、1 つのワンタッチまたは短縮ダイヤルに一般電話番号と IP 電話番号をそれぞれ登録できます。

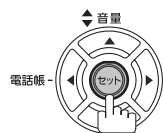
1

2 ワンタッチに登録するときは、①を選択する
短縮番号に登録するときは、②を選択する

例： ①を選択する

3 **例：**

• 入力モード変更には、 を押します。*
（＊インターネットファクスユニット装着時）

4 電話番号を入力する（最大 36 桁）

例：396111123

5

6 IP 電話番号を入力する（最大 36 桁）

例：0501234567890

7

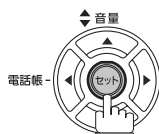
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ < ｶﾅ
0501234567890

8

文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「エイギョウブ」を入力します（☛133 ページ）。

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ ▮ < ｶﾅ
0501234567890

9

ﾜﾝﾀｯﾁ < >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

続けてワンタッチの登録ができます。
手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

応用編

ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録

概要

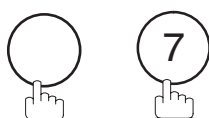
ワンタッチ／短縮ダイヤルに、電話番号またはメールアドレスを登録することで、簡単な操作でダイヤルすることができます。これらの自動ダイヤルをお使いになるには、最初に電話番号またはメールアドレスをワンタッチ／短縮ダイヤルに登録する必要があります。

ワンタッチボタンを登録する

1

ファンクション

ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ　　　　(1–4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

1: ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2: ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ

3

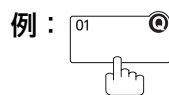
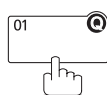
ﾜﾝﾀｯﾁ <　>
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

4

例： 01

<01>
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

または

<01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ

入力モード変更には、 **Eメール** を押します。*

（＊インターネットファクスユニット装着時）

5

メールアドレスを文字ボタンを使って入力する

例：「abc@panasonic.com」を入力します。（最大 60 桁）

または

電話番号を入力する（ポーズやスペースを含み、最大 36 桁）

例：「9-555 1234」を入力します。

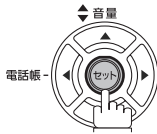
<01>
abc@panasonic.com▮

または

<01>
9–555 1234▮

6

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
9-555 1234
```

7

文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「エイギョウブ」を入力する。（☛133 ページ）

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ▮   <ｶﾅ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ▮   <ｶﾅ
9-555 1234
```

8

```
ﾜﾝﾀｯﾁ <  >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けてワンタッチボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには［ストップ］を押します。

登録編

お知らせ

1. 外線につなぐために、特別なアクセス番号が必要な場合は、まずその番号を入力し、［ポーズ］を押します。ポーズは、「－」が表示されます。
2. 回転ダイヤル式回線を使っていて、通話中にトーンダイヤルに変更したい時は、［トーン］（“Ι”で表示される）を押します。ダイヤル方法は、パルスからトーンに変わります。
   例：9 ［ポーズ］ ⊛ 5551234
3. 誤った操作をした場合は、［◀］または［▶］を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、［クリアー］を押して、新しい番号を再入力します。
4. 手順 5 で電話番号入力のとき、[フック／ F コード] を押すと "s" が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。

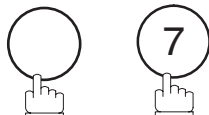
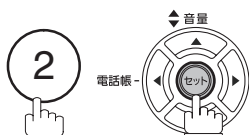
ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録

短縮ダイヤルを登録する

1

ファンクション

```
トウロク モート゛        (1-4)
ハ゛ンコ゛ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
1: ワンタッチ トウロク
2: タンシュク トウロク
```

3

```
タンシュク [▮  ]
タンシュク NO. ヲ イレテクダ゛サイ
```

4

例：「022」を選択する
（001 から 300 の、300 件までの宛先）

Eメール

入力モード変更には、 を押します。*

（*インターネットファクスユニット装着時）

```
[022]
メール アト゛レス ヲ イレテクダ゛サイ
```

または

```
[022]
テ゛ンワ ハ゛ンコ゛ウ ニュウリョク
```

5

メールアドレスを文字ボタンを使って入力する

例：「abc@panasonic.com」を入力する。（最大 60 桁）

または、

電話番号を入力する（最大 36 桁）

例：「9-555 2345」を入力します。

```
[022]
abc@panasonic.com▮
```

または

```
[022]
9-555 2345▮
```

6

```
[022] ナマエ ニュウリョク  < カナ
abc@panasonic.com
```

または

```
[022] ナマエ ニュウリョク  < カナ
9-555 2345
```

7 文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「ケイリブ」を入力する。（☛133 ページ）（☛133 ページ）

```
[022] ｹｲﾘﾌﾞ▮        ＜ｶﾅ
abc@panasonic.com
```

または

```
[022] ｹｲﾘﾌﾞ▮        ＜ｶﾅ
9-555 2345
```

8

```
ﾀﾝｼｭｸ [▮  ]
ﾀﾝｼｭｸ NO. ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには［ストップ］を押します。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号が必要な場合は、まずその番号を入力し、［ポーズ］を押します。ポーズは、「－」が表示されます。
2. 回転ダイヤル回線を使っていて、ダイヤルの途中でトーン発信に変更する場合、(＊)（“l”で表示される）を押します。ダイヤル方法は、パルスからトーンに変わります。
   例：9 ［ポーズ］ (＊) 5551234
3. 誤った操作をした場合は、［◀］または［▶］を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、［クリアー］を押して、新しい番号を再入力します。
4. 手順 5 で電話番号入力のとき、[フック／ F コード] を押すと "s" が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。

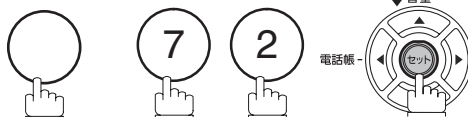
登録編

ワンタッチ／短縮ダイヤルの変更をする

ワンタッチ／短縮ダイヤルのいずれかを、変更または消去する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

ワンタッチ／短縮ダイヤルの変更をする

1

ファンクション

```
1: ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2: ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2

ワンタッチの変更をするときは、① を選択する

短縮ダイヤルを変更するときは、② を選択する

例： ①

```
ﾜﾝﾀｯﾁ < >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

変更したい宛先を入力する

例：

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 1234
```

4

クリアー

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

5

「メールアドレス入力」と「電話番号入力」のモードを変更するには、

Eメール

を押します。*

（＊インターネットファクスユニット装着時）

6 メールアドレスを入力する

例：「xyz@panasonic.com」を入力します。(最大60桁)

または

電話番号を入力する（ポーズやスペースを含み、最大 36 桁）

例：「9-555 3456」を入力します。

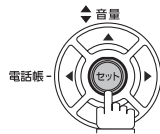
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
xyz@panasonic.com▮

または

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 3456▮

7

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
xyz@panasonic.com

または

<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 3456

8 クリアー

新しい宛先名を入力します。(☛ お知らせ 1)

例：「パナソニック」を入力します。(☛133 ページ)

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ <ｶﾅ
xyz@panasonic.com

または

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ <ｶﾅ
9-555 3456

<01> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ▮ <ｶﾅ
xyz@panasonic.com

または

<01> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ▮ <ｶﾅ
9-555 3456

9

ﾜﾝﾀｯﾁ < >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

待機状態に戻るには ストップ を押します。

登録編

お知らせ

1. 誤った操作をした場合は、◀ または ▶ を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、クリアー を押して、新しい番号を再入力します。

ワンタッチ／短縮ダイヤルの消去をする

1

ファンクション

```
1: ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2: ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2

ワンタッチを消去するときは、①を選択する

短縮番号を消去するときは、②を選択する

例： ①を選択する。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ < >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

消去したい宛先を入力する

例： 01

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
abc@panasonic.com
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
9-555 1234
```

4

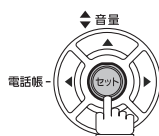
クリアー

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

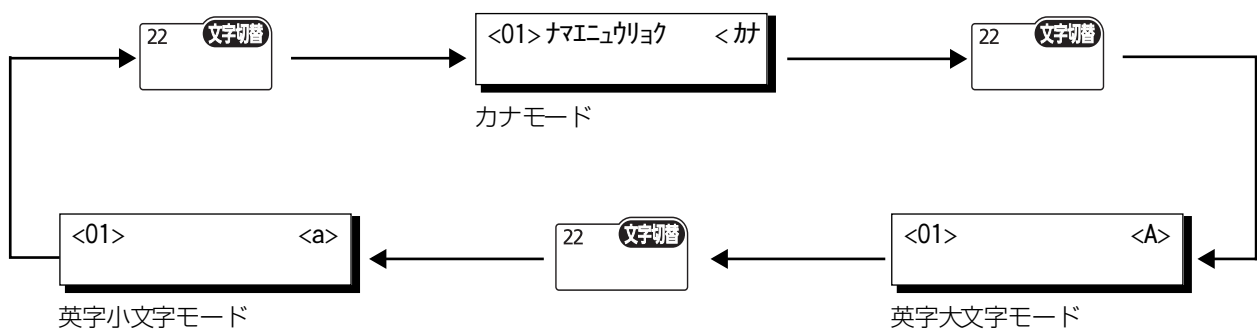
5

```
ﾜﾝﾀｯﾁ < >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

待機状態に戻るには ストップ を押します。

文字入力のしかた

発信元情報や、ワンタッチボタン、短縮ダイヤルなどを登録するときには、文字を入力することができます。本機ではテンキーボタンとワンタッチボタン（文字ボタン）を使って、カタカナ、英字、数字の入力ができます。

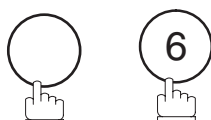
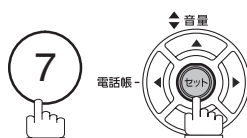
入力モードの切替

文字入力時は「ワンタッチボタン 22」が文字切替ボタンとなり、以下のように押すごとに入力モードが切り替わります。待機状態では「カナモード」に設定されています。「カナモード」ではワンタッチボタンを使って、ローマ字カタカナ変換機能を使ってカタカナ入力できます。

お知らせ

1. 待機状態では、「カナモード」に設定されています。

宛先シートの印刷

ワンタッチボタンの登録をした後で、宛先名の 12 文字を、宛先シートに印刷できます。

点線にそって印刷された用紙を切り、宛先シートカバーの下にセットします。

宛先シートを印刷します。

**************** - ｱﾃｻｷ ｼｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ - ********************** yyyy-mm-dd*********** 15:00 **

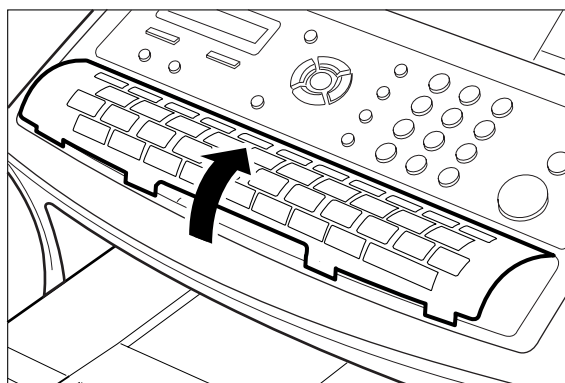
201 555 1234　　　✉ fax@mgcs.co.jp

ｱﾒﾘｶ　ｱﾌﾘｶ　........

ｱｼﾞｱ　ｶﾅﾀﾞ　........

ﾌﾞﾗｼﾞﾙ　ｺｸﾅｲ　........

- PANASONIC -

************************************ - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ - - ****** - 201 555 1212 - ***

お知らせ　1. メールアドレスをワンタッチに登録している場合、宛先名の上に「E メール」と印刷されます。

システム登録

概要

本機には様々なシステム登録の設定が可能となっています。

これらのシステム登録は、前もって調整してあり、変更する必要はありません。

また、文字サイズ、濃度などの設定は適時変更可能です。通信やコピー前に変更できます。

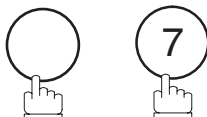
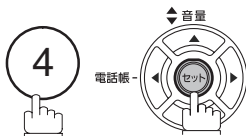
動作が終了すると、設定はホーム・ポジションに戻ります。

その他の設定は、以下の方法でのみ変更可能です。

システム登録の設定

1 ファンクション

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

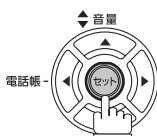
2

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
         NO.=█
```

3 システム登録表を参照して選択する

例：「001」を選択する。

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
         NO.=001
```

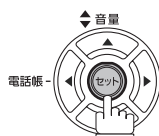
4

```
01 ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ
 1: ﾌﾂｳ
```

5 新しい設定数値を入力する

例：「２」を選択する。

```
01 ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ
 2: ｳｽｸ
```


＜次ページへつづく＞

6

```
02 ﾓｼﾞｻﾞｲｽﾞ
 2: ﾁｲｻｲ
```

続けてシステム登録の設定ができます。▼または▲で設定する項目を選択し、手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

お知らせ

1. 手順 3 または 4 でスクロールするには▼または▲を押します。

2. システム登録リストをプリントするには 152 ページを参照ください。

システム登録表

設定欄の「*」がついている項目は、お買い求め頂いたときに設定されている初期設定です。

設定	設定項目	設定値	設定	説明
001	濃度切替	1	普通 *	通常、使用する原稿の濃さに合わせます。
		2	薄く	
		3	濃く	
002	文字サイズ	1	普通	通常、使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
		2	小さい *	
		3	細密	
		4	ハーフトーン（小さい）	
		5	ハーフトーン（細密）	
004	済スタンプ	1	オフ *	ダイレクト送信時に済スタンプの設定状態を選びます。
		2	オン	
005	メモリー優先（送信 / コピー）	1	オフ	「オフ」にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
		2	オン *	
006	ダイヤル切替	1	10PPS	ダイヤル種別を選びます。
		2	20PPS	
		3	プッシュ (PB)*	
007	発信元印字	1	画面内 *	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。「ナシ」にすれば、発信元をプリントしません。
		2	画面外	
		3	ナシ	
008	発信元印字フォーマット	1	発信元 ID	相手用紙にプリントする発信元のフォーマットを設定します。
		2	FROM TO*	
009	受信時刻プリント	1	ナシ *	「アリ」にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
		2	アリ	
010	ブザー音量	1	オフ	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
		2	小さい *	
		3	大きい	
012	通信結果レポート	1	オフ	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
		2	全て	
		3	未通信 *	
013	通信管理レポート	1	ナシ	通信管理レポートのプリント方法を設定します。「ナシ」にしたときは、パネル操作でレポートをプリントします。
		2	アリ *	
017	受信モード	1	手動	ファクスの受信のしかたを選びます。
		2	FAX 専用 *	
		3	FAX/TEL 切替	
		4	留守録接続	

<次ページへつづく>

システム登録

設定	設定項目	設定値	設定	説明
018	F/T ベル回数	1	3 回	受信モードを“FAX/TEL 切替”にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音を鳴らす回数を設定します。
		2	6 回	
		3	9 回 *	
		4	12 回	
019	応答メッセージ時間	1	1 秒	外付けの留守番電話機の応答メッセージの長さに合わせて設定します。 初期設定は 20 秒に設定されています。
		～	～	
		60	60 秒	
020	無音検知	1	ナシ *	「アリ」にすると、用件を録音している間に約 6 秒の無音があると、ファクスの受信に切り替わります。
		2	アリ	
021	着信ベル回数	0	0 回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。 初期設定は 1 回に設定されています。
		～	～	
		9	9 回	
022	代行受信	1	ナシ	用紙が切れたり、トナーが無くなったり、紙づまりとなった場合、メモリーで代行受信をするとき「アリ」にします。
		2	アリ *	
023	用紙サイズ	1	A4*	用紙カセットにセットする用紙サイズを設定します。
		2	レター	
		3	リーガル	
024	縮小受信	1	固定	縮小受信の設定をします。 **固定**： No. 025 の設定した縮小率で受信します。 **自動**： 受信した原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	自動 *	
025	固定縮小率	70	70%	No. 024 で縮小受信を「固定」にしたときの縮小率を設定します。
		～	～	
		100	100%	
026	ポーリングパスワード		(---)	ポーリング通信をするときに使う4桁のパスワードです。
027	ポーリングファイル保存	1	ナシ *	「アリ」にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
		2	アリ	
028	メモリー済スタンプ	1	ナシ	「ナシ」にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。
		2	アリ *	
031	未通信ファイル保存	1	ナシ *	「アリ」にすると未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。
		2	アリ	
032	縮小コピー	1	手動	コピーするときの縮小設定を選択します。 **手動**：縮小率を指定します。（70 ～ 100%） **自動**：原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	自動 *	
034	節電モード	1	オフ	節電モードの設定を行ないます。「低電力モード」を選択した場合、待機状態から低電力モードに移行するまでの時間を設定できます。（1 ～ 120 分 ） 初期設定は 5 分に設定されています。
		2	低電力モード	
		3	オフモード *	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
037	メモリー受信		(----)	セレクトモードのメモリー受信（F8-5）を設定している場合、受信した原稿を印刷するときのパスワードを設定します。メモリー受信を設定すると、この設定は画面上に表示されません。(☛97 ページ)
038	アクセスコード		(----)	第 3 者の使用を制限するときに、4 桁のアクセスコードを設定します。
042	親展ファイル保存	1	ナシ *	親展文書をポーリングされた後もメールボックスに残すときに「アリ」にします。
		2	アリ	
043	パスワード送信	1	オフ *	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(☛108 ページ)
		2	オン	
044	パスワード受信	1	オフ *	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(☛109 ページ)
		2	オン	
046	セレクト受信	1	ナシ *	「アリ」にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。(☛105 ページ)
		2	アリ	
047	リモート受信	1	ナシ	「アリ」にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。
		2	アリ *	
051	遠隔診断	1	ナシ *	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
		2	アリ	
053	サブアドレス パスワード		(----)	サブアドレス通信を行なうときのパスワードを設定します。(最大 20 桁)
054	メモリー転送	1	ナシ *	「アリ」にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先をセットできます。(☛103 ページ)
		2	アリ	
056	カバーシート	1	オフ *	カバーシートの通常お使いになる設定を選択します。(☛100 ページ)
		2	オン	
065	正順プリント	1	ナシ	正順プリントを行なう場合は「アリ」にします。(☛68 ページ)
		2	アリ *	
068	ダイヤルトーン 検知	1	ナシ	お客様の加入されている電話回線の種別を検知します。
		2	アリ *	
072	音声応答	1	ナシ *	“FAX/TEL 切替”にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音だけ相手に流したいときに「ナシ」にします。
		2	アリ	
075	オプションハンド セット	1	ナシ *	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
		2	アリ	
082	クイックメモリー 送信	1	ナシ	クイックメモリー送信の設定(☛37 ページから 40 ページ)
		2	アリ *	
099	メモリーサイズ	-	-	(設定はありません。)

＜次ページへつづく＞

システム登録

設定	設定項目	設定値	設定	説明
117	複数宛先指定	1	ナシ	複数宛先の指定を設定します。 「アリ」にすると複数の宛先に送信できます。 「ナシ」にすると送信時に複数の宛先を指定できません。
		2	アリ *	
123	リルート機能	1	ナシ *	IP 電話を使っての送信機能を使うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
124	プレフィクス機能	1	ナシ *	電話番号に付与する番号を登録します。また、登録した番号を付与してダイヤルするときは「アリ」にします。付与する番号を指定したあと、設定を行います。
		2	アリ	
125	宛先確認	1	ナシ *	ファクス送信時に宛先を確認する画面を表示します。
		2	アリ	
133	SADF デフォルト	1	オフ *	原稿の読取終了後 5 秒以内に原稿が ADF に追加された場合に、原稿の読取に継続する設定を行います。（1 回の読取の最大読取枚数は 255 ページです。原稿や文字サイズの設定により、最大読取枚数は減ることがあります。） 送信原稿枚数がADFの最大読取枚数を超える時や、一枚ずつ原稿を読取らせる時に使用します。 「オン」に設定した場合、「082 クイックメモリー送信」は動作しません。
		2	オン	
134	宛先名敬称付加	1	ナシ	受信側で印刷される文書の発信元情報の宛先に、敬称（○○サマ）の印字を設定します。
		2	アリ *	
135	迷惑ファクス防止			ダイレクトメールなどの迷惑ファクスを防止する機能です。（☛58 ページ）
		01 数字 ID 拒否		「04 ID 番号登録」で登録した数字 ID の相手からの受信拒否を設定します。
		1	ナシ *	
		2	アリ	
		02 ID なし時受信		数字 ID を送出しない相手から着信した場合に、受信します。 ・この機能は、「01 数字 ID 拒否」を「アリ」に設定した場合に有効になります。
		1	ナシ	
		2	アリ *	
		03 ID 受信時刻プリント		相手機の数字 ID を受信時刻とともに受信文書に記載します。 ・この機能は、「01 数字 ID 拒否」を「アリ」に設定した場合に有効になります。
		1	ナシ	
		2	アリ *	
		04 ID 番号登録		「01 数字 ID 拒否」で拒否したい数字 ID を登録します。 30 件まで登録できます。
136	直接ダイヤル制限	1	ナシ *	宛先入力時の直接ダイヤル機能の有効/無効を設定します。「アリ」に設定すると、直接ダイヤルによる宛先の指定、キーボード画面でのメールアドレスの入力はできません（手動送信を含む）。「アリ」に設定した場合、［再ダイヤル］は使用できません。
		2	アリ	

設定	設定項目	設定値	設定	説明
137	直ダ再入力	1	ナシ *	直接ダイヤルによる宛先指定時、キーボード画面でのE メールアドレス入力時、再ダイヤル時、および宛先確認で、宛先を入力する時に、宛先の再入力画面を表示するかどうかを設定します。 「アリ」に設定すると、宛先の再入力画面が表示され、1 回目と 2 回目の宛先が一致した場合にだけ通信が開始されます。 「アリ」に設定した場合も、手動送信のときは、再入力画面が表示されません。 「136 直接ダイヤル制限」が「アリ」に設定されている場合、本機能で「アリ」を設定しても、宛先の再入力画面は表示されません。
		2	アリ	

リスト・レポートのプリント

概要

本機で送受信した通信記録や各登録内容をプリントできます。：通信管理レポート、送信レポート、通信結果レポート、ワンタッチ／短縮リスト、クイックダイヤルリスト、プログラムリスト、システム登録リスト

通信管理レポート

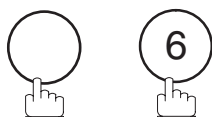
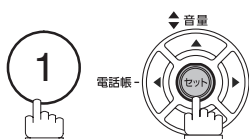
「通信管理レポート」には、最新の 40 通信が記録されます。（文書を送受信するたびに、その通信は記録されています）これは 40 通信を行うごとに自動的にプリントされますが（☛ お知らせ 1）、以下の手順に従い手動でプリント、または LCD 画面上で確認することもできます。

1

ファンクション

```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ        (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶｸﾆﾝ
1: ﾌﾟﾘﾝﾄ 2: ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ
```

3a プリントする場合は①を押す

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

3b 画面表示する場合は、②を押す

```
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ
1: ｿｳｼﾝ ﾉﾐ 2: ｽﾍﾞﾃ
```

4 画面表示するモードを選択する

```
ﾅｲﾖｳ ﾊ ∨ ∧ ﾎﾞﾀﾝ ﾃﾞ
ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

送信ファイルのみを画面表示する場合は① を押します。

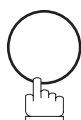
全ての通信を画面表示する場合は② を押します。

例： ②

▼ または ▲を押しジャーナルに記録された通信結果を見ることができます。待機状態に戻るには ストップ を押します。

通信管理レポートサンプル

お知らせ

1. 通信管理レポートの自動プリントを解除したい場合は、システム登録の「013　通信管理レポート」を「ナシ」に変更してください。(☛137 ページ)

送信レポート

送信レポートには最新の通信結果を表示します。

1 ファンクション

```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
6: ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

送信レポートサンプル

```
                                                              (1)              (2)
************** - ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ -  ****************************** yyyy-mm-dd ***** 15:00 *********
                                                                  (11)
     (10)      ﾋﾂﾞｹ            = yyyy-mm-dd 09:00

     (3)       ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ No.    = 21

     (4)       ｹｯｶ             = OK

     (5)       ﾏｲｽｳ            = 001/001

     (7)       ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ        = 00:00:16

     (6)       ﾌｧｲﾙ No.        = 010

     (16)      ﾓｰﾄﾞ            = ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ

     (17)      ｱｲﾃｻｷ           = [001] / 555 1234 /ABCDEFG

     (18)      ｱｲﾃｻｷ ID        =

     (19)      ﾓｼﾞｻｲｽﾞ         = ﾌﾂｳ

                                                   (13)
                                                 -PANASONIC                -

******************************-HEAD OFFICE      -*******-        201 555 1212- *****************
                               (15)                              (14)
```

通信管理レポート／送信レポートの内容説明

(1)	プリントした日付		
(2)	プリントした時刻		
(3)	レポート番号		
(4)	通信結果	:	OK：通信完了 OK1：IP 回線を使って通信完了 OK2：IP-PSTN（一般回線）を使って通信完了 OK3：PSTN-PSTN を使って通信完了 ビジー：回線使用中 テイシ：通信中に **STOP** ボタンが押された 。 P − OK：原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了。 R − OK：LAN 中継または親展通信完了 ——：LAN 送信（☛ お知らせ 2） 4 桁エラーコード：通信エラー（☛161 ページ）
(5)	送受信したページ数	:	3 桁の数字は送信枚数。 * 印は相手機異常。
(6)	ファイル番号	:	001 ～ 999（通信がメモリーに蓄積されると、それぞれの通信にファイル番号が付与されます。）
(7)	通信時間		
(8)	通信の種類	:	ソウシン　：送信 ジュシン　：受信 ポーリング：ポーリング テンソウ　：メモリー転送
(9)	宛先	:	宛先名または電話番号／メールアドレス ☎ 番号：直接ダイヤル番号 番号のみ：相手の ID ナンバー（電話番号） メールアドレス
(10)	通信日		
(11)	通信開始時刻		
(12)	診断	:	サービスマンが使用します 2 桁の番号は最終宛先です STN(S)LAN：LAN 送信 (MDN)LAN：送達確認付き LAN 送信
(13)	ロゴ	:	25 文字まで
(14)	IDナンバー	:	20 桁まで
(15)	文字 ID	:	16 文字まで
(16)	通信の種類	:	送信またはメモリー送信
(17)	宛先	:	ワンタッチ、短縮ダイヤル／メールアドレス、電話番号／記録された名前 上記以外：メールアドレスまたは電話番号
(18)	受信した相手の ID	:	文字 ID または ID ナンバー
(19)	文字サイズ		

お知らせ

1. メールによる同報送信は 1 回の送信として記録されます。
2. 送達確認要求を付加して送信した場合、送達確認が返送されてくるまでは通信結果欄には " −− " が表示されます。送達確認を受け取ると "OK" と表示されます。ダイレクト IFAX 送信時は通信が完了したときは "OK" と表示されます。

通信結果レポート

通信結果レポートで、送信またはポーリングが成功したかどうかを確認することができます。システム登録の「012 通信結果レポート」でプリント状況（オフ／スベテ／未通信）を選択します。

通信結果レポートサンプル

```
**************** -- ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ - ***************** yyyy-mm-dd **** 15:00 *********

 (1)                                     (2)                         (3)
 ﾓｰﾄﾞ = ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ                       ｽﾀｰﾄ = mm-dd 14:50          ｴﾝﾄﾞ = mm-dd 15:00

  ﾌｧｲﾙ NO.= 050  (4)
 (5)      (6)   (7)          (8)                                    (9)        (10)
 ﾂｳｼﾝ     ｹｯｶ   ﾜﾝﾀｯﾁ /     ｱﾃｻｷ ﾒｲ / ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ    ﾏｲｽｳ       ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ
 NO.            ﾀﾝｼｭｸ NO.

 001     OK      <01>        SERVICE DEPT.                          001/001    00:01:30
 002     OK      <02>        SALES DEPT.                            001/001    00:01:25
 003     0407    <03>        ACCOUNTING DEPT.                       000/001    00:01:45
 004     BUSY     ☎          021 111 1234                           000/001    00:00:00

                                                  - PANASONIC -
*********************************** - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ -          - ***** - 201 555 1212 - *****
```

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　　　　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd

...variations of print density ...
cause the photocell to generate an analogous electrical video signal.
This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a
remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video
signal, which is used to modulate the density of print produced by a
printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised
with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile
copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

通信結果レポート

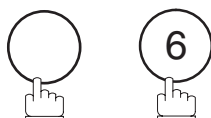
(1)	通信モード表示	
(2)	通信開始時刻	
(3)	通信終了時刻	
(4)	ファイル番号	： 001 ～ 999（通信がメモリーに蓄積されると、それぞれの通信にファイル番号が付与されます）。
(5)	レポート番号	： 宛先 No.
(6)	通信結果	： OK： 通信完了 OK1： IP 回線を使って通信完了 OK2： IP-PSTN（一般回線）を使って通信完了 OK3： PSTN-PSTN を使って通信完了 ビジー： 回線使用中 テイシ： 通信中に STOP ボタンが押された。 P − OK： 原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了。 R − OK： LAN 中継または親展通信完了 ―― ： LAN 送信（☛145 ページのお知らせ 2） ４桁エラーコード：通信エラー（☛161 ページ） この場合、前頁に示すように、送信文書の最初のページをプリントします。
(7)	ワンタッチ／短縮ダイヤル番号または ☎ マーク	： ☎ マーク： 直接ダイヤル番号
(8)	宛先名、直接ダイヤルでの電話番号／メールアドレス	
(9)	送受信したページ数	： 送受信枚数
(10)	通信時間	

ワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リスト

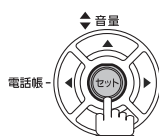
登録されているワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リストをプリントする。

1

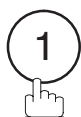
ファンクション

```
リスト プ゜リント        (1-7)
ハ゛ンコ゛ウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
2: ワンタッチ・タンシュク リスト ?
セット テ゛ プ゜リント
```

3

```
1: ワンタッチ・タンシュク リスト
2: テ゛ンワチョウ リスト
```

4

ワンタッチ／短縮ダイヤルリストをプリントする場合は

を押します。

```
* プ゜リント シテイマス *
ワンタッチ・タンシュク リスト
```

```
* プ゜リント シテイマス *
テ゛ンワチョウ リスト
```

電話帳リストをプリントする場合は

を押します。

ワンタッチリストサンプル

```
******************** － ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ － ****************** yyyy-mm-dd *****  11:11 ********
(1)      (2)             (3)
ﾜﾝﾀｯﾁ    ｱﾃｻｷ ﾒｲ          ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ                        (7)
No.                      ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)   ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)       ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                         ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ       ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

<01>  Jane Smith         ☎201 555 3456                                  [001]
                         4452                  +1 201 123 4567           ---
                         ---                   ---
<02>  John Smith         ☎201 555 1212                                  [002]
                         1212                  212 555 1234              ---
                         ---                   ---
<03>  Bob Jones          jonesb@abcdefg.com                              ---
                         123456                201 555 1212              ---
                         ---                   ---
<04>  Panafax1           panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp                    ---
                         4827                  +81 03 5251 1234          ---
                         ---                   ---
<05>  Panafax2           panafax2@rdnn.mgcs.mei.co.jp                    ---
                         1773                  +81 0467 5251 1234        ---
                         ---                   ---
   ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 05 (4)
                                              -PANASONIC              -
*************************************************- ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ - ***** - 201 555 1212- *********
```

短縮ダイヤルリストサンプル

```
******************** － ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ － ******************* yyyy-mm-dd *****  11:11 ********
(1)       (2)            (3)
ﾀﾝｼｭｸ     ｱﾃｻｷ ﾒｲ         ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ                        (7)
NO.                      ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)   ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)       ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                         ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ       ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

[001]  Jane Smith        ☎201 555 3456                                  [009]
                         4452                  +1 201 123 4567           ---
                         ---                   ---
[002]  John Smith        %201 555 1212                                  [010]
                         1212                  212 555 1234              ---
                         ---                   ---
[003]  Bob Jones         jonesb@abcdefg.co
                         123456                201 555 1212              ---
                         ---                   ---                       ｻｰﾊﾞｰ1
[004]  Panafax1          panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                         4827                  +81 03 5251 1234          ---
                         ---                   ---                       ｻｰﾊﾞｰ1
[005]  Panafax2          panafax2@rdnn.mgcs.mei.co.jp
                         1773                  +81 0467 5251 1234        ---
                         ---                   ---                       ｻｰﾊﾞｰ2
    ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 005 (4)
                                              -PANASONIC              -
*************************************************- ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ - ***** - 201 555 1212- ********
```

リスト・レポート

＜次ページへつづく＞

電話帳リストサンプル

```
*********************** －ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ－ ******************** yyyy-mm-dd *****  11:11 ******
       (2)             (1)          (3)
       ｱﾃｻｷ ﾒｲ          ﾜﾝﾀｯﾁ／      ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ／ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ                      (7)
                       ﾀﾝｼｭｸ NO.    ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)  ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)   ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                                    ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ      ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
(8)
[B]    Bob Jones       [003]        jonesb@abcdefg.com                          ---
                                    123456                201 555 1212          ｻｰﾊﾞｰ1
                                    ---                   ---
[J]    Jane Smith      [001]        ☎201 555 3456                               [009]
                                    4452                  +1 201 123 4567       ---
                                    ---                   ---
        John Smith     [002]        ☎201 555 1212                               [010]
                                    1212                  212 555 1234          ---
                                    ---                   ---
[K]    Panafax1        [004]        panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                                    4827                  +81 03 5251 1234      ---
                                    ---                   ---                   ｻｰﾊﾞｰ1
[M]    Panafax2        [005]        panafax2@rdnn.mgcs.mei.co.jp
                                    1773                  +81 0467 5251 1234    ---
                                    ---                   ---                   ｻｰﾊﾞｰ2
           ﾄｳﾛｸ ｽｳ  = 005 (4)

                                                          -PANASONIC            -
***********************************************－ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ － ***** － 201 555 1212－ *********
```

(1)　ワンタッチまたは短縮ダイヤル番号　：<nn>= ワンタッチ番号、[nnn]= 短縮ダイヤル番号
(2)　宛先名　：15 文字まで

(3)　電話番号／メールアドレス　：38 桁まで（電話番号）
：60 文字まで（メールアドレス）
：ワンタッチ／短縮ダイヤルにプログラムされる電話番号
（IP 電話番号は、@ 電話番号で示されます）

(4)　登録数
(5)　ルーティングサブアドレス、
ルーティング発番号
(6)　ルーティング数字 ID、
ルーティングモデムダイヤルイン
(7)　中継宛先、メールサーバー
(8)　本機に登録した宛先名の最初の文字

プログラムリスト

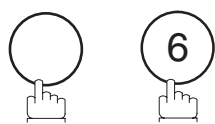
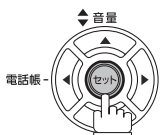
登録されているプログラムリストをプリントします。

1 ファンクション

```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
3:ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ
```

プログラムリストのサンプル

```
*************** -ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ- ******************** yyyy-mm-dd *****  15:00 *******

(1)       (2)              (3)         (4)        (5)
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ   ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾒｲ       ﾀｲﾌﾟ        ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ   ﾄｳﾛｸ ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾝｼｭｸ NO.

   [P1]   TIMER XMT        ｿｳｼﾝ        12:00       [001]
   [P2]   TIMER POLL       ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ     19:00       [002]
   [P3]   PROG. A          ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ      -----      [001] [002]

                                                               -PANASONIC-

************************************ -ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ - ***** - 201 555 1212- *************
```

リストの内容説明

(1) プログラムボタン
(2) プログラム名 ： 15 文字まで
(3) プログラムの種類 ： ソウシン：送信
ポーリング：ポーリング
タンシュク／グループ：プログラムボタンをグループボタンとして登録
ワンタッチ：プログラムボタンをワンタッチボタンとして登録
(4) 予約時刻 ： 開始時刻
(5) 登録宛先 ： ワンタッチ／短縮ダイヤル番号

システム登録リスト

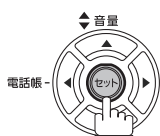
システム登録の設定をプリントします。

ファンクション

```
リスト プリント      (1-7)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧
```

2

```
4: システム トウロク リスト ?
セット デ プリント
```

3

```
* プリント シテイマス *
システム トウロク リスト
```

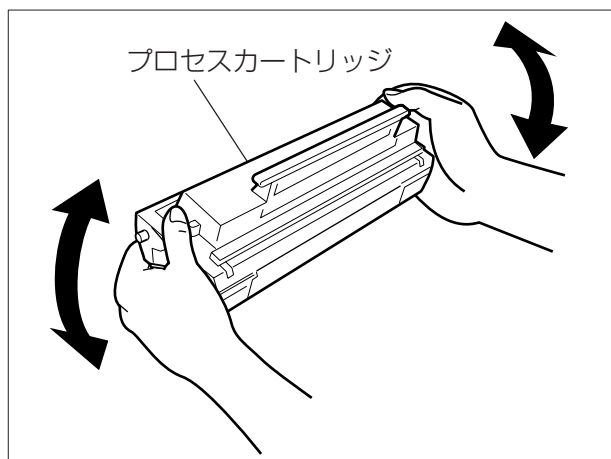
システム登録リストのサンプル

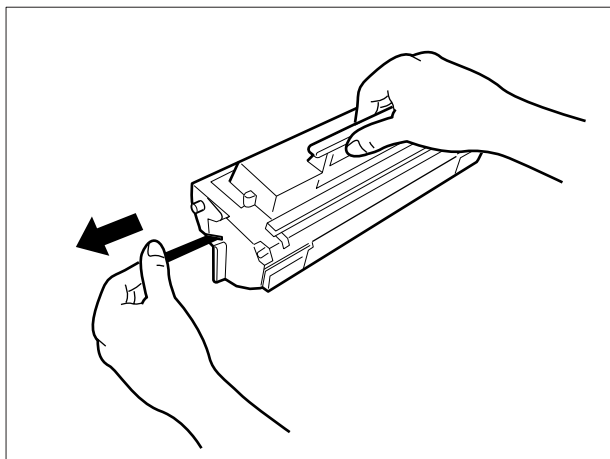
```
*************** - システム トウロク リスト - ************************ yyyy-mm-dd ***** 15:00 ********** P.01

                                                                   (4)              (5)
                                                                   ゲンザイ ノ セッテイ  ヒョウジュン セッテイ
      (1)  (2)          (3)
(7)   001 ノウド キリカエ   (1: フツウ          2: ウスク        3: コク )           1                1
 *    002 モジ サイズ     (1: フツウ          2: チイサイ       3: サイミツ )         3                2
                         4: ハーフトーン ( チイサイ ) 5: ハーフトーン ( サイミツ )

      099 メモリーサイズ                                                  (8MB) (6)

                                                                - PANASONIC -

************************************************ - パナソニック - ******** - 201 555 1212- ***********
```

リストの内容説明

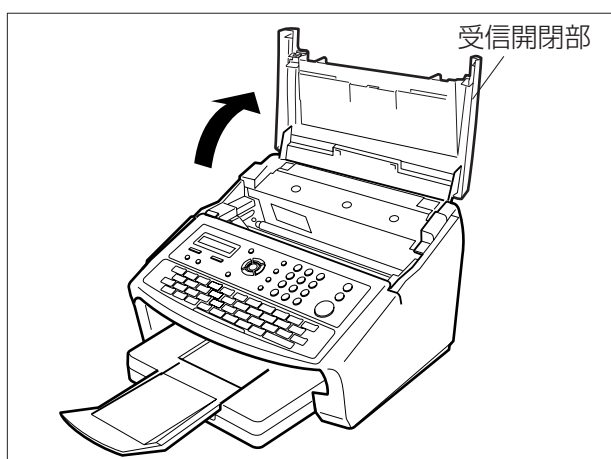
(1)　設定番号
(2)　設定項目
(3)　設定値
(4)　現在の設定　：　－－：設定値またはパスワードが設定されていません。設定値またはパスワードが設定されると、() 内に記述されます。
(5)　標準設定　：　お買い上げ時の設定です。
(6)　メモリーサイズ
(7)　設定の変更　：　* 印は標準設定から変更されたものです。

プロセスカートリッジのセット

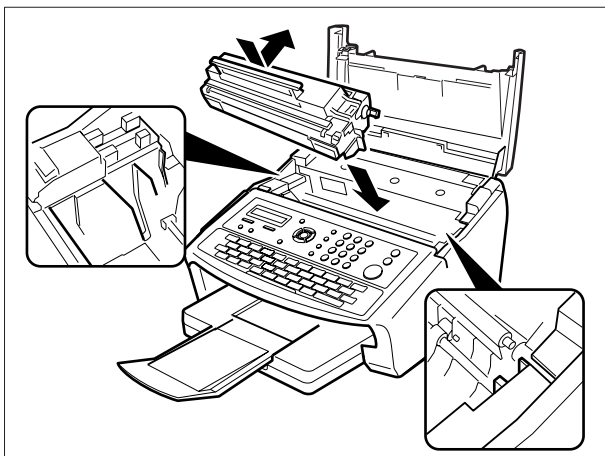
1

プロセスカートリッジを開封し、内部のトナーが均一になるように５、６回振ります。

2

保護用のシールを引き抜きます。

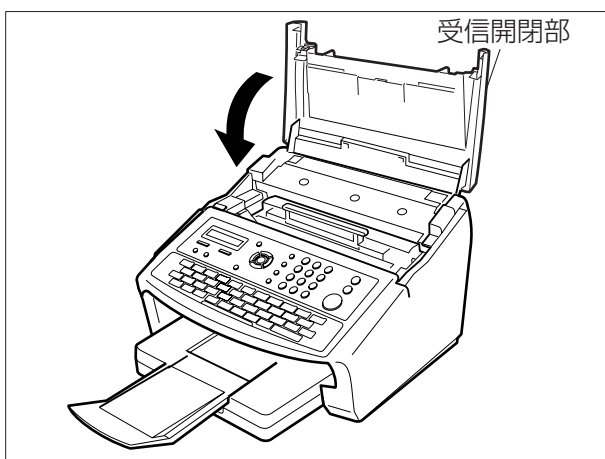
お願い： ゆっくりとシールを引っぱり、まっすぐに抜き出します。

3

受信開閉部を開けます。

＜次ページへつづく＞

4

プロセスカートリッジの両端にある突起を本体の溝に入れます。

お願い： ハンドルを押し下げてプロセスカートリッジをロックし、その後、本体後部に向けて押しつけます。

5

受信開閉部を確実に閉じます。

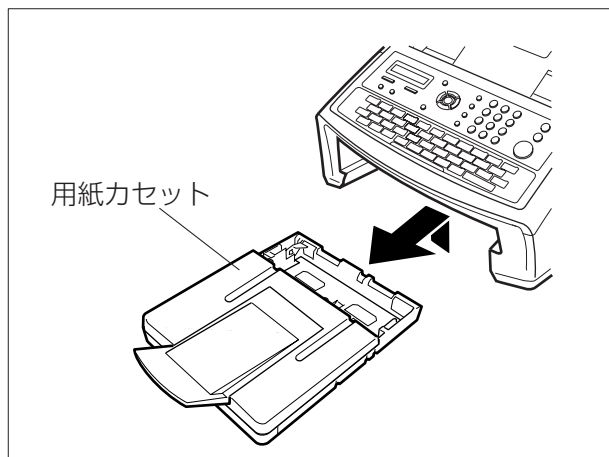
お願い

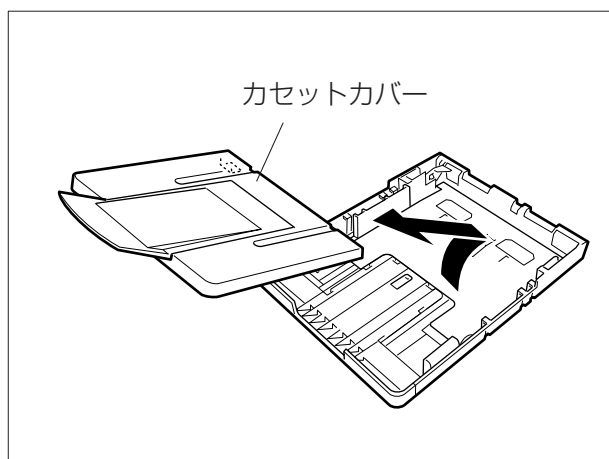
1. プロセスカートリッジのドラム部（青緑色部）には手を触れないでください。ドラムの表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
2. プロセスカートリッジのドラム部（青緑色部）の保護カバーは、セットするとき、無理な力が加わるとはずれます。これは破損を防ぐためです。はずれた場合は、元の状態に戻してください。
3. 受信開閉部を閉めるときは、確実にしまっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

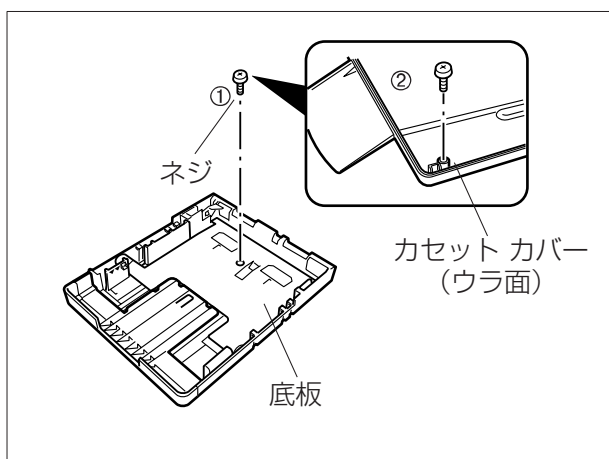
用紙の補充

用紙の補充のしかた

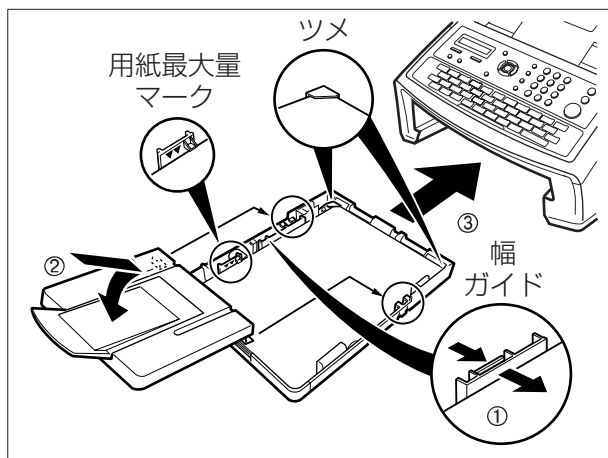
用紙の補充

1

用紙カセットを少し持ち上げ、本体から引き出します。

2

用紙カセットカバーをはずします。

3

1. お買い上げ時は輸送時の破損などを防ぐため、カセットの底板に輸送固定ネジが取り付けられています。ご使用の際はネジをまわして取ります。
2. 用紙カセットカバーのウラ面にある専用の場所に取り付けて保管します。

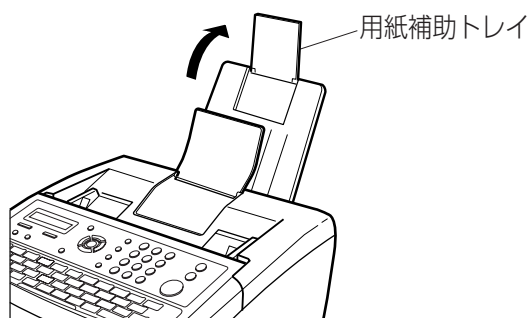
<次ページへつづく>

4

1. 用紙カセットに用紙をセットします。
   用紙幅ガイドを右方にスライドさせ、用紙の側面に軽く触れるようにさせます。用紙はたるまないようにしてください。用紙はカセット右側面と幅ガイドの間にぴったり収まっていることを確認してください。正しくセットされていないと、紙づまりの原因になります。

   お願い： 用紙が金属製のツメ（2カ所）下にセットされていることをご確認ください。また、用紙厚が用紙最大量マークを越えないようにご注意ください。セットできる枚数は約250枚です。

2. 用紙カセットカバーを元に戻します。
3. 用紙カセットを本体に装着します。

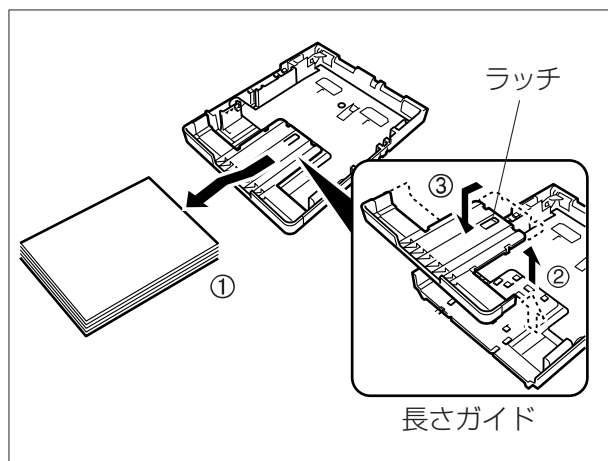
お知らせ

1. A4　サイズを超える用紙をセットする場合は、用紙補助トレイを下図のように開いてください。

2. 用紙がツメ（2ヵ所）の下にセットされ、用紙最大量マークを超えていないことを確認してください。
3. 用紙カセットには、適応サイズ以外の用紙はセットしないでください。
4. しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。
5. 用紙を追加するときは、残っている用紙を上にしてセットし直してください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因となることがあります。
6. プリント中には、用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因となります。
7. 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらないところに保管してください。
8. 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

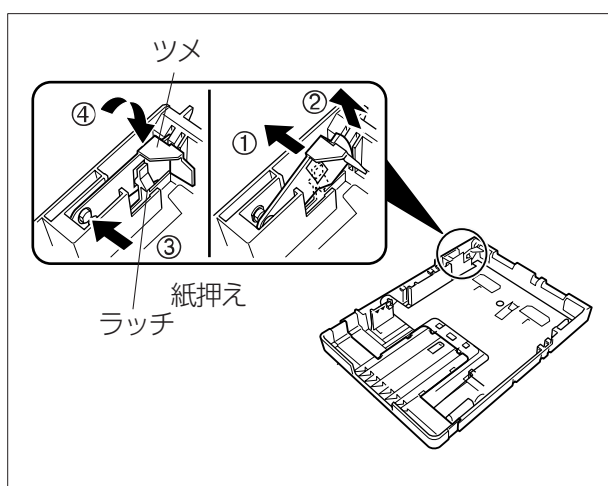
用紙カセットのサイズ変更

用紙カセットの用紙サイズ変更のしかた

お買い求め時の用紙カセットは A4 サイズ用に設定されています。この用紙サイズをレターまたはリーガルサイズに変える手順は、以下の通りです。

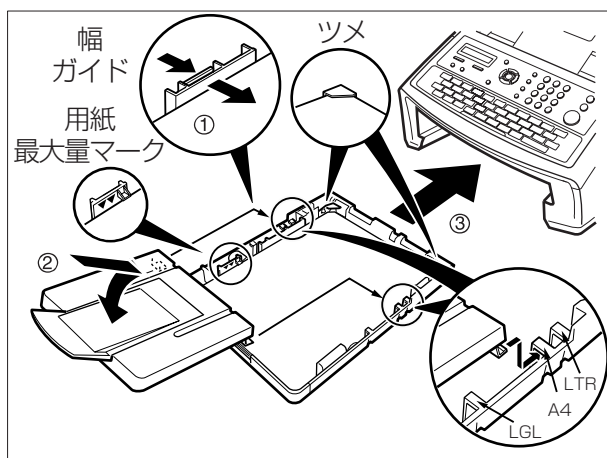
1

<用紙カセットの用紙長の調節のしかた>

1. 用紙カセットから用紙を取り出し、机などの平面上でカセットを裏返します。
2. ラッチを押しながら、長さガイドを引き出します。
3. 長さガイドの左右のツメを使用する用紙サイズのカセットの穴（レターまたはリーガル）に入れ、長さガイドをロックするようスライドさせます。

2

<用紙カセットの用紙幅の調節のしかた>

1. 左方にあるツメのラッチをゆるめます。
2. ツメを引き上げて抜きます。
3. ツメの位置を LTR 側（L の刻印側）の溝に入れます。
4. ツメを下に押し、ラッチがかかるよう押し込みます。

<次ページへつづく>

3

1. 用紙を用紙カセットにセットします。幅ガイドを右方にすべらせ、用紙の側面に軽く触れるようにさせます。用紙はたるまないようにしてください。用紙はカセット右側面と幅ガイドの間にぴったり収まっていることを確認してください。正しくセットされていないと、紙詰まりの原因となります。

   お願い： 用紙が金属製のツメ（2カ所）の下にセットされていることをご確認ください。また、用紙厚が用紙最大量マークを越えないようにご注意ください。セットできる枚数は約250枚です。

2. 用紙カセットカバーを長さガイドに合わせます（レターまたは A4 またはリーガル）。

3. 用紙カセットを本体に装着します。

4 システム登録の No.23「用紙サイズ」はカセット内の用紙サイズと同一になっていなければなりません。用紙のサイズを変更したときには「用紙サイズ」の設定もそれに合わせて変更してください（☛138 ページ）。

お知らせ

1. カセット内の用紙サイズを変更してシステム登録の No.23「用紙のサイズ」の変更をし忘れた場合、本機は受信ファクスの1ページ目をプリントした後、印字を停止し、「用紙サイズが合っていません」という内容のエラーメッセージを表示します。その後、用紙のサイズ設定を自動的に設定し直し、再度1ページ目からの印字を行います。

こんなときには

故障かな?と思ったら

モード	症状	原因と処置	参照ページ
送信中	原稿が送り込まれないか、または複数枚同時に送り込まれる	1. 原稿にホチキスの針やクリップが付いていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2.「セットできない原稿」に一覧表示してある原稿でないことを確認してください。リストに記載してある種類の原稿である場合は、そのコピーをとって原稿の代わりに送信してください。 3. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 4. 自動給紙圧を調整してください。	27 28 169
	原稿づまり	原稿がつまった場合は、エラーコード 0030、0031 がディスプレイに表示されます。	161
	済スタンプがプリントされない	1. 済スタンプの LED が点灯しているか確認してください。 2. システム登録 No.004 および No.028 の設定値を確認してください。	30 137 138
	済スタンプが薄すぎる	済スタンプを交換してください。	170
送信時コピー画質	送信した原稿に縦線が入る	お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	168
	送信した原稿が白紙で出てくる	1. 原稿が裏向きにセットしてあることを確認してください。 2. お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	168
受信中	用紙切れ	用紙がなくなった場合は、エラーコード 0010 がディスプレイに表示されます。用紙を補充してください。	155
	用紙づまり	用紙がつまった場合は、エラーコード 0001、0002、0007、0008 のいずれかがディスプレイに表示されます。つまった用紙を取り除いてください。	166
	用紙が送り込まれない	用紙カセットに用紙がセットされていることを確認してください。用紙のセット方法については、該当する指示に従ってください。	155
	受信できない	迷惑ファクス防止機能がセットされているか拒否設定を確認してください。	58
	プリント終了時に用紙が排出されない	用紙が本機内部でつまっていないか確認してください。	166
	用紙が順番に積み重ならない。最終受信ページからプリントされない	1. システム登録の「正順プリント」が「アリ」に設定してあるか確認してください。 2. 受信中にメモリーが一杯になった場合は、最初に受信したページからプリントされます。	139
	原稿自動縮小機能がはたらかない	縮小受信の設定値を確認してください。	65
	トナー切れ	プロセスカートリッジのトナーがなくなった場合は、エラーコード 0041 がディスプレイに表示されます。プロセスカートリッジを交換してください。	153

<次ページへつづく>

モード	症状	原因と処置	参照ページ
プリント時 コピー画質	受信した原稿に縦線が入る	通信管理レポート（例：ファンクション、6、1、セット、1）を出力して画質チェックを行ない、本機に異常がないか確認してください。 レポートの画質に問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している送信側に報告してください。 コピーに問題がある場合は、プロセスカートリッジを交換してください。	142 153
	プリントが不鮮明	1. 推奨の用紙を使用しているか確認してください。 2. 用紙を裏返しにしてみてください。	ーー
	プリント領域内に点状や線状に抜けている箇所、または濃度が不均一な箇所がある	1. 推奨の用紙を使用しているか確認してください。 2. プロセスカートリッジを交換してください。	ーー 153
	プリントがうすくなる	プロセスカートリッジのトナーが切れかかっている可能性があります。プロセスカートリッジを交換してください。	153
通信	発信音なし	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 電話回線を確認してください。	15
	自動受信しない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 受信モードの設定値を確認してください。 3. システム登録 No.13（通信管理レポート）を「アリ」（初期値）に設定して、受信した原稿をメモリーからプリントしている場合、通信管理レポートのプリントが完了するまで自動受信は有効になりません。	15 53
	送受信ができない	ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコード表を参照して原因を特定してください。	161

エラーコード

異常が発生したときに、ディスプレイにエラーコードが表示されます。下表に従って原因を特定し、処置を行なってください。

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0001	1 番目のカセットから給紙されるときに用紙がつまる	つまった用紙を取り除いてください。	166
0002	2 番目のカセットから給紙されるときに用紙がつまる	つまった用紙を取り除いてください。	166
0007	用紙が完全に排出されない	プロセスカートリッジを取り外し、つまった用紙を取り除いてください。	166
0008	給紙されるときに用紙カセットが引き出された	つまった用紙を取り除き、用紙カセットをセットしてください。	166
0010	用紙切れ	用紙をセットしてください。	155
0011	用紙カセットが正しく取り付けられていない	用紙カセットを取り付けてください。	155
0017	適正でないサイズの用紙が用紙カセットにセットされている	適正なサイズ（A4、レター、リーガル）の用紙を用紙カセットにセットしてください。	155
0030	原稿がつまる	1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。 3. 自動原稿送り装置を調整してください。	167 169
0031	原稿が長すぎるか、つまっている。原稿の長さが 2m を超えている	1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。	167
0041	トナー切れ	プロセスカートリッジを交換してください。	153
0043	トナーの残量が少ない		−−
0045	プロセスカートリッジが取り付けられていない	プロセスカートリッジを取り付けてください。	153
0060	受信開閉部が開いている	受信開閉部を閉じてください。	−−
0061	自動原稿送り装置（ADF）の開閉部が開いている	自動原稿送り装置（ADF）の開閉部を閉じてください。	−−
0400	初期手順の途中で、受信局が応答しなかったか、または通信エラーが発生した	1. 相手先を替えて確認してください。 2. 原稿をセットし直し、再送します。	−−
0401	中継局に受信用パスワードが必要なため、原稿を受信できない。中継局がメールボックスを持たない。中継局が送信側機器の ID 番号（ファクス番号）を要求している	中継局に確認してください。本機の ID 番号（ファクス番号）を登録してください。	−−
0402	初期手順の途中で通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0403	中継局側にポーリング機能がない	「ポーリング＝アリ」を設定するように中継局側に連絡してください。	−−
0404/0405	初期手順の途中で、通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−

<次ページへつづく>

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0406	送信用パスワードが一致しない。受信用パスワードが一致しない。不正な相手局からセレクト受信モードで受信した	ワンタッチまたは短縮ダイヤルのパスワードまたは電話番号を確認してください。	105 108
0407	受信局からのページ送信済み確認信号が得られない	数分後に再送してください。	ーー
0408/0409	遠隔側からのページ送信済み確認信号が判読できない	数分後に再送してください。	ーー
0410	送信側による通信打切り	相手先を替えて確認してください。	ーー
0411	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	73
0412	送信側からのデータが得られない	相手先を替えて確認してください。	ーー
0414	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	73
0415	ポーリング送信エラー	ポーリング用パスワードを確認してください。	ーー
0416/0417 0418/0419	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	ーー
0420/0421	受信モードにはなるが、送信側からのコマンドが受信できない	1. 相手先のダイヤル間違い。 2. 相手先を替えて確認してください。	ーー
0422/0427	インタフェースに互換性がない	相手先を替えて確認してください。	ーー
0430/0434	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	ーー
0436/0490	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	ーー
0456	* 本機が以下のいずれかの条件のもとで、親展原稿を受信した、または親展原稿のポーリングを要求した。 1. 親展原稿の受信に必要な空きメモリーがない。 2. 親展メールボックスが一杯である。 3. 受信した原稿をプリント中である。 * 本機が原稿の中継を要求されている場合	1. 通信予約レポートをプリントし、その内容を確認してください。 2. 本機がプリントを完了するまで待ってください。	86
0492/0493/ 0494	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	ーー
0495	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	ーー
0501/0502	内蔵V.34モデムで通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	ーー
0540/0541/ 0542/0543/ 0544	送信中に通信エラーが発生した	1. 原稿をセットし直し、再送してください。 2. 相手先を替えて確認してください。	ーー
0550	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	ーー
0552/0553/ 0554/0555	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	ーー
0580	サブアドレス機能をもたない機器へのサブアドレス送信	相手先に確認してください。	ーー
0581	パスワードサブアドレス機能をもたない機器へのサブアドレスパスワード送信	相手先に確認してください。	ーー

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0601	ダイレクト送信中に送信開閉部が開けられた	送信開閉部を閉じ、再送してください。	−−
0623	自動原稿送り装置に原稿がセットされていない	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0630	回線使用中による再ダイヤル失敗	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0631	ダイヤル中に STOP を押した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0634	相手先からの無応答による、またはダイヤル間違いによる、再ダイヤル失敗。 注：ビジートーンが検出されなかった場合、本機は再ダイヤルを 1 回しか行ないません。	電話番号を確認し、再送してください。	−−
0638	通信中に停電が発生した	電源コードとプラグを確認してください。	15
0718	プリントデータ受信時のページメモリーオーバフロー。用紙カセットの用紙サイズよりも大きいサイズをアプリケーションで選択した	原稿サイズと文字サイズを確認してください。受信側で対応しているサイズと文字サイズで再送してもらうように送信側に連絡してください。	−−
0731	中継送信要求を受けたときに手動ダイヤル用ダイアラーバッファが一杯（70 局）	予約通信終了後に中継送信要求を送信し直してもらうように送信元に連絡してください。	−−
0800/0816/0825	原稿または親展通信の中継機能をもたない機器へ出された中継要求	相手先を替えて確認してください。	−−
0870	送信する原稿をメモリーに記憶しているときにメモリーオーバーフローが発生	メモリーに記憶させずに原稿を送信してください。	43

お知らせ

1. 原因を特定し、推奨する処置を実施しても、エラーコードが表示されたままになったり上記リストに記載されていないエラーコードが表示された場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
2. システム登録の「123 リルート機能」が「アリ」のときは、エラーコード先頭の 4 桁目の番号が 3 〜 5（例：3xxx）となります。（☛140 ページ）「3」、「4」または「5」が付与される場合は、「IP 電話 - IP 電話発呼」、「IP 電話 - 一般電話発呼」または「一般電話 - 一般電話発呼」の場合によって異なります。

リモート登録時のエラーメッセージ

送信元へ送られるエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録時にエラーとなった場合に、本機より送信元へメールでエラーメッセージが送付されます。

	エラーメッセージ	原因と処置
1	554 Data transfer error (broken header)	ヘッダーまたはサブヘッダーの解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
2	554 Data transfer error (broken data)	データ解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
3	554 Data transfer error (FAX module)	LAM モジュールとの通信中に FAX モジュールでデータ転送エラーが発生しました。再送してください。
4	554 MIME attachment not supported (message/file)	サポートしていない MIME の添付ファイルが送られました。テキストデータだけの添付ファイルで再送してください。
5	554 MIME format not supported	サポートしていない MIME タイプが送られました。テキストデータだけで再送してください。
6	554 FAX relay permission denied	中継要求のあったドメイン名は登録されていません。
7	554 Relay address unknown	中継要求のあった最終受信局の電話番号が不明です。
8	554 Memory fully (FAX module)	FAX メモリーが一杯です。あとで再送してください。
9	554 Data transfer error	リストに記載されていないエラーです。あとで再送してください。

リモート登録失敗時のエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録が失敗したときに、本機より送信元へメールでエラーメッセージが送信されます。

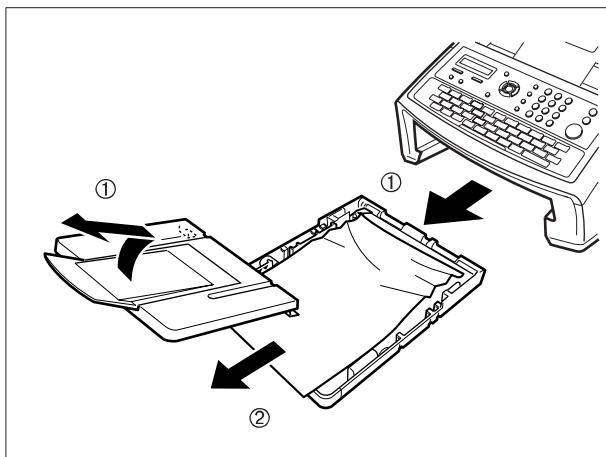
	エラーメッセージ	原因と処置
1	@command ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@command」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
2	@begin　コマンドがありません。	ブロック開始コマンド「@begin」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@begin」コマンドを加えて再送してください
3	@begin ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
4	@system ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@system」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
5	@sender ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@sender」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
6	@domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
7	@program ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@program」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
8	@system コマンドがありません。	システム開始コマンド「@system」が「@system」ブロックで記述されていません。「@system」コマンドを加えて再送してください。
9	ＦＡＸ動作中のためリモート登録できません。	* ファクス通信が予約されている場合、ファクス動作終了後に再送してください。 * 予約レポートを確認し、予約がない状態にして再送してください。

	エラーメッセージ	原因と処置
10	リモート登録パスワードチェックエラー。	パスワードを修正して再送してください。
11	リモート登録が許可されていません。	システム登録の「**158 メールリモート登録**」を「**アリ**」に設定してください。
12	Format Error:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または各宛先選択用の記述データが一行で完結していないため不完全となっています。修正して再送してください。
13	Warning:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または入力した文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。
14	データが長すぎます。	宛先名、ドメイン名、送信元名、プログラム名などの文字数が最大桁数を超えています。
15	@list ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@list」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
16	@select-domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@select-domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
17	以下のデータに上書きされました。:<(上書きされたデータ)>	データが上書きされた場合に返送されます。
18	ダイヤルインデータの登録がありません。 :<エラー行>	設定しようとしたモデムダイヤルイン番号に該当するダイヤルが登録されていません。装置のダイヤル設定を確認してください。

用紙がつまったとき

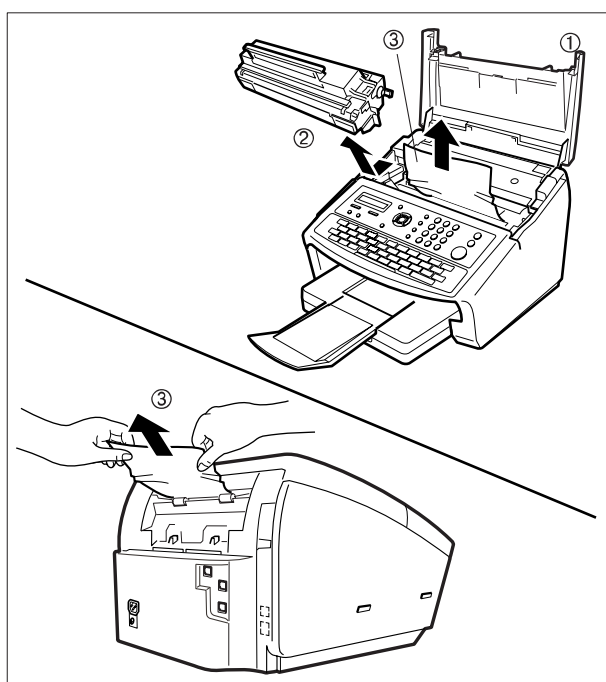
用紙がつまったときは、エラーコード 0001、0002、0007、0008 のいずれかがディスプレイに表示されます。

用紙づまりを解消するには、次の手順に従ってください（エラーコード 0001、0002 または 0008 の場合）。

1

(1) 用紙カセットを引き出し、用紙カセットのカバーを取り外してください。

(2) つまった用紙、またはしわのついた用紙を取り除き、用紙カセットに用紙をセットし直してください。
受信開閉部を開けて再び確実に閉じて、アラームを解除してください。

用紙づまりを取り除くには、次の手順に従ってください（エラーコード 0007 の場合）。

1

(1) 受信開閉部を開いてください。

(2) プロセスカートリッジを取り外してください。

(3) つまった用紙を取り除いてください。

注：1. つまった用紙が本ユニット内部にある場合は受信開閉部を開けて、用紙を取り除いてください（上図参照）。用紙に定着していないトナーがこぼれ落ちる可能性があるため、汚れないように注意して取り除いてください。

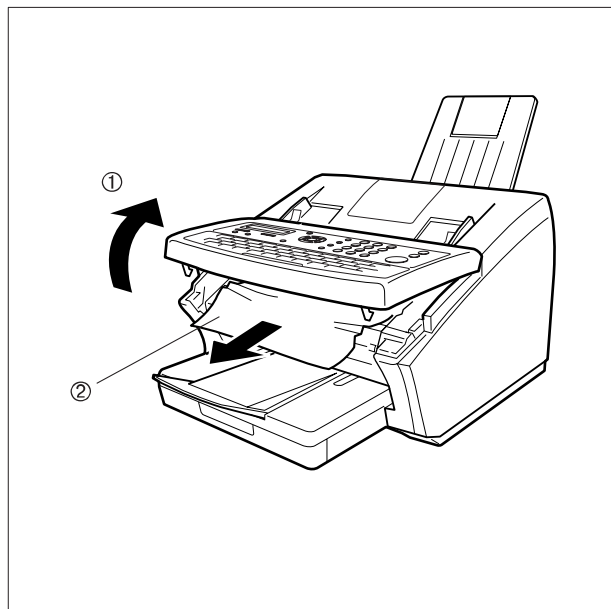
2. つまった用紙が本ユニット背面にある場合は（下図参照）、用紙トレイを取り外してから、つまった用紙を破れないよう注意しながらゆっくりとまっすぐに引き出してください。

(4) プロセスカートリッジを取り付け、受信開閉部を確実に閉じてください。

原稿がつまったとき

原稿がつまったときは、エラーコード0030または0031がディスプレイに表示されます。

原稿づまりを解消するには、次の手順に従ってください。

1

(1) 送信開閉部を開けます。

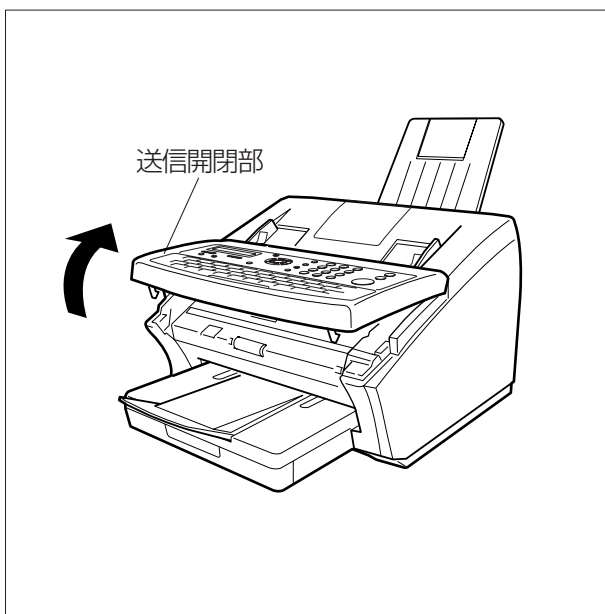
(2) つまっている原稿を取り除きます。

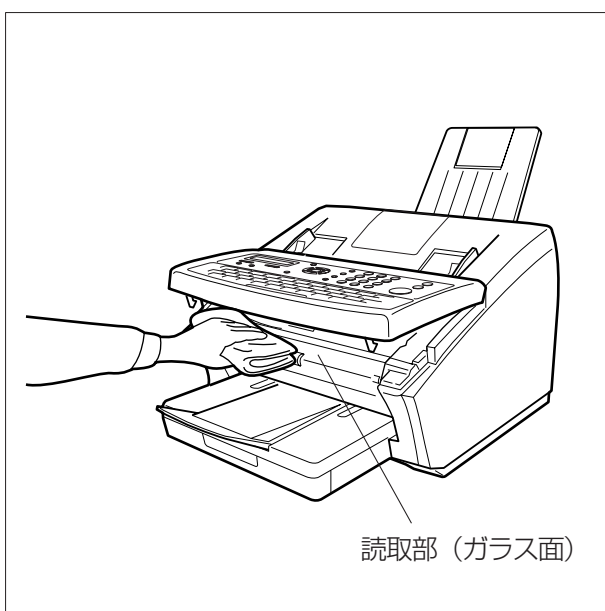
(3) 送信開閉部を確実に閉めます。

読取部のお手入れ

受信側から白紙の原稿、または黒い筋の入った原稿を受信したと報告されたときは、本機でコピーをとって確認してください。コピーに黒い筋が入っている場合は、読取部が汚れている可能性があるためクリーニングしてください。

読取部のお手入れ

1

送信開閉部を開けます

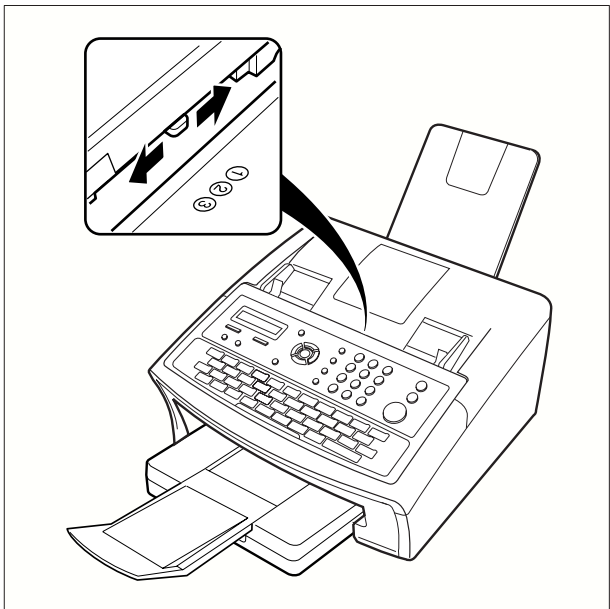
2

やわらかい布かガーゼに水を含ませ、よく絞ってから、読取部（ガラス面）をやさしく拭きます。

- 読取部は傷つきやすいので、必ず清潔な布またはガーゼを使用してください。

自動原稿送り装置（ADF）の調整

原稿づまりが頻繁に起こる場合は、ADF を調整することをお薦めします。

ADF を調整するには、次の手順に従ってください。

1

原稿の厚さなどにより原稿が繰り込まれなかったときや、重なって繰り込まれるときは、自動給紙圧を調整してください。

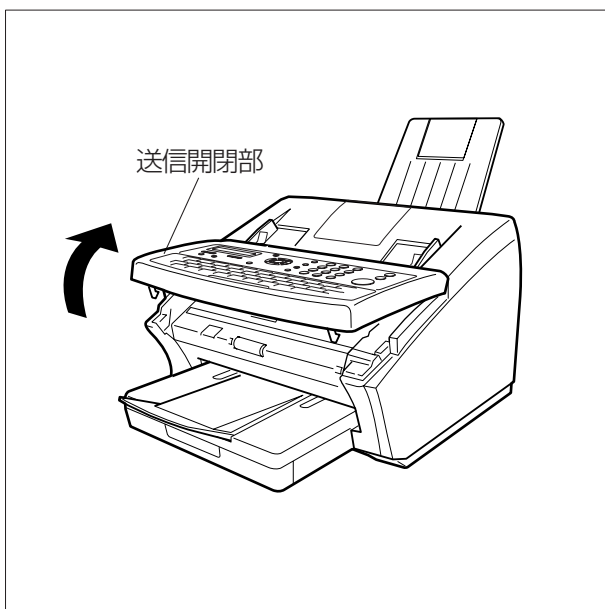
紙圧調整レバー（青色）を、上に持ちあげながらスライドさせます。

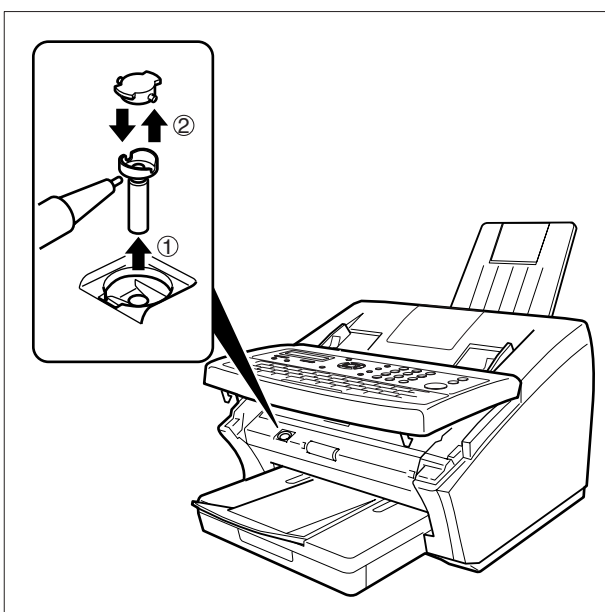
レバーの位置	こんなときには
①	原稿が繰り込まれないとき
②	標準位置（通常はここにしておきます）
③	2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれるとき

済スタンプの交換

済スタンプにはインクが入っています。済スタンプの色が薄くなって判別しにくくなったら、済スタンプを交換してください。

済スタンプを取り外すには、次の手順に従ってください。

1

送信開閉部を開いてください。

2

(1) 済スタンプユニットを上方に引き抜いてください。

(2) 済スタンプを取り外し、新しいものと交換してください。

お知らせ

1. 新しい済スタンプをお買い求めになりたいときは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。(☛176ページ)

■停電のとき

停電中はファクスのディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。また、オプションのハンドセットをご利用の場合、電話をかけることはできません。

停電になったとき	相手の方とお話し中	そのまま通話できます。
	ファクス送信中	送信は中断されます。停電復旧後、もう一度送信してください。
	ファクス受信中	受信は中断されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください。
停電中	電話をかける	できません。
	電話を受ける	できます。
	ファクスを送る	できません。
	ファクスを受ける	できません。
停電復旧後	メモリーの内容	メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。
	ファクスに登録／設定した内容	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電中も消えることなく保持されています。

■チェック＆コール

万一、本機が故障した場合には、本機が自動的に当社指定のサービス実施会社に障害状況を連絡する機能です。詳しくはお買い上げの販売店にまたは、サービス実施会社にお問い合わせください。

お知らせ

1. 原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、もう一度読み取りをしてください。ファクス送信時、原稿読取後のメモリー送信中に停電した場合は、停電復旧後、直ちに再送信されます。

アフターサービスについて

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは
まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　　）　　－

お買い上げ日　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

『取扱説明書（ファクス編）』の「こんなときには」でご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ファクシミリ
●品　番	UF-6020
●故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間　（ただし、消耗品は除く）

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　5 年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

● **アフターサービスについて、おわかりにならないとき**
お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています連絡先へお問合わせください。

● **使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。**
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

● 本製品は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

● 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。
Exporting this product and/or its technology from Japan is restricted by the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When this product and/or its technology are exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

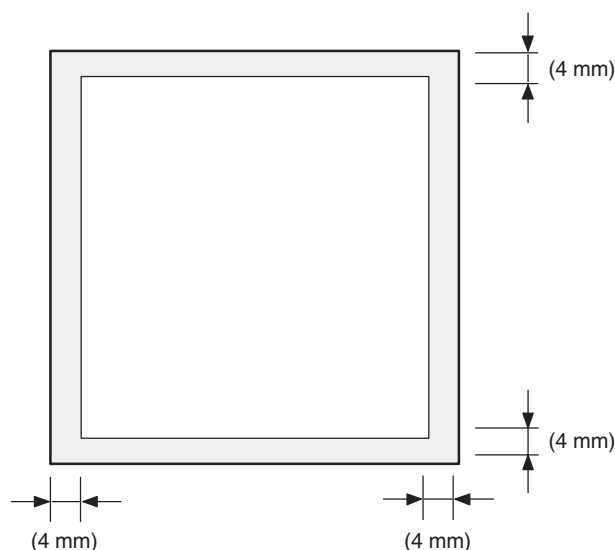
仕様

品番	UF-6020
認証機器名	UF-6020
適合回線 (G3 FAX)	ITU-T Group 3
適合規格 (LAN)	IETF RFC 3965、ITU-T T.37
適合回線 (LAN)	10Base-T Ethernet (IEEE 802.3)、100Base-TX Fast Ethernet (IEEE802.3u)
通信可能機種	G3 （国際規格）
出力可能文字	JIS 第 1 ・第 2 水準
通信プロトコル (LAN)	TCP/IP、SMTP、POP3、MIME
データ形式 (LAN)	RFC3949、TIFF-FX ミニマルセット Profile：TIFF-F 符号化方式：MH/MMR、原稿サイズ：A4/B4
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR （ITU-T 勧告準拠）
通信速度	2400 ～ 33600 bps
原稿サイズ	B4 ～ A5（最大：幅 257 × 長さ 2000 mm、最小：幅 148 × 長さ 128 mm）
読取方式	CCD イメージセンサーによる平面走査
有効読取幅	252 mm（B4） 208 mm（A4）

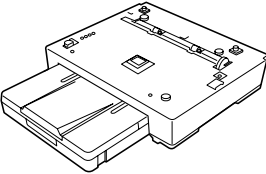
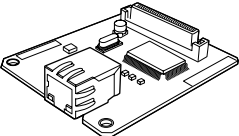
走査線密度

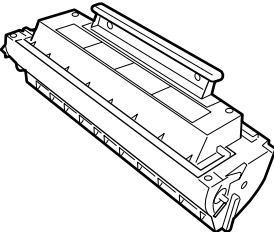
	水平方向		垂直方向
ふつう	8 dot/mm	x	3.85 lines/mm
小さい	8 dot/mm	x	7.7 lines/mm
細密	16 dot/mm	x	15.4 lines/mm（補間）

記録方式	電子写真記録方式
用紙サイズ	A4、レター、リーガル
解像度	ファクス／コピーモード ：406 x 391 dpi プリンターモード ：600 x 600 dpi

有効記録範囲
（☛ お知らせ 1）

お知らせ

1. レターサイズまたはリーガルサイズの原稿を PC 側から 600 dpi でプリントする場合、左右のプリントマージンは 5.5 mm になります。
2. LAN 機能を使用するためには、インターネットファクスオプションの装着が必要です。

電源	AC 100V ± 10V, 50/60 Hz	
消費電力	待機時（オフモード）	約 1.2 Wh 以下
	待機時（低電力モード）	約 8.0 Wh
	待機時（節電モードオフ）	約 25 Wh
	送信時	約 18.0 W
	受信時	約 430 W
	コピー時	約 430 W
	最大	約 530 W
外形寸法	約 370（幅）x 474（奥行き）x 253（高さ）mm （突起部を除く）	
質量	約 9.3 kg（消耗品と別売品を除く）	
動作環境	温度　　：10 ℃～ 35 ℃ 相対湿度：45% ～ 85% （ただし 35 ℃のときは湿度 70% 以下､湿度 85%のときは 30 ℃以下）	
直流抵抗値	231Ω	

お知らせ

1. 一般の電話回線での最高通信速度は 28800 bps 程度です。
2. 認証番号は、本体背面に記載しております。

オプションと消耗品

お買い求めになるときは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

A. オプション

品番	図	説明
UE-403186		ハンドセット
UE-409090		250 枚増設給紙ユニット
UE-404094		インターネット FAX ユニット

B. 消耗品

品番	図	説明
UG-4105		済スタンプ
DE-3380		プロセスカートリッジ

● **用紙**

良好な記録をしていただくため、できるだけ当社の推奨品をご使用ください。
（詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。）

用語集

10Base-T/100Base-TX	イーサーネットケーブル規格の一種です。 「10/100」はバンド幅が 10/100 Mbps の意味で、このバンド幅は単一チャンネル・ベースバンドのベースとなっています。「T」は撚り（Twisted）対の意味で、この規格のケーブルは 2 対の非シールド撚り線からなります。
ADF （自動原稿送り装置）	複数枚の原稿をセットして、1 枚ずつ読取り部へ送る装置です。
BPS (Bits Per Second)	電話回線経由で送信されるデータ量の単位です。本機は常に最大伝送速度で動作開始しますが、電話回線の状況や受信側機器の能力に応じて伝送速度を自動的に落とします。
DTMF (Dual Tone Multifrequency)	電話機のボタンの各数字を表わすさまざまな組み合わせの周波数を送り出すダイヤル呼出し方式です。一般に、プッシュホン式ダイヤル呼出しを指します。
ECM (Error Correction Mode)	G3 ファクス通信を行なっているときに、通信エラーを訂正する機能です。
FAX/TEL 自動切替	1 つの電話回線でファクスと電話を自動で切替えて使用できます。
FROM 選択	あらかじめプログラム登録してある 24 の送信者名、メールアドレス、または電話番号のうちの 1 つを送信前に選択することができます。
G3 モード (Group 3)	現在最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリです。
IP アドレス	インターネット上に存在するコンピューターなどの住所にあたる数列です。
ISP (Internet Service Provider)	インターネットへの接続サービスを提供する組織のことです。
ITU-T	国際電気通信連合電気通信標準化部門。国際電信電話諮問委員会（旧 C.C.I.T.T）。
ITU-T (C.C.I.T.T.)	国際電信電話諮問委員会の略称。この機構は現在、ファクシミリ互換性を保証する 4 グループの業界標準を推進しています。
ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較を可能にする業界標準原稿のことです。
LAN (Local Area Network)	オフィス、工場、大学などといった隣接エリアに限定された、データの統合および交換のためのコンピューターネットワークシステムです。
LAN 中継パスワード	LAN 中継通信を行う際に、パスワードとして用いるメールアドレスです。LAN 中継通信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名（@ の左側）の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信を行います。
LCD	本機の表示をする液晶ディスプレイのことです。
MAC アドレス	装置に割り当てられるハードウェアアドレスで、MAC （メディア・アクセス・コントロール）アドレスともいいます。 MAC アドレスは設定不可能で、コロン （：）で区切られた 6 つの 16 進数からなります。 例：00:00:c0:34:f1:50
MAPI (Messaging Application Program Interface)	メッセージ送信のための Windows 標準インタフェースです。ワープロ・ソフトや表計算ソフトなどのメニューから、編集中の文書を直接 E メールで送信するようなことが可能です。
MDN (Message Disposition Notifications)	メールが読まれたかどうかを確認する為に送信側から MDN 要求を付加して送付します。
MIME (Multipurpose Internet Mail Extension)	インターネット上で、テキストデータ以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、E メールの通信手順です。
POP (Post Office Protocol)	メールサーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順です。
PSTN (Public Switched Telephone Network)	公衆電話交換ネットワークを指します。相互に接続された交換機と送信施設からなるネットワークです。

用語集

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）	インターネット上でメールを送受信するための主な通信プロトコルです。
TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）	インターネットで使用されているプロトコルの最も基本的な集合体（プロトコルスイート）であり、あるインターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。
TIFF（Tagged Image File Format）	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルです。本製品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF イメージビューワー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムです。市販の TIFF ビューアーでは、本製品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。
アクセスコード	第 3 者の不正使用を防止するため、4 桁のアクセスコードを設定できます。
宛先シート	本機のワンタッチに登録してある宛先名をプリントし、ワンタッチボタンシートの下に入れて使います。
宛先名	各ワンタッチ／短縮ダイヤル番号の登録名です。
イーサーネット	LAN 上のコンピューターおよび装置をネットワーク化する最も一般的な手段。最大 100 Mbps まで処理が可能で、ほとんどのすべてのタイプのコンピューターが対応しています。
イメージメモリー容量	原稿の各ページを記憶するために本機が利用できるメモリーの量を意味します。ITU-T 勧告の Image No. 1 原稿を基に、読込み可能枚数を規定しています。
インターネット	相互に接続された、TCP/IP プロトコルを使用するさまざまなネットワークの巨大な集合体。個々のネットワークは接続されて全世界をつなぐ巨大なインターネットを形成します。
イントラネット	会社内部または組織内部にある非公開のネットワーク。イントラネットでは、公開されているインターネット上同じ種類のソフトウェアを使用しますが、その用途は内部的なものに限定されます。
エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードです。
オフフックダイヤル	受話器を受話器台から外して、電話番号をダイヤルする方法です。
オンフックダイヤル	受話器を受話器台に置いたまま、またはモニターボタンを押して電話番号をダイヤルする方法です。
カバーシート	送信する原稿に添付される FAX カバーシート。受信者名、発信者名、添付した原稿のページ数が記載されます。
クライアント	クライアント（端末）コンピューターの意味で、LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
グループダイヤル	1 つのプログラムボタンへ複数宛先を登録できます。1 回の操作で順次同報送信ができます。
固定縮小プリント	すべての着信原稿を一定の縮小率（例：75%）でプリントします。
最終宛先	LAN 中継通信時の最終送信宛先です。
サーバー	クライアント（端末）コンピューターに対してデータ資源、通信接続、データ保存空間その他のサービスを提供する、ネットワークに接続されたコンピューターまたは装置をさす。メールサーバーソフトウェアーはネットワーククライアントがメールアカウントを保有してメールの送受信を行なうことを可能にしています。
サブアドレス	着信ファクスのルーティング、転送または中継を実行するための ITU-T 勧告です。
サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のための ITU-T 勧告です。

サブネットマスク	ネットワークIDで定義されたネットワークのサブセグメントを管理するためのマスクビット列です。
自局登録	自局登録をすることで、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。たとえば、ロゴ、文字 ID、日時などがあります。
システム登録リスト	本機のシステム登録の設定値をリストにしてプリントできます。
自動縮小プリント	標準サイズの普通紙にプリントできるように、受信した原稿を自動的に縮小する方式。たとえば、B4 サイズの着信原稿を縮小して A4 サイズの用紙にプリントします。
自動受信	ファクスが自動的に原稿を受信します。
受信側パスワード	原稿受信前に照合される 4 桁のパスワードのことです。
手動受信	着信原稿を受信するのに使用者の操作が必要なモードです。
初期送信側端末局	LAN 中継通信時の発信局です。
数字 ID	相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。
済スタンプ	送信が完了したページ、またはメモリーへ読込まれたページに済スタンプが押されます。済スタンプのオン、オフは任意に切り替えできます。
正順プリント	受信した原稿を送信した順序でプリントする機能です。
セレクト受信	ダイヤルに登録してある電話番号の下 4 桁を照合し、一致したファクスからのみ本機が受信する機能です。
送信側パスワード	原稿送信時に照合される 4 桁のパスワードのことです。
送信予約	本機が別の機能を実行しているときに送信予約ができます。
送達通知	送信側インターネットファクスから受信側インターネットファクスへ出されるメッセージで送達通知 (MDN) 要求のことです。受信側インターネットファクスは、メッセージ（メール）を読むと送達確認メッセージを返送します。
タイマー送信	指定時刻に原稿の送信ができます。
タイマーポーリング	指定時刻にポーリング通信ができます。
ダイレクト SMTP	インターネットファクス同士がメールサーバーを経由せずにファイアーウォール（イントラネット）内で互いに直接通信を行なう機能です。
短縮ダイヤル	電話番号またはメールアドレスを短縮ダイヤルに登録できます。簡単なボタン操作を行なうだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。
蓄積原稿	本機で読込み済でメモリーに記憶されている原稿です。
中継アドレス	LAN 中継通信時に中継局を登録している 3 桁の短縮ダイヤルの番号です。
中継局	中継局では、受信した原稿を指示された宛先へ、順次同報で転送することができます。
中継送信	発信局から原稿を LAN 中継局へ送信すると、中継局はさらにその原稿を最終受信側端末局へ送信します。
中継ネットワーク	中継局経由で通信する機器のネットワークのことです。
重複プリント	縮小できないくらい大きな原稿は、約 10 mm 重ね合わせて 2 つのページに分割して自動的に出力されます。
直接ダイヤル	電話番号またはメールアドレスをテンキーボタンまたは文字ボタンで入力して直接ダイヤルする方法です。
通信管理レポート	最新の 40 通信の結果を一覧にしてプリントできます。
低電力モード	指定時間経過後に定着器を OFF にして、待機モードにあるときよりも消費電力を抑えてエネルギーを節約します。
デフォルトルーター IP アドレス	ルーターのアドレスで、インターネットファクスとの通信時に他のネットワークがどのルートをとったらよいか判断するときに使用します。

用語集

テンキーボタン	コントロールパネルにある数字ボタンです。
電話帳機能	ワンタッチまたは短縮ダイヤルに登録した宛先名を検索して、電話番号またはメールアドレスをダイヤルできます。
同報送信	プログラム登録された複数の宛先に同じ原稿を同報通信する機能。
ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピューターを一意に識別する名称です。ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IP アドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
ネットワーク	2 台以上のコンピューターを相互に接続してリソースを共有すると、コンピューターネットワークになります。さらに 2 つ以上のコンピューターネットワークをつなぐと、インターネットが形成されます。
ネットワークアドレス	ワンタッチ／短縮番号に登録される 4 桁の固有アドレス番号で、中継ネットワーク上にある特定の端末局を識別するのに使います。
濃度	送信する原稿に合わせて読取り明暗感度を設定できます。
パナソニックスーパースムージング	画質を向上する為のパナソニック独自の画像処理技術です。
ハーフトーン	黒から白への最大 64 階調のグレーレベルで表現できます。
ハンドシェーキング	送信側と受信側が通信するため、実際にデータを転送する前に、双方の通信方法や条件、プロトコルなどをあらかじめやり取りしておく手順のことです。
ビューモードー通信管理	通信管理レポートを出力することなく通信管理の簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ビューモードー通信予約ファイル	通信予約レポートを出力することなく通信予約ファイルの簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ファイル	メモリーを使っての送受信を行なったとき作成されます。たとえば、タイマー送信などがあります。
ファンクションボタン	各機能を使うときに押します。
符号化方式	各種機器が使用するデータ圧縮方式。本機は、Modified Huffman (MH)、Modified Read (MR)、Modified Modified Read (MMR) 符号化方式を採用しています。
プリント縮小モード	本機にセットされた用紙に収まるように縮小してプリントする方法です。
プログラムボタン	複雑な機能の操作をプログラムボタンに登録したり、複数の宛先を登録して、簡単なボタン操作で機能を使えます。
プロトコル	装置間通信のための標準または言語。業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品はどれもある種のプロトコルを利用しています。インターネットでは、100 を越える標準が共同して TCP/IP プロトコルを校正し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしています。
ヘッダー	送信側ファクスが送信する、また受信側ファクスが各ページの先頭にプリントする部分です。ヘッダーは、送信側ファクスの情報（日時など）を提供します。
ホスト	ネットワーク上の他のコンピューターを集中管理するコンピューターです。ホストはドメイン内で唯一のホスト名を持ちます。ホストは全ドメイン名（FQDN）の最初（左端）の部分となります。 例： 本機のメールアドレスが Fax@fax01.panasonic.com であるとすると、「fax01」はホストに、「panasonic.com」はドメインに相当します。
ホームページ	ブラウザー起動時に最初に表示されるページ、あるいは会社、組織などの主要なウェブページ。

ポーリング	別のファクスから原稿を取り出す機能です。
ポーリングパスワード	登録された 4 桁の暗証番号で、ポーリングが行なわれている原稿に対する機密保護を有効にするのに使います。
マルチロゴ	あらかじめ設定してある 25 個のロゴのうちの 1 つを送信前に選択することができます。
メモリー送信	原稿をメモリーに読込んでから送信します。
メモリー代行受信	用紙またはトナーがなくなったときに着信原稿をメモリーに蓄積する機能です。
メモリー転送	指定した短縮ダイヤルの宛先へ、全ての着信ファクスを転送する機能です。
メールアドレス	メールでデータを送受信するためのアドレスです。ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されています。
メールゲートウェイ IP アドレス	メールサーバーのアドレス。本製品はあらかじめ設定されたメールサーバーとだけ通信を行ないます。
メーリングリスト	あるアドレスにメールを送り、自動的にメーリングリストに登録されている複数の人に E メールのコピーを送るためのメールアドレスです。
文字 ID	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。
文字サイズ	送信する原稿の文字の大きさに合わせ、変更できます。
文字ボタン	各種登録をするときに文字または記号を入力するためのボタン。
モデム	本機から出された信号を電話回線経由で伝送できる信号に変換する装置です。
ルーター （ゲートウェイ）	複数の LAN 間の通信を可能にするネットワーク装置です。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送すべきデータの経路を管理しています。
留守番電話機インタフェース	本機に留守番電話機を接続してご使用できるように設定できます。
ロゴ	会社名または名前などを登録します。
ワンタッチボタン	電話番号またはメールアドレスをワンタッチに登録できます。1 つのボタン操作を行なうだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。

索引

ITU-T Image No.1

ITU-T Image No.1 に準拠している標準原稿のサンプルです（以下のサンプルでは、縮尺が実際のものと異なっています）。

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC   18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

Registered in England: No. 2038
Registered Office: 60 Vicara Lane, Ilford. Essex.

■国際エネルギースタープログラムについて

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本書の説明は Microsoft® Windows® 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 日本語版、Microsoft® Windows® XP 日本語版、Windows Vista® 日本語版および Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版を前提として表記しています。
本書中で使用している次の用語は、各社の商標または登録商標です。

Eudora は QUALCOMM Incorporated の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、PowerPoint、Outlook : 米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe および Adobe Acrobat、Adobe PhotoShop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。© 2005 Adobe Systems Incorporated （アドビシステムズ社）

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

■使いかた･お手入れ･修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（バナハ ヨイワ） 受付：9時～17時30分 （土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

・ パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番　UF-6020
販売店名	電話（　　　）　　-	
サービス実施会社名	電話（　　　）　　-	

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

D0808TQ7023
PJQMC1279YC
February 2013
Printed in China